

「岩出市第2次地域福祉計画」
策定に係るアンケート調査
調査結果報告書

令和2年3月

岩出市

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 実施要領	1
3 報告書の見方	1
II. 調査結果の概要	2
III. 調査結果	5
1. 回答者属性	5
2. 福祉について	11
3. 地域での生活について	19
4. 地域活動について	29
5. 福祉サービスについて	37
6. 災害の備え（防災）について	47
7. 生活困窮者について	51
8. 成年後見制度について	53
9. 虐待等について	56
10. これからの福祉のあり方について	61
IV. 資料(調査票)	66

I 調査の概要

I. 調査の概要

1 調査目的

本市では、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりのため、地域での支え合い・助け合いによる地域福祉の推進を目的に平成 28 年度から 5 年間で計画期間とする「岩出市地域福祉計画」を策定しています。

この計画は、令和 2 年度を最終年度としており、令和 3 年度からの第 2 期地域福祉計画の策定にあたり、「地域福祉」に対する皆様の考え方や意見をお聞かせいただき、計画策定の基礎資料とするため、本アンケートを実施したものです。

2 実施要領

調査対象	配布数	回収数	回収率	調査期間	調査方法
市内在住の 20 歳以上の市民(令和元年 12 月 1 日現在)	2,500 人 (無作為抽出)	936 人	37.4%	令和 2 年 1 月 16 日～ 1 月 30 日	郵送配布・ 郵送回収

3 報告書の見方

- (1) 図表中の「N (number of case)」は、有効標本数(集計対象者総数)を表しています。
- (2) 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- (4) 図表中に次のような表示などがある場合は、複数回答を依頼した質問を示しています。
 - ・ M A % (Multiple Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
 - ・ 3 L A % (3 Limited Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものを 3 つ以内で選択する場合
 - ・ 2 L A % (2 Limited Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものを 2 つ以内で選択する場合これ以外の場合は、特に断りがない限り、単一回答(回答選択肢の中からあてはまるものを 1 つだけ選択する)形式の設問です。
- (5) 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。

Ⅱ 調査結果の概要

II. 調査結果の概要

1. 福祉への関心について

アンケート調査結果では、福祉への関心の有無について全体で「関心がある」「やや関心がある」と答えた人の割合が 8 割弱あり、市民の関心度は高いと言えます。特に関心のある分野についてみると、全体では「高齢者に関する福祉」が最も高くなっていますが、20代から 40 代の若い年代では「子どもに関する福祉」となっており、ライフステージに合わせて関心のある内容にも違いがあることが伺えます。市民がより福祉についての理解を深めるために必要な機会としては、性別・年代に関わらず、「福祉の制度、サービス等について学ぶこと」となっており、このような場所や活動の創出を充実させていく必要があると考えられます。現在、福祉関連で知っている団体や機関においては、全体で「民生委員・児童委員」と答えた人が最も多くなっています。なお、20代から 40代においては「子育て支援センター」が最も認知されており、関心のある福祉内容に比例した結果となっています。

2. 地域での生活について

近所づきあいにおいて、全体では「あいさつ程度」が 3 割程度と最も多くなっています。前回調査では「ときどき世間話や立ち話をする」との意見が最も多かったことに比べると、近所づきあいが希薄傾向にあることが伺えます。また、地域住民が取り組むべき課題や問題については、「防犯・防災の安全対策」との意見が最も多く、近年多発している自然災害に関する対応への課題が重視されています。年代別では 80 代以上において「高齢者の社会参加や生きがいづくり」の意見が多くを占めています。地域にある組織や団体に期待する活動については全体で「交通安全や防犯、防災などの活動」となっていますが、年代別でみると 20 代・30 代の若年層では「子ども、高齢者、障害児者への手助け」への期待が高く、70 代以上では「安否確認の声かけ」とそれぞれのライフステージに合った活動への期待が高まっています。地域との関わりについては「隣人との助け合いや付き合いを大切にしたい」との意見が最も多く、自分自身ができる手助けとしては、「安否確認の声かけ」となっています。

3. 地域活動について

地域活動への参加の有無に関しては、頻度に関係なく『参加している』人よりも『参加していない』人の方が多くなっています。性別でみると、男性の方が参加率が高くなっており、年代は上がるにつれて『参加している』の割合は増加していますが、80 代以上になると参加率が減少する傾向がみえます。参加している地域活動においては、性別や年代に関係なく「区・自治会活動」が最も多いことが分かります。また、地域活動に参加していない理由としては、「仕事や家事で忙しく、時間がない」との意見が多くを占め、70 代以上では「身体の調子が悪く参加できない」が最も多くなっています。仕事や家事以外の時間をもっと確保できるよう、働き方や勤務環境の改善、家事・育児等の負担を削減できるような施策や施設等の充実が必要だと考えられます。

4. 福祉サービスについて

福祉に関する情報は「市広報紙」から得ている人が最も多いことが分かります。一方、20代においてはインターネットからという回答が4割を超え、時代にあった情報提供の仕方も重要と言えます。福祉サービスの利用状況においては、性別と年代問わず「利用したことはない」の割合が多いですが、前回調査と比べると、利用経験者がすべての年代で増加しており、需要が高まってきていることが考えられます。利用経験のあるサービスでは「高齢者福祉サービス」が最も多くなっていますが、20代から40代の子育て世代にかけては「子育て支援サービス」の割合が最も高く、年代によって求めるサービスに違いがあることが分かります。サービスに対する不満等は特にない人がほとんどですが、強いて言えば「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」とあり、今一度情報提供の方法を改善する必要があると考えられます。

5. 災害への備え（防災）について

日ごろ行っている災害への備えについては、性別や年代問わず「食糧・飲料水を備蓄している」との意見が最も多く、前回調査では「何もしていない」の回答が最も多かった20代においても今回調査では何かしらの対策をしている人が増加し、災害への備えに対する意識が向上している事が伺えます。災害発生時の備えとして重要なこととしては、「自分や家族の避難方法の確認」という意見が最も多くなっています。

6. 生活困窮者について

今後、期待する生活困窮者への取組支援においては、「就労その他の自立に関する相談支援」が最も多く、次いで「経済的理由により学習の機会が少ない子どもに対しての学習支援」となっており、生活苦が理由でその人の将来の選択肢が狭まることのないような支援の充実を図っていくことが大切だと考えられます。

7. 成年後見制度について

成年後見制度の認知度としては、「知っている」が3割程度、「聞いたことはある」が4割弱、「知らなかった」が3割弱となっており、言葉だけの認知度で言えばそう悪くはありませんが、今後はさらに制度の内容も周知していくことが重要だと考えられます。また、財産等を成年後見人に任せることについては比較的「任せてもよい」という意見が多くみられ、その相手としては「家族」が9割となっています。

8. 虐待等について

高齢者、障害者、子ども、配偶者の虐待について、20代ではほかの年代よりも「聞いたことがある」の割合が高く、この結果から比較的若年層の周辺や身近で行われているケースが多いことが伺えます。また、虐待や暴力が発生していることが分かった場合の対応としては、性別や年代問わず「警察へ連絡（相談）する」ということが分かりました。

9. これからの福祉のあり方について

地域における支え合い、助け合いを活発にするために重要だと思う取組について、全体では「地域の福祉活動に対する支援」との意見が最も多く、次いで「困っている人と支援する人をつなぐコーディネーターの育成」となっています。年代で見ると、比較的若年層において「困っている人と支援する人をつなぐコーディネーターの育成」といった需要者を見つけ出し、それらと供給者を結びつけ間を取り持つ人に関する意見が多く、年代が上ると「地域における住民主体の福祉活動の意義と重要性のPR」「地域の福祉活動に対する支援」といった活動に参加すること自体に対する働きかけや支援への意見が多くなっていることが分かります。また、安心して暮らしていくためには、「健康づくりや医療体制の充実」との意見が最も多く、年代で見ると20代・30代において「育児、子育ての支援体制の充実」を求める意見が多くなっています。

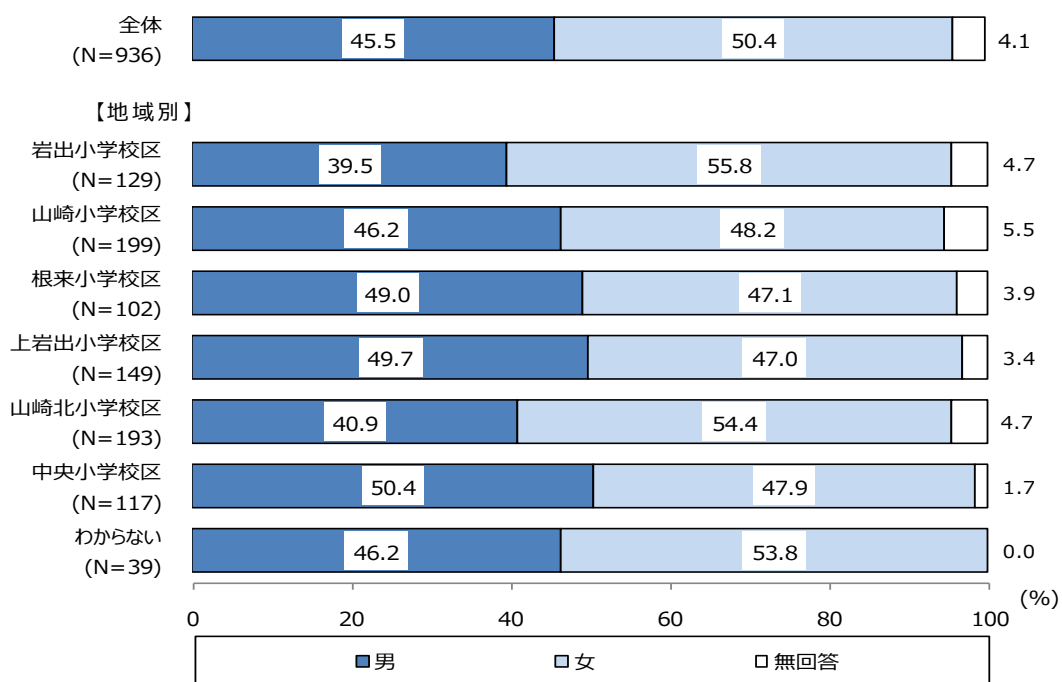
Ⅲ 調査結果

Ⅲ. 調査結果

1. 回答者属性

〔1〕性別

問1 あなたの性別は何ですか。(答えたくない場合は無回答で結構です。)

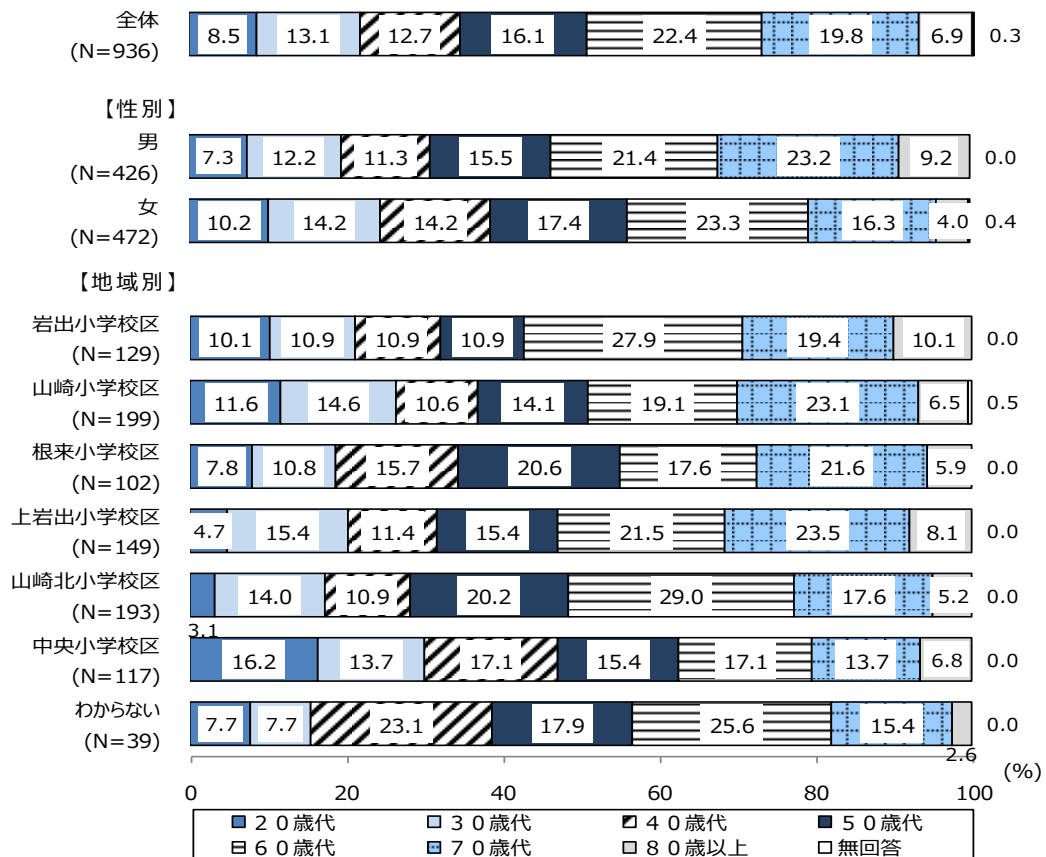


回答者の性別は、「男性」が45.5%、「女性」が50.4%となっています。

地域別にみると、岩出小学校区と山崎北小学校区で「女性」が5割台半ばと、他地域より多くなっています。

〔2〕年齢

問2 あなたの年齢は何歳ですか。(〇はひとつ)



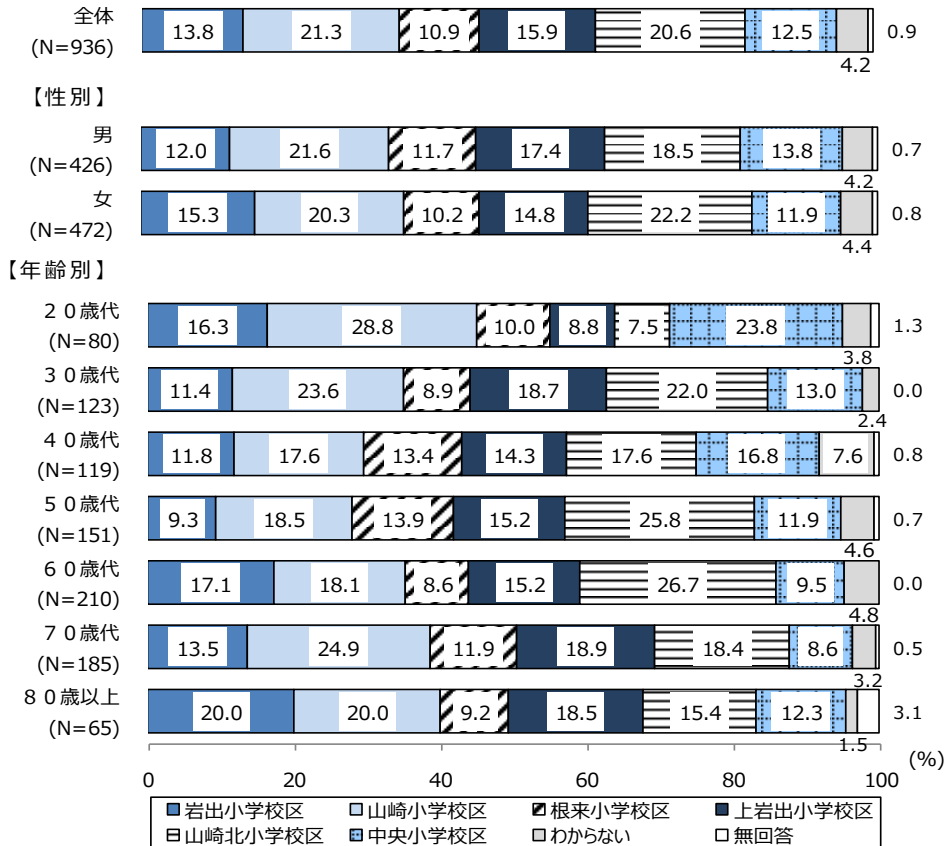
年齢は、「60歳代」が22.4%と最も多く、次いで「70歳代」が19.8%となっており、『60歳代以上』で5割弱を占めています。

性別にみると、男性で『60歳代以上』が5割強と、やや多くなっています。

地域別にみると、岩出小学校区で『60歳代以上』が6割弱と、やや多くなっています。

〔3〕 居住地域

問3 あなたが住んでいる小学校区はどちらですか。(〇はひとつ)



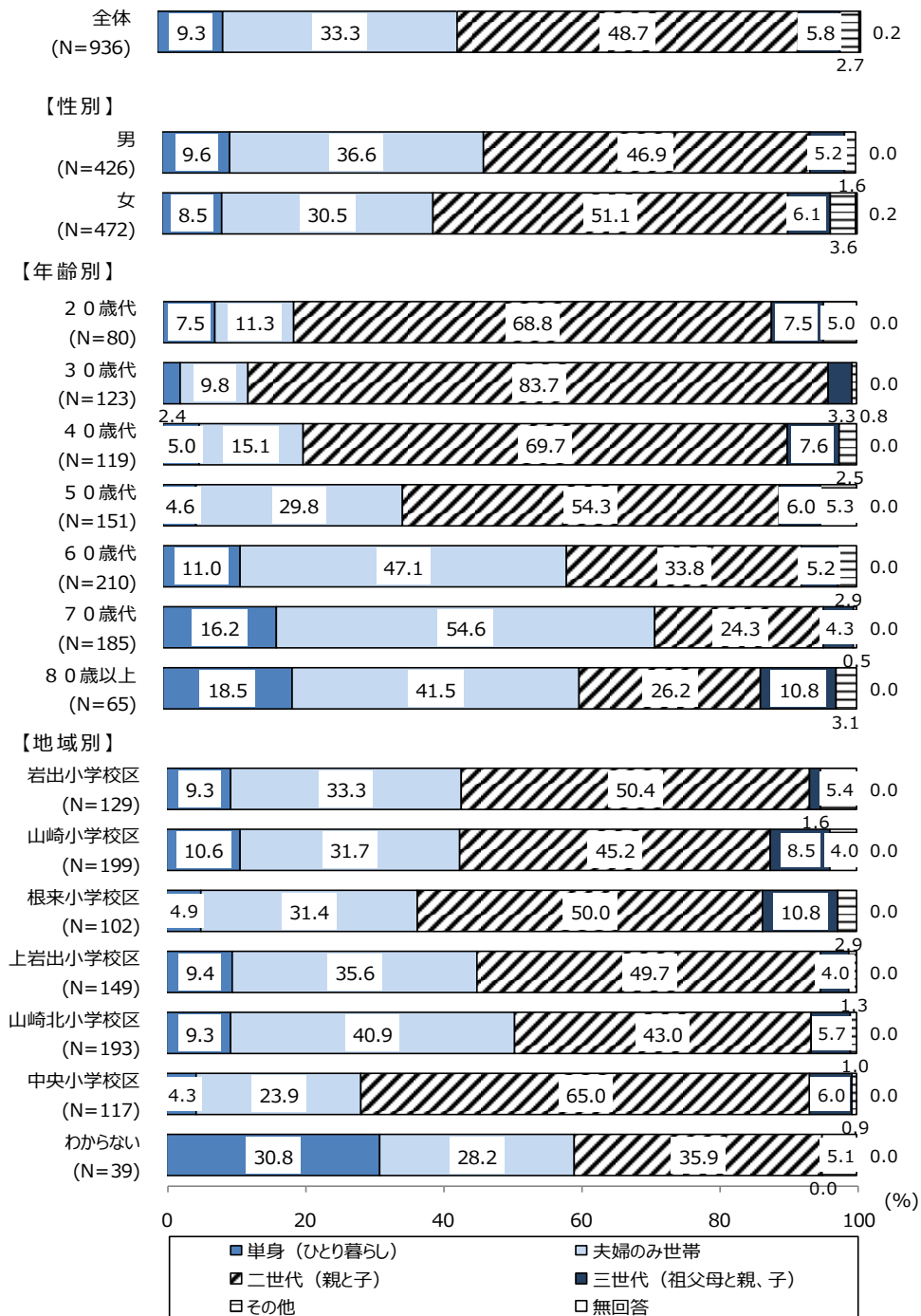
居住地域は、「山崎小学校区」が 21.3%と最も多く、次いで「山崎北小学校区」が 20.6%、「上岩出小学校区」が 15.9%となっています。

性別にみると、男性は「山崎小学校区」が 21.6%で最も多く、女性は「山崎北小学校区」が 22.2%と最も多くなっています。

年齢別にみると、20歳代で「中央小学校区」が 23.8%と他の年代より多くなっています。

〔4〕 家族構成

問4 あなたの家族構成はどのようになっていますか。(〇はひとつ)



家族構成についてみると、「二世代（親と子）」が48.7%と最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が33.3%となっています。

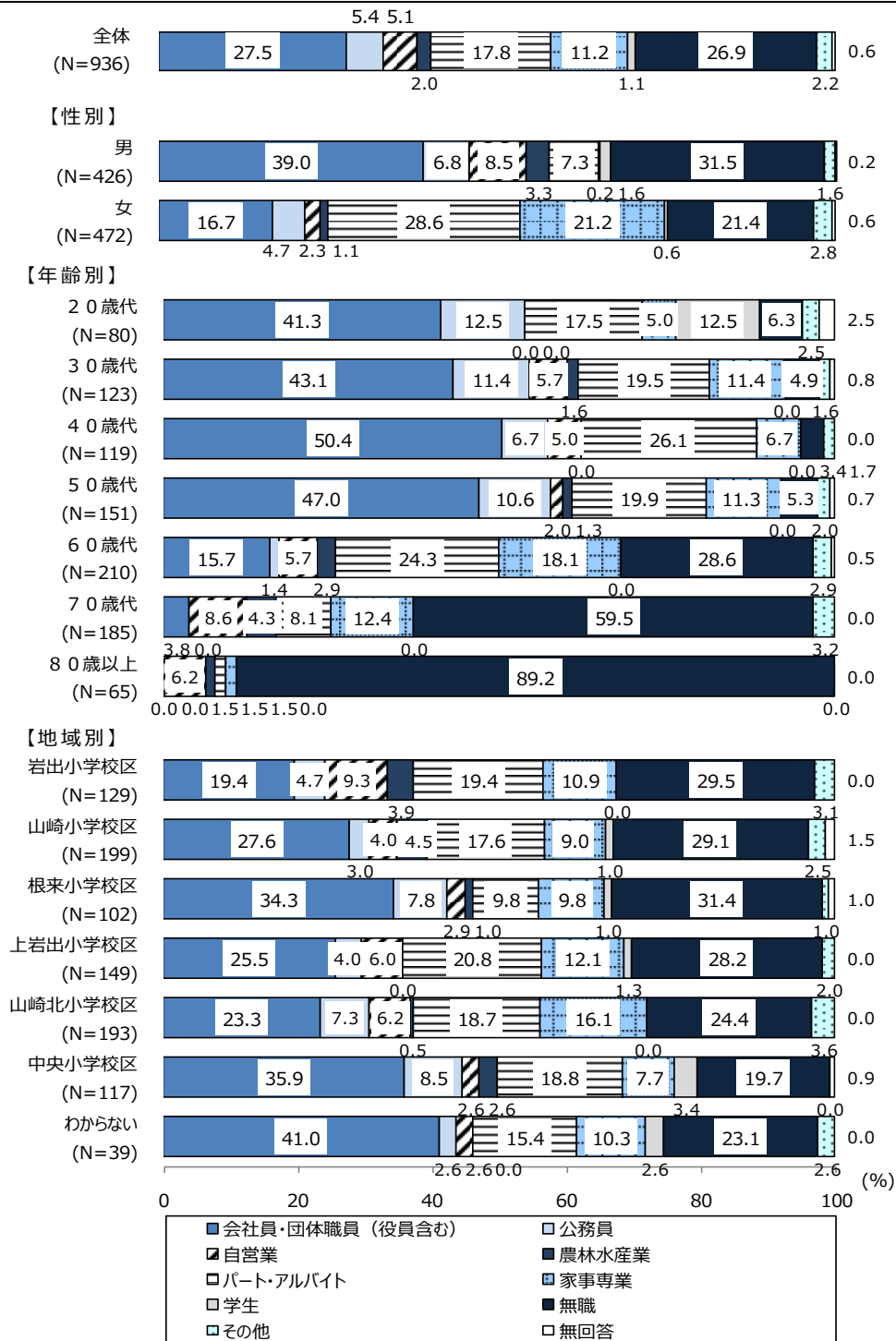
性別にみると、男女ともに「二世代（親と子）」が4～5割台と最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が3割台となっています。

年齢別にみると、60歳代以上で「単身（ひとり暮らし）」が1割台、「夫婦のみ世帯」が4～5割台と他の年代より多くなっています。

地域別にみると、中央小学校区で「二世代（親と子）」が65.0%と他地域より多くなっています。

〔5〕職業

問5 あなたの職業は何ですか。(〇はひとつ)



職業についてみると、「会社員・団体職員（役員含む）」が27.5%と最も多く、次いで「無職」が26.9%となっています。

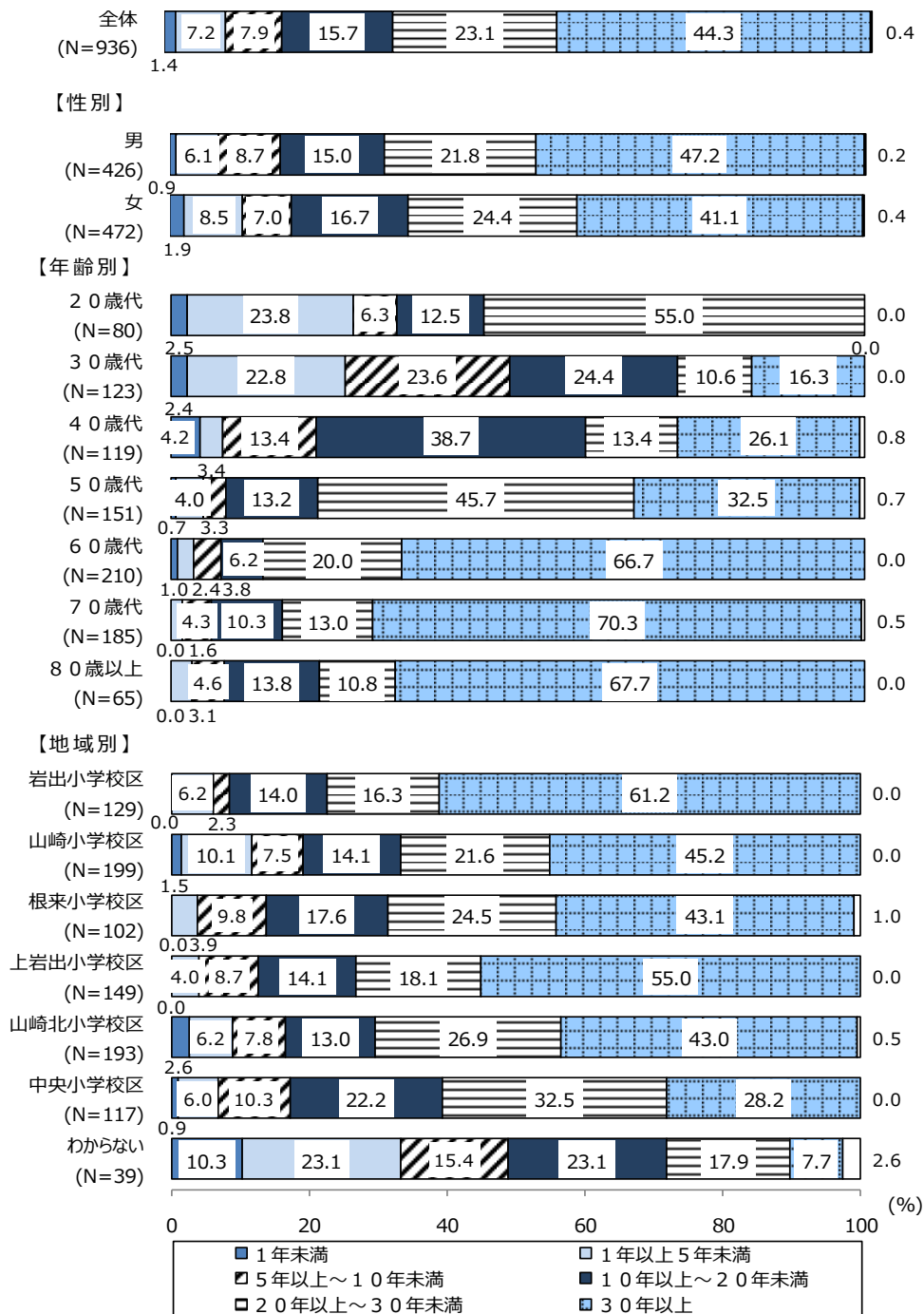
性別にみると、男性は「会社員・団体職員（役員含む）」が4割弱と最も多く、女性は「パート・アルバイト」が28.6%と最も多くなっています。

年齢別にみると、20～50歳代は「会社員・団体職員（役員含む）」が4～5割台、60歳代以上は「無職」が3割弱～9割弱と最も多くなっています。

地域別では、中央小学校区、根来小学校区で「会社員・団体職員（役員含む）」が3割台半ばと他地域より多くなっています。

〔6〕岩出市での居住年数

問6 あなたは岩出市に住んで何年になりますか。(〇はひとつ)



岩出市での居住年数については、「30年以上」が44.3%と最も多く、次いで「20年以上～30年未満」が23.1%となっています。

性別にみると、男女ともに「30年以上」が4割台と最も多くなっています。

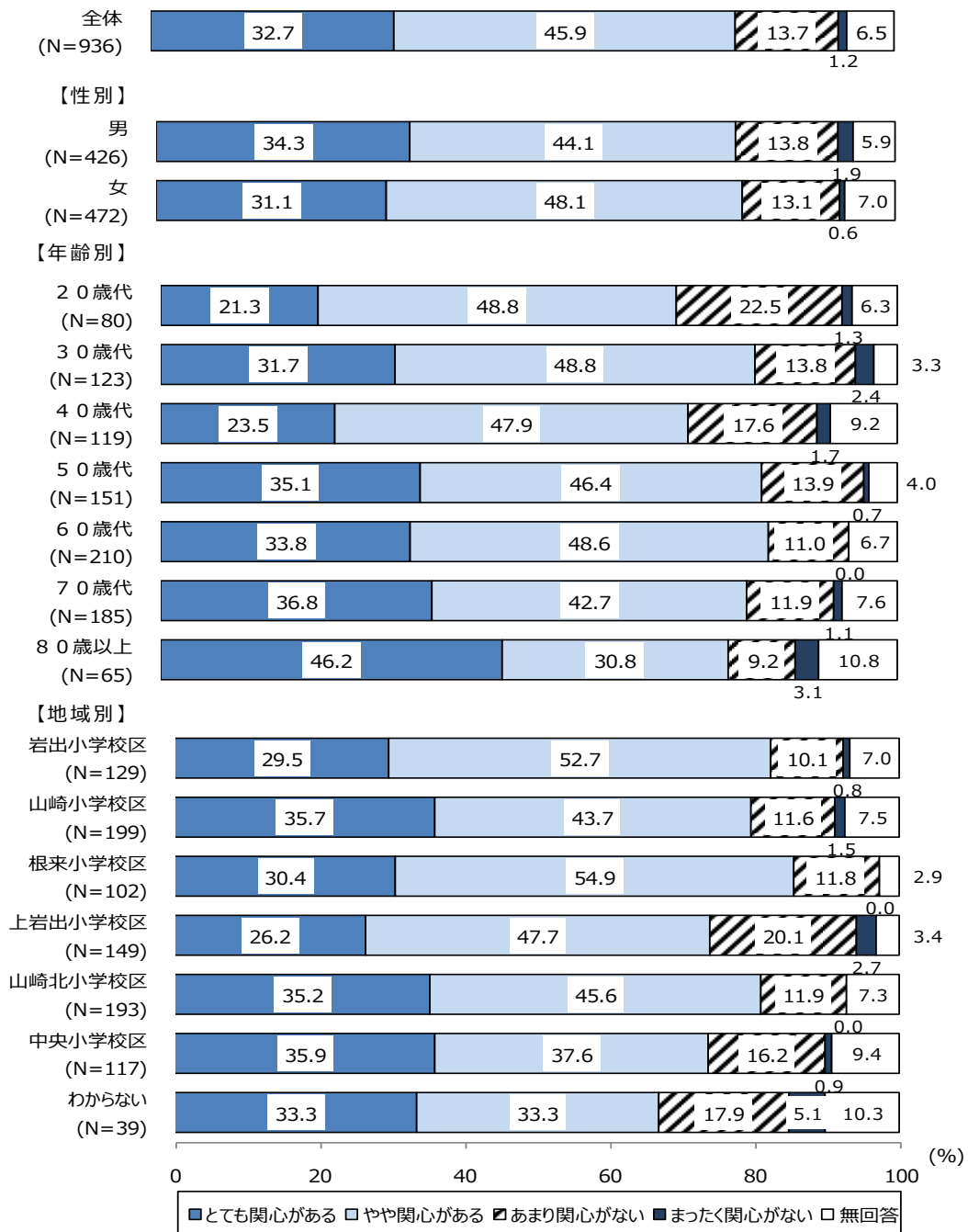
年齢別にみると、20歳代と50歳代で「20年以上～30年未満」、30～40歳代では「10年以上～20年未満」、60歳代以上では「30年以上」が最も多くなっています。

地域別にみると、岩出小学校区で「30年以上」が6割強と最も多くなっています。また、中央小学校区では『20年未満』が4割弱と他地域より多くなっています。

2. 福祉について

〔1〕福祉への関心の有無

問7 あなたは福祉について関心をお持ちですか。(〇はひとつ)



福祉への関心の有無については、「やや関心がある」が 45.9%と最も多く、次いで「とても関心がある」が 32.7%となっており、「とても関心がある」と「やや関心がある」を合わせた『関心がある』は 78.6%となっています。

一方「あまり関心がない」と「まったく関心がない」を合わせた『関心がない』は 14.9%となっています。

性別にみると、男女ともに全体と同様の結果となっています。

年齢別にみると、全年代で『関心がある』が 7～8 割台と多く、なかでも 80 歳以上では「とても関心がある」が 4 割台半ばと他の年代より多くなっています。一方 20 歳代では「あまり関心がない」が 2 割強と他の年代より多くなっています。

地域別にみると、『関心がある』では、岩出小学校区、山崎小学校区、根来小学校区、山崎北小学校区で 8 割弱～8 割強と多くなっていますが、上岩出小学校区、中央小学校区では 7 割台と他地域よりやや少なくなっています。また、上岩出小学校区では「あまり関心がない」が 2 割台と他地域よりやや多くなっています。

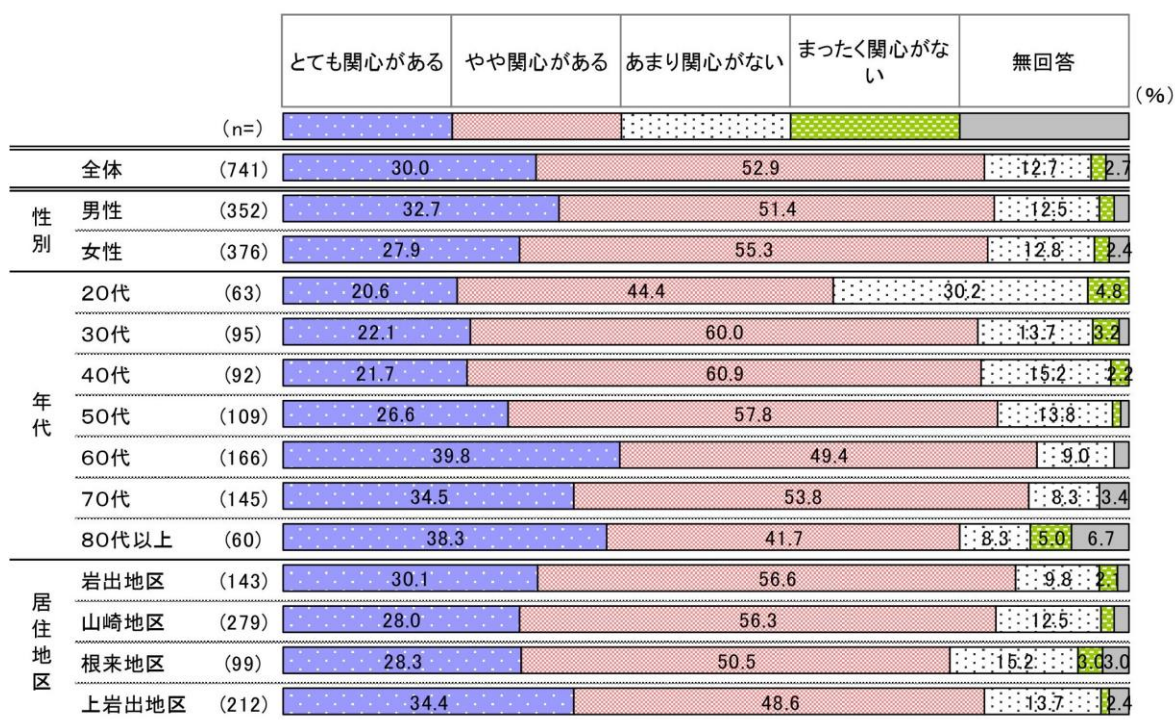
〔前回調査との比較〕

全体ではそう大差はみられませんが、性別では男女ともに『関心がある』の割合が減少し、『関心がない』の割合が増加しています。

年代別でみると、30 代から 80 代以上において「あまり関心がない」の割合が増加していることがわかります。一方、20 代においては「あまり関心がない」の割合が 7.7 ポイント減少し、『関心がある』が 5.1 ポイント増加しており、福祉について関心を持っている若者が増加していることが伺えます。

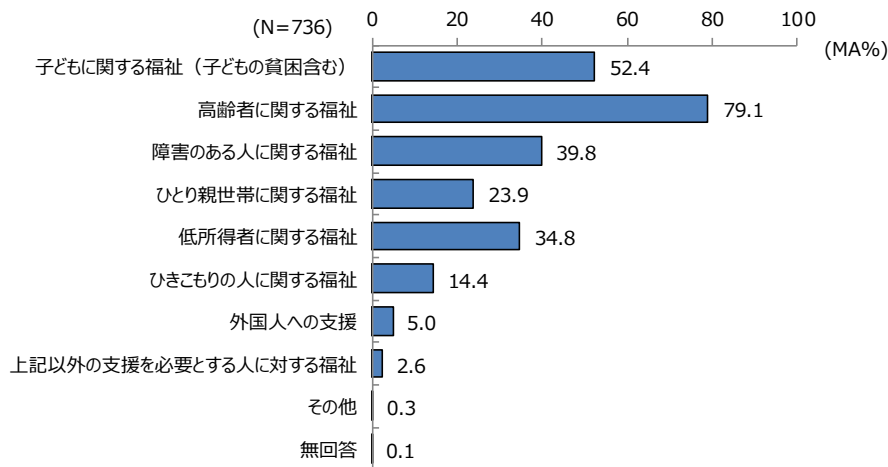
【参考】

※2.0未満はラベル非表示



〔2〕 関心のある福祉の分野

【問7で「1. とても関心がある」または「2. やや関心がある」を選んだ方のみ】
問7-1 福祉のどの分野に関心がありますか。(あてはまるものすべてに○)



	N	子どもの貧困含む	高齢者に関する福祉	障害のある人に関する福祉	ひとり親世帯に関する福祉	低所得者に関する福祉	ひきこもりの人に関する福祉	外国人への支援	左記以外の支援を必要とする人に対する福祉	その他	無回答
全体	736	52.4	79.1	39.8	23.9	34.8	14.4	5.0	2.6	0.3	0.1
性別	男	334	47.3	76.0	39.2	21.9	36.8	11.1	2.1	0.3	0.3
	女	374	57.8	81.3	40.1	26.5	31.8	17.1	2.9	0.3	0.0
年齢別	20歳代	56	75.0	51.8	48.2	32.1	26.8	12.5	0.0	1.8	0.0
	30歳代	99	84.8	52.5	36.4	17.2	23.2	14.1	3.0	0.0	0.0
	40歳代	85	75.3	72.9	36.5	22.4	28.2	10.6	3.5	0.0	0.0
	50歳代	123	44.7	86.2	42.3	30.9	36.6	17.1	2.4	0.8	0.0
	60歳代	173	42.8	90.2	40.5	24.3	39.9	16.8	6.4	2.9	0.0
	70歳代	147	38.1	89.8	40.1	22.4	40.8	13.6	3.4	3.4	0.0
	80歳以上	50	20.0	84.0	32.0	14.0	36.0	10.0	0.0	0.0	0.0
地域別	岩出小学校区	106	44.3	81.1	32.1	18.9	34.0	10.4	6.6	0.9	0.0
	山崎小学校区	158	54.4	78.5	39.2	22.8	38.0	15.2	5.7	3.2	0.0
	根来小学校区	87	56.3	78.2	40.2	18.4	34.5	12.6	2.3	3.4	0.0
	上岩出小学校区	110	47.3	73.6	33.6	25.5	34.5	10.0	4.5	4.5	0.0
	山崎北小学校区	156	55.8	82.1	41.0	26.3	27.6	16.7	3.8	1.3	0.0
	中央小学校区	86	61.6	79.1	48.8	31.4	34.9	17.4	5.8	1.2	2.3
	わからない	26	38.5	84.6	57.7	26.9	53.8	19.2	11.5	7.7	0.0

福祉について「1. とても関心がある」または「2. やや関心がある」お答えの方に関心のある福祉の分野についてたずねたところ、「高齢者に関する福祉」が79.1%と最も多く、次いで「子どもに関する福祉 (子どもの貧困含む)」が52.4%となっています。

性別にみると、男女ともに「高齢者に関する福祉」が7～8割台と最も多くなっています。

年齢別にみると、20～40歳代では「子どもに関する福祉 (子どもの貧困含む)」、50歳代以上では「高齢者に関する福祉」が最も多くなっています。70歳代以上では「低所得者に関する福祉」も多くなっています。

地域別にみると、すべての地域で「高齢者に関する福祉」が最も多くなっています。また、中央小学校区では「子どもに関する福祉 (子どもの貧困含む)」も6割台と多くなっています。

【前回調査との比較】

全体および性別では前回調査と同様、「高齢者に関する福祉」の割合が最も高くなっていることが分かります。

年代で見ると、20代では前回調査において、「高齢者に関する福祉」「子どもに関する福祉」が同率上位だったのに対し今回調査では「子どもに関する福祉」の方が23.2ポイントも増加しています。40代では前回調査において、「高齢者に関する福祉」が最も高かったのに対し、今回調査では「子どもに関する福祉」の方が割合が高くなっています。

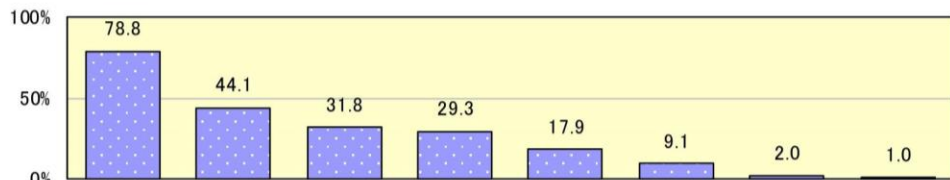
【参考】

[複数回答]

全体スコアから+10.0ポイント以上



全体スコアから-10.0ポイント以下



	回答数	高齢者に関する福祉	子どもに関する福祉	障がいのある人に関する福祉	災害対策(避難行動要支援者)に関する福祉	生活困窮者に関する福祉	母子・父子、寡婦・寡夫に関する福祉	その他	無回答	
全体	614	78.8	44.1	31.8	29.3	17.9	9.1	2.0	1.0	
別性	男性	296	80.4	42.6	34.1	32.4	21.6	9.8	1.7	1.0
	女性	313	77.6	46.0	29.4	26.8	14.7	8.6	2.2	1.0
年代	20代	41	61.0	61.0	31.7	24.4	14.6	12.2	2.4	0.0
	30代	78	46.2	84.6	25.6	34.6	10.3	7.7	1.3	0.0
	40代	76	67.1	60.5	34.2	28.9	11.8	6.6	2.6	0.0
	50代	92	92.4	42.4	33.7	28.3	16.3	7.6	2.2	1.1
	60代	148	90.5	31.8	32.4	37.2	25.0	10.8	2.7	0.7
	70代	128	85.9	29.7	29.7	23.4	21.1	11.7	0.8	1.6
	80代以上	48	83.3	18.8	37.5	20.8	14.6	4.2	2.1	4.2
	居住地	岩出地区	124	81.5	37.1	26.6	26.6	16.9	5.6	2.4
山崎地区		235	77.9	43.8	31.1	29.4	18.7	8.1	2.1	0.4
根来地区		78	78.2	55.1	26.9	35.9	17.9	9.0	1.3	0.0
上岩出地区		176	78.4	44.3	38.6	28.4	17.6	13.1	1.7	1.1

【前回調査との比較】

今回調査では前回調査と異なり、全体および性別、年代別でも最も必要な機会として「福祉の制度、サービス等について学ぶこと」が最も高くなっています。

年代で詳しくみると、前回では40代で最も高い割合だったのが「地域の福祉の課題等について市民が知ることができる機会をつくること」に対し、今回は「福祉の制度、サービス等について学ぶこと」となっています。80代以上においては、前回では「地域の福祉の課題等について市民が知ることができる機会をつくること」が最も高かったが、今回は、「福祉の制度、サービス等について学ぶこと」と同率で「介護を必要とする人やその家族の話の聞いたり、交流したりすること」が最も高くなっていることが分かります。

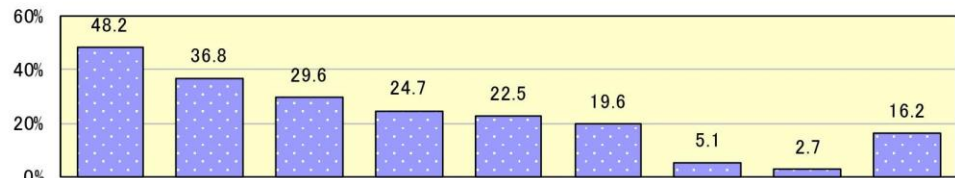
【参考】

[複数回答]

全体スコアから+10.0ポイント以上



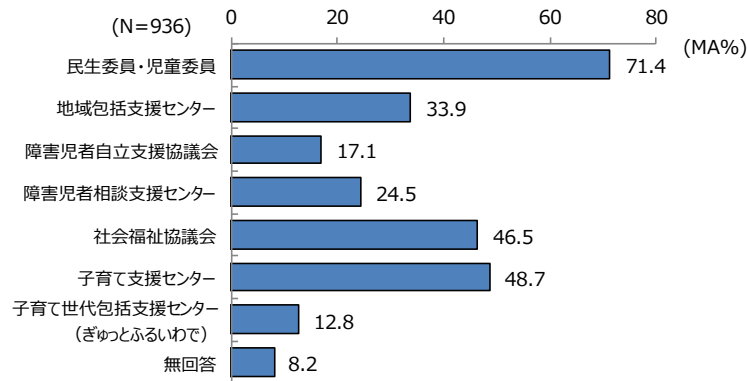
全体スコアから-10.0ポイント以下



	回答数	福祉の制度、サービス等について学ぶこと	地域の福祉の課題等について市民が知ることができる機会をつくること	小中学生が授業の一部として高齢者や障がい者の施設等を訪問することや、交流する機会をつくること	支援・援助を必要とする人やその家族の話の聞いたり、交流したりすること	地域の福祉について市民同士が課題を気軽に話し合える場をつくること	介護体験や支援・援助を必要とする人の疑似体験などを通して、学ぶこと	手話や点字、要約筆記、介護方法などの技術を習得すること	その他	無回答	
全体	741	48.2	36.8	29.6	24.7	22.5	19.6	5.1	2.7	16.2	
別性	男性	352	47.4	38.9	29.0	23.9	24.1	19.3	4.0	2.6	16.2
	女性	376	50.0	35.9	30.6	26.3	21.3	20.5	6.1	2.9	14.9
年代	20代	63	42.9	31.7	36.5	22.2	12.7	23.8	11.1	3.2	15.9
	30代	95	43.2	27.4	36.8	17.9	14.7	25.3	2.1	5.3	17.9
	40代	92	44.6	50.0	38.0	21.7	18.5	18.5	7.6	3.3	14.1
	50代	109	62.4	38.5	29.4	32.1	22.0	22.0	4.6	2.8	9.2
	60代	166	56.0	36.7	29.5	24.7	25.9	17.5	6.0	1.8	15.1
	70代	145	47.6	40.0	22.8	24.8	29.7	18.6	2.8	0.0	13.8
	80代以上	60	28.3	31.7	18.3	28.3	30.0	13.3	1.7	5.0	31.7
居住地	岩出地区	143	42.0	34.3	25.2	22.4	27.3	11.9	2.8	3.5	21.7
	山崎地区	279	54.1	37.6	29.7	24.4	22.6	22.2	5.7	3.2	12.5
	根来地区	99	39.4	42.4	35.4	25.3	20.2	16.2	5.1	1.0	16.2
	上岩出地区	212	50.5	36.3	30.2	27.4	21.2	23.6	5.7	2.4	15.1

〔４〕知っている団体や機関

問 8 次の団体や機関で知っているものはありますか（あてはまるものすべてに○）



	N	民生委員・児童委員	地域包括支援センター	障害児者自立支援協議会	障害児者相談支援センター	社会福祉協議会	子育て支援センター	子育て世代包括支援センター (ぎゅっとふるいね)	無回答	
全体	936	71.4	33.9	17.1	24.5	46.5	48.7	12.8	8.2	
性別	男	426	69.2	30.0	17.1	24.6	48.1	42.5	12.7	10.3
	女	472	73.3	37.1	17.4	25.0	44.1	54.9	13.1	6.8
年齢別	20歳代	80	35.0	33.8	16.3	26.3	28.8	66.3	18.8	17.5
	30歳代	123	41.5	28.5	13.0	29.3	32.5	80.5	26.0	6.5
	40歳代	119	66.4	35.3	16.0	25.2	44.5	69.7	16.0	5.0
	50歳代	151	84.1	40.4	22.5	25.2	51.0	43.0	10.6	7.3
	60歳代	210	82.4	35.2	17.6	22.9	52.9	41.0	7.1	6.7
	70歳代	185	84.9	29.7	17.8	23.2	51.4	30.8	9.7	7.6
	80歳以上	65	76.9	33.8	12.3	18.5	52.3	16.9	6.2	15.4
地域別	岩出小学校区	129	72.9	30.2	16.3	20.2	48.8	46.5	11.6	7.8
	山崎小学校区	199	70.4	32.7	20.6	27.6	45.2	52.8	16.6	5.0
	根来小学校区	102	71.6	43.1	18.6	22.5	49.0	50.0	13.7	6.9
	上岩出小学校区	149	70.5	29.5	16.8	18.8	48.3	45.6	10.7	9.4
	山崎北小学校区	193	77.7	34.2	15.5	26.4	45.6	49.7	10.4	8.3
	中央小学校区	117	69.2	36.8	15.4	28.2	43.6	52.1	14.5	8.5
	わからない	39	51.3	35.9	15.4	28.2	43.6	30.8	7.7	25.6

知っている団体や機関については、「民生委員・児童委員」が71.4%と最も多く、次いで「子育て支援センター」が48.7%となっています。

性別にみると、男女ともに「民生委員・児童委員」が最も多く、次いで男性は「社会福祉協議会」、女性は「子育て支援センター」が多くなっています。

年齢別にみると、20～40歳代で「子育て支援センター」が6～8割台と最も多く、50歳代以上では「民生委員・児童委員」が7割台半ば～8割台半ばと最も多く、なっています。

地域別にみると、すべての地域で「民生委員・児童委員」が7割弱～8割弱と最も多く、次いで岩出小学校区、上岩出小学校区では「社会福祉協議会」、山崎小学校区、根来小学校区、山崎北小学校区、中央小学校区では「子育て支援センター」が多くなっています。

〔前回調査との比較〕

全体および性別でみると、前回同様「民生委員・児童委員」の認知度が最も高くなっており、変化は大きくみられません。

年代でみると、20代から40代では「子育て支援センター」の認知度が最も高く、50代～80代以上では「民生委員・児童委員」の割合が最も高くなっており、前回同様となっています。

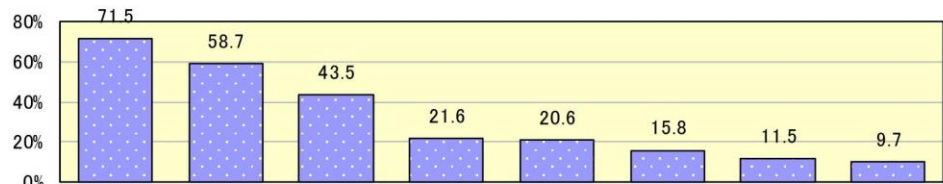
【参考】

〔複数回答〕

全体スコアから+10.0ポイント以上



全体スコアから-10.0ポイント以下

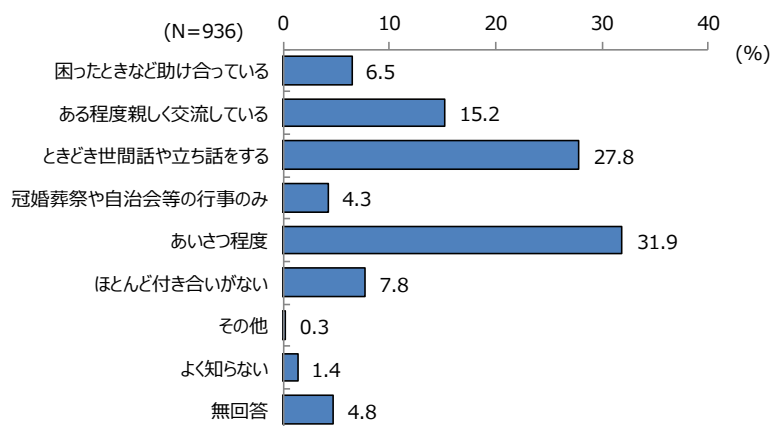


	回答数	民生委員・児童委員	子育て支援センター(いわで・あいあい)	社会福祉協議会	地域包括支援センター	岩出障害児者相談・支援センター	障害者自立支援協議会	地域福祉協議会	無回答
全体	741	71.5	58.7	43.5	21.6	20.6	15.8	11.5	9.7
別性									
男性	352	72.2	57.1	44.0	19.3	23.3	17.0	12.2	8.2
女性	376	72.1	61.2	44.1	24.5	18.9	15.2	11.2	9.6
年代									
20代	63	31.7	57.1	19.0	15.9	20.6	11.1	4.8	22.2
30代	95	56.8	82.1	37.9	23.2	26.3	15.8	12.6	6.3
40代	92	70.7	81.5	42.4	16.3	26.1	17.4	9.8	5.4
50代	109	74.3	64.2	46.8	25.7	18.3	12.8	10.1	7.3
60代	166	80.7	60.8	53.6	25.3	21.7	22.9	15.7	7.8
70代	145	86.2	35.9	48.3	18.6	19.3	14.5	11.0	9.0
80代以上	60	76.7	33.3	40.0	25.0	11.7	10.0	11.7	13.3
居住地									
岩出地区	143	75.5	54.5	51.7	23.8	17.5	17.5	13.3	8.4
山崎地区	279	71.3	58.8	40.9	21.9	21.1	13.6	9.3	6.1
根来地区	99	66.7	72.7	43.4	20.2	26.3	15.2	14.1	9.1
上岩出地区	212	72.6	56.1	42.9	21.2	20.3	18.4	12.3	13.7

3. 地域での生活について

[1] 近所付き合いの程度

問 9 あなたは、ふだん近所の人とどの程度のお付き合いをされていますか。
(○はひとつ)



	N	困ったときなど助け合っている	ある程度親しく交流している	ととき世間話や立ち話をする	冠婚葬祭や自治会等の行事のみ	あいさつ程度	ほとんど付き合いがない	その他	よく知らない	無回答
全体	936	6.5	15.2	27.8	4.3	31.9	7.8	0.3	1.4	4.8
性別										
男	426	5.6	13.8	26.8	5.6	34.3	7.3	0.5	1.2	4.9
女	472	7.4	15.7	30.3	2.8	29.9	8.1	0.2	1.5	4.2
年齢別										
20歳代	80	2.5	7.5	16.3	1.3	48.8	17.5	0.0	6.3	0.0
30歳代	123	3.3	14.6	24.4	1.6	39.0	8.1	0.0	5.7	3.3
40歳代	119	6.7	6.7	28.6	1.7	44.5	9.2	0.0	0.8	1.7
50歳代	151	7.3	9.9	29.8	4.6	36.4	8.6	0.0	0.0	3.3
60歳代	210	8.1	13.8	35.7	6.7	26.2	4.8	0.0	0.0	4.8
70歳代	185	7.6	28.6	24.3	5.9	20.5	5.9	1.1	0.0	5.9
80歳以上	65	6.2	18.5	27.7	4.6	16.9	6.2	1.5	0.0	18.5
地域別										
岩出小学校区	129	11.6	17.1	19.4	7.8	27.1	7.0	0.0	0.8	9.3
山崎小学校区	199	7.0	17.1	33.2	2.0	28.6	6.0	0.0	2.0	4.0
根来小学校区	102	8.8	8.8	33.3	2.9	36.3	4.9	0.0	2.0	2.9
上岩出小学校区	149	3.4	14.1	28.9	6.0	28.2	10.7	0.7	3.4	4.7
山崎北小学校区	193	4.7	18.1	26.4	4.7	36.3	4.7	0.5	0.0	4.7
中央小学校区	117	4.3	15.4	27.4	4.3	35.0	10.3	0.0	0.9	2.6
わからない	39	5.1	5.1	23.1	0.0	38.5	23.1	2.6	0.0	2.6

近所付き合いの程度については、「あいさつ程度」が 31.9%と最も多く、次いで「ととき世間話や立ち話をする」が 27.8%となっています。

性別にみると、男性は「あいさつ程度」が 34.3%、女性は「ととき世間話や立ち話をする」が 30.3%と最も多くなっています。

年齢別にみると、20～50歳代で「あいさつ程度」が3～4割台、60歳代と80歳以上で「ととき世間話や立ち話をする」が2割台半ば～3割台半ば、70歳代で「ある程度親しく交流している」が3割弱と最も多くなっています。一方、20歳代では「ほとんど付き合いがない」が2割弱と他の年代より多くなっています。

地域別にみると、岩出小学校区、根来小学校区、山崎北小学校区、中央小学校区で「あいさつ程度」が2割台半ば～3割台半ばと最も多く、山崎小学校区、上岩出小学校区では「ととき世間話や立ち話をする」が3割弱～3割強と最も多くなっています。

〔前回調査との比較〕

全体でみると、前回調査では「ときどき世間話や立ち話をする」の割合が最も高いのに対して、今回調査では「あいさつ程度」となっており、近所の人とのつきあいが薄くなっている傾向が伺えます。

性別でみると、男性よりも女性の方が親密度が高く前回同様となっています。

年代でみると、前回調査では50代で「ときどき世間話や立ち話をする」が最も高かったのに対し、今回調査では「あいさつ程度」となっており、近所の人とのつきあいが薄くなっていることが分かります。

【参考】

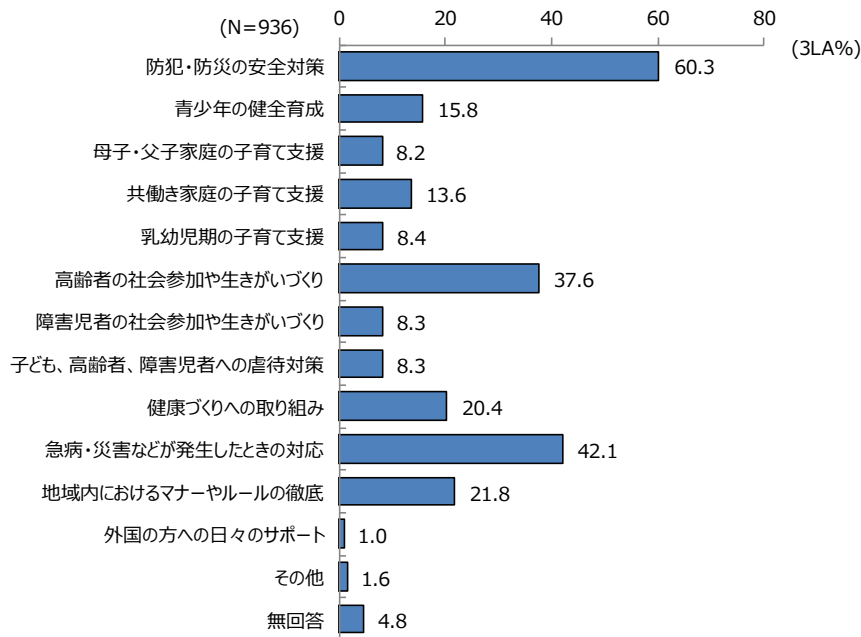
[単一回答]

※2.0未満はラベル非表示

	(n=)	困ったとき など助け 合っている	ある程度 親しく交流 している	ときどき世 間話や立 ち話をする	冠婚葬祭 や自治会 等の行事 のみ	あいさつ程 度	ほとんど 付き合い がない	よく知らな い	その他	無回答	(%)
全体	(741)	10.5	22.7	25.2	4.5	22.7	6.5	6.1			
性別	男性 (352)	9.1	23.3	23.0	5.7	24.1	6.8	6.0			
	女性 (376)	12.0	22.1	27.4	3.2	21.5	6.4	5.6			
年代	20代 (63)	9.5	15.9	3.2	46.0		19.0	4.8			
	30代 (95)	5.3	15.8	29.5	2.1	33.7	6.3	4.2	3.2		
	40代 (92)	10.9	10.9	28.3	2.2	31.5	4.3	5.4	6.5		
	50代 (109)	10.1	21.1	26.6	6.3	22.9	7.3				
	60代 (166)	12.0	25.3	27.1	6.0	15.7	3.6	9.0			
	70代 (145)	13.1	36.6	24.1	4.1	11.0	6.9	4.1			
	80代以上 (60)	18.3	26.7	20.0	3.3	16.7	3.3	11.7			
居住地	岩出地区 (143)	7.0	24.5	28.0	4.9	22.4	4.9	6.3			
	山崎地区 (279)	8.2	25.4	25.1	2.5	24.7	6.1	5.7			
	根来地区 (99)	17.2	16.2	27.3	8.1	20.2	7.1	4.0			
	上岩出地区 (212)	12.7	20.8	22.6	5.2	21.7	8.0	2.4	6.6		

〔2〕地域住民が取り組むべき課題や問題

問10 あなたの身近な地域に、地域住民が取り組むべき課題や問題としてどのようなことがあると思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)



	N	策防 犯・ 防災 の安 全対 策	青 少 年 の 健 全 育 成	育 母 子 支 援 父 子 家 庭 の 子 育て	支 共 働 き 家 庭 の 子 育て	援 乳 幼 児 期 の 子 育て	生 高 齢 者 の 社 会 参 加 や	や 障 害 児 者 の 社 会 参 加	害 児 者 へ の 高 齢 者 、 障 害 児 者 の 社 会 参 加	子 ども 、 高 齢 者 、 障 害 児 者 へ の 高 齢 者 、 障 害 児 者 の 社 会 参 加	組 健 康 づ くり へ の 取 り 組 み	生 急 病 ・ 災 害 な ど が 発 生 し た と き の 対 応	ナ ー や ル ー ル の 徹 底	サ ポ ー ト 外 国 の 方 へ の 日 々 の サ ポ ー ト	そ の 他	無 回 答
全体	936	60.3	15.8	8.2	13.6	8.4	37.6	8.3	8.3	20.4	42.1	21.8	1.0	1.6	4.8	
性別																
男	426	62.7	18.5	6.8	10.6	5.6	36.2	8.0	7.0	20.4	40.8	25.8	1.2	2.1	5.2	
女	472	58.5	14.2	9.7	16.5	11.4	38.6	9.1	9.7	19.7	42.2	18.2	0.8	1.1	4.2	
年齢別																
20歳代	80	48.8	11.3	26.3	27.5	18.8	11.3	18.8	16.3	11.3	32.5	18.8	1.3	3.8	3.8	
30歳代	123	58.5	23.6	9.8	37.4	22.0	10.6	8.9	4.1	11.4	39.0	23.6	0.8	0.8	4.1	
40歳代	119	60.5	21.0	10.1	19.3	6.7	29.4	8.4	14.3	13.4	43.7	21.8	1.7	0.8	1.7	
50歳代	151	63.6	13.9	7.9	9.3	6.6	42.4	10.6	6.6	17.2	48.3	31.8	1.3	0.7	4.0	
60歳代	210	62.4	11.9	4.8	7.6	6.2	49.5	7.6	7.1	26.7	48.1	18.1	1.0	2.4	4.8	
70歳代	185	63.8	15.7	3.8	2.2	2.7	47.0	5.4	7.6	26.5	38.9	23.2	0.5	2.2	5.4	
80歳以上	65	53.8	15.4	4.6	3.1	1.5	58.5	0.0	6.2	27.7	32.3	4.6	0.0	0.0	13.8	
地域別																
岩出小学校区	129	56.6	10.9	5.4	13.2	7.0	34.9	9.3	7.8	22.5	45.0	22.5	0.8	0.8	5.4	
山崎小学校区	199	54.3	18.1	10.1	12.1	8.5	40.7	9.5	7.5	17.6	40.2	22.1	0.5	3.5	4.5	
根来小学校区	102	69.6	15.7	7.8	12.7	5.9	29.4	8.8	12.7	15.7	43.1	25.5	1.0	0.0	3.9	
上岩出小学校区	149	63.1	17.4	7.4	9.4	8.7	34.9	8.1	7.4	26.8	42.3	20.8	0.7	1.3	5.4	
山崎北小学校区	193	60.6	11.9	7.8	17.1	13.0	43.5	4.1	7.3	21.2	44.0	19.7	1.0	2.1	3.6	
中央小学校区	117	66.7	25.6	9.4	19.7	7.7	32.5	10.3	10.3	20.5	37.6	23.1	1.7	0.9	3.4	
わからない	39	43.6	7.7	12.8	7.7	0.0	46.2	15.4	5.1	10.3	41.0	17.9	2.6	0.0	12.8	

地域住民が取り組むべき課題や問題については、「防犯・防災の安全対策」が60.3%と最も多く、次いで「急病・災害などが発生したときの対応」が42.1%となっています。

性別にみると、男女ともに全体と同様の結果となっています。

年齢別にみると、20～30歳代で「共働き家庭の子育て支援」、「乳幼児期の子育て支援」、50歳代で「地域内におけるマナーやルールの徹底」、60歳代以上で「高齢者の社会参加や生きがいづくり」、「健康づくりへの取り組み」が他の年代よりやや多くなっています。

地域別にみると、すべての地域で「防犯・防災の安全対策」が5割台半ば～6割台半ばと最も多くなっています。

〔前回調査との比較〕

全体および性別でみると、前回同様「防犯・防災の安全対策」の割合が最も高く、特に大きな変化はみられません。

年代でみると、80代以上において前回調査では「防犯・防災の地域の安全対策」が最も高かったのに対し、今回調査では「高齢者の社会参加や生きがいづくり」の割合が最も高く、25.2ポイントも増加しています。

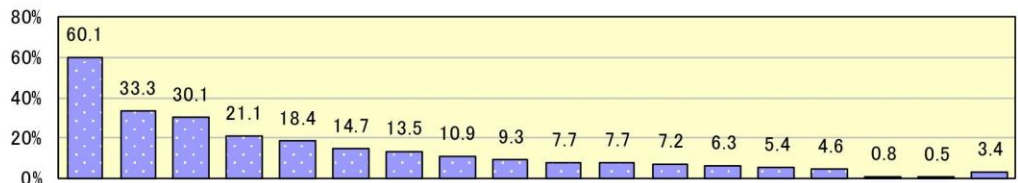
【参考】

[複数回答]

全体スコアから+10.0ポイント以上



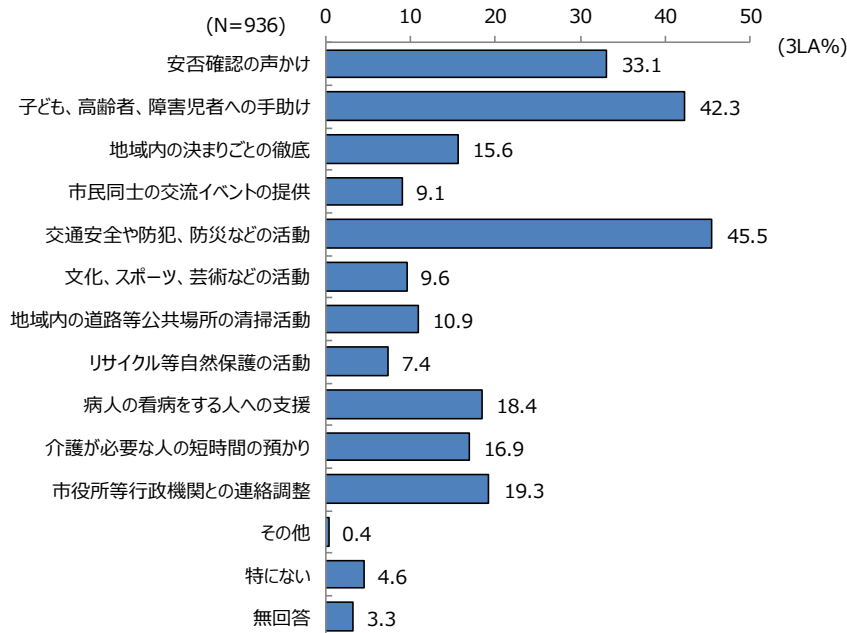
全体スコアから-10.0ポイント以下



	回答数	防犯・防災の地域の安全対策	高齢者の孤立防止や生きがいづくり	急病・害などが発生したときの対応	お互いあいさつをしたり、集まって話をする機会づくり	地域内におけるマナーやルールの徹底	健康づくりへの取組	青少年の健全育成	児童の放課後や長期休暇中の居場所づくり	働き家庭子への支援	乳幼児の子育て支援	認知の方々の徘徊早期発見	子ども、高齢者がいる人への虐待対策	高齢者へのミシ等の助け	母子・家庭の子育て支援	ひきこり状態若者への支援	外国の方への日々のサポート	その他	無回答	
全体	741	60.1	33.3	30.1	21.1	18.4	14.7	13.5	10.9	9.3	7.7	7.7	7.2	6.3	5.4	4.6	0.8	0.5	3.4	
別性	男性	352	61.1	33.5	27.3	24.4	20.7	15.3	15.9	9.4	9.7	6.8	7.1	6.8	6.0	6.8	3.7	1.1	0.6	2.6
	女性	376	59.8	33.2	33.2	18.1	16.0	14.1	11.2	12.8	9.3	8.5	8.2	7.4	6.6	4.3	5.3	0.5	0.5	3.5
年代	20代	63	57.1	22.2	33.3	17.5	12.7	12.7	15.9	14.3	20.6	1.6	14.3	4.8	7.9	6.3	1.6	1.6	1.6	
	30代	95	68.4	13.7	23.2	16.8	21.1	5.3	9.5	30.5	31.6	22.1	2.1	10.5	1.1	3.2	6.3	0.0	1.1	0.0
	40代	92	63.0	19.6	20.7	15.2	19.6	7.6	18.5	17.4	15.2	6.5	5.4	8.7	2.2	10.9	6.5	2.2	0.0	3.3
	50代	109	60.6	31.2	35.8	20.2	20.2	10.1	16.5	6.4	4.6	6.4	10.1	7.3	4.6	9.2	9.2	0.9	0.0	2.8
	60代	166	57.8	51.8	34.9	20.5	17.5	21.7	13.3	6.6	4.8	3.6	7.8	4.8	6.6	4.2	2.4	1.2	0.6	2.4
	70代	145	60.0	40.7	29.7	29.0	20.0	20.0	12.4	4.8	2.1	2.1	11.7	4.1	8.3	3.4	1.4	0.0	0.7	3.4
80代以上	60	53.3	33.3	31.7	25.0	15.0	20.0	8.3	1.7	0.0	0.0	11.7	3.3	21.7	0.0	1.7	0.0	0.0	10.0	
居住地	岩出地区	143	58.7	34.3	28.0	21.0	21.7	17.5	14.0	9.1	4.9	3.5	7.0	7.7	9.1	4.9	4.9	0.7	0.7	2.8
	山崎地区	279	64.2	35.1	31.2	24.0	18.3	15.1	12.2	11.1	10.8	8.6	7.5	5.0	6.1	2.2	3.2	0.7	1.1	2.2
	根来地区	99	60.6	26.3	26.3	23.2	20.2	16.2	13.1	13.1	10.1	10.1	7.1	8.1	3.0	6.1	5.1	1.0	0.0	4.0
	上岩出地区	212	56.1	34.0	32.5	16.5	15.6	11.8	14.6	11.3	10.4	8.0	9.0	9.0	6.6	9.9	6.1	0.9	0.0	3.8

〔3〕安心して暮らしていくために、地域にある組織や団体に対して期待する活動

問11 あなたが住んでいる地域の中で安心して暮らしていくために、地域にある組織や団体に対し、どのような活動を期待していますか。(あてはまるもの3つまでに○)



	N	安否確認の声かけ	子ども、高齢者、障害児者への手助け	地域内の決まりごと	市民同士の交流イベントの提供	交通安全や防犯、防災などの活動	文化、スポーツ、芸術などの活動	地域内の道路等公共場所の清掃活動	リサイクル等自然保護の活動	病人の看病をする人への支援	介護が必要な人の短時間の預かり	市役所等行政機関との連絡調整	その他	特にない	無回答
全体	936	33.1	42.3	15.6	9.1	45.5	9.6	10.9	7.4	18.4	16.9	19.3	0.4	4.6	3.3
性別															
男	426	32.2	40.4	19.7	9.2	47.4	13.1	12.0	8.7	16.4	12.0	21.4	0.7	4.0	3.1
女	472	34.3	45.1	11.7	9.1	43.9	6.6	10.0	6.4	19.7	21.8	17.2	0.2	4.9	3.6
年齢別															
20歳代	80	23.8	56.3	10.0	7.5	41.3	8.8	12.5	6.3	21.3	16.3	20.0	0.0	7.5	1.3
30歳代	123	22.0	58.5	10.6	4.1	56.9	12.2	14.6	11.4	17.9	8.9	14.6	0.8	1.6	4.1
40歳代	119	32.8	51.3	12.6	10.1	58.0	5.9	7.6	6.7	17.6	19.3	16.0	0.0	0.8	1.7
50歳代	151	31.1	43.7	21.9	6.0	47.0	8.6	9.9	6.6	18.5	24.5	21.9	0.0	4.6	4.6
60歳代	210	36.7	35.2	16.2	11.9	46.2	13.8	11.4	4.8	17.6	17.1	24.3	0.5	4.3	2.4
70歳代	185	36.8	29.7	17.8	11.9	35.7	7.6	10.8	9.2	17.8	13.0	20.0	0.5	7.6	3.2
80歳以上	65	47.7	33.8	15.4	9.2	27.7	6.2	9.2	7.7	18.5	20.0	10.8	1.5	6.2	7.7
地域別															
岩出小学校区	129	33.3	38.0	14.7	5.4	43.4	7.0	14.0	2.3	21.7	18.6	17.1	0.0	7.8	4.7
山崎小学校区	199	34.7	46.2	19.6	7.0	40.7	9.0	14.1	9.0	14.1	18.1	15.1	0.0	5.5	3.0
根来小学校区	102	31.4	47.1	18.6	12.7	51.0	8.8	3.9	8.8	14.7	14.7	24.5	0.0	2.9	0.0
上岩出小学校区	149	32.9	35.6	16.1	15.4	43.0	12.8	11.4	9.4	16.1	13.4	19.5	0.7	5.4	4.0
山崎北小学校区	193	31.6	43.5	11.4	7.3	47.7	9.8	10.4	8.3	21.8	16.1	21.8	1.0	3.1	3.1
中央小学校区	117	34.2	43.6	16.2	8.5	55.6	7.7	9.4	6.0	21.4	21.4	18.8	0.9	2.6	3.4
わからない	39	33.3	38.5	10.3	10.3	28.2	15.4	7.7	5.1	20.5	12.8	25.6	0.0	5.1	7.7

地域にある組織や団体に対して期待する活動については、「交通安全や防犯、防災などの活動」が45.5%と最も多く、次いで「子ども、高齢者、障害児者への手助け」が42.3%となっています。

性別にみると、男性は「交通安全や防犯、防災などの活動」が47.4%、女性は「子ども、高齢者、障害児者への手助け」が45.1%と最も多くなっています。

年齢別にみると、20～30歳代で「子ども、高齢者、障害児者への手助け」、40～60歳代で「交通安全や防犯、防災などの活動」、70歳代以上で「安否確認の声かけ」が最も多くなっています。

地域別にみると、山崎小学校区を除くすべての地域で「交通安全や防犯、防災などの活動」が4～5割台と最も多く、山崎小学校区は「子ども、高齢者、障害児者への手助け」が4割台半ばと最も多くなっています。

〔前回調査との比較〕

全体でみると、「交通安全や防犯、防災などの活動」の割合が最も高く、前回調査と同様となっています。

性別でみると、男性は大きな変化がみられませんが、女性において前回調査では「交通安全や防犯、防災などの活動」の割合が最も高かったのに対し、今回調査では「子ども、高齢者、障害児者への手助け」の割合が最も高くなっています。

70代・80代以上においては、前回同様「安否確認の声かけ」への期待が高いことが伺えます。

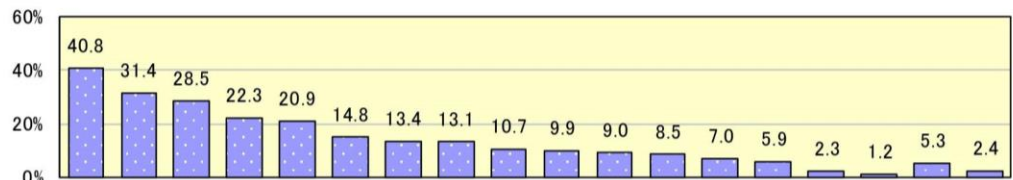
【参考】

[複数回答]

全体スコアから+10.0ポイント以上



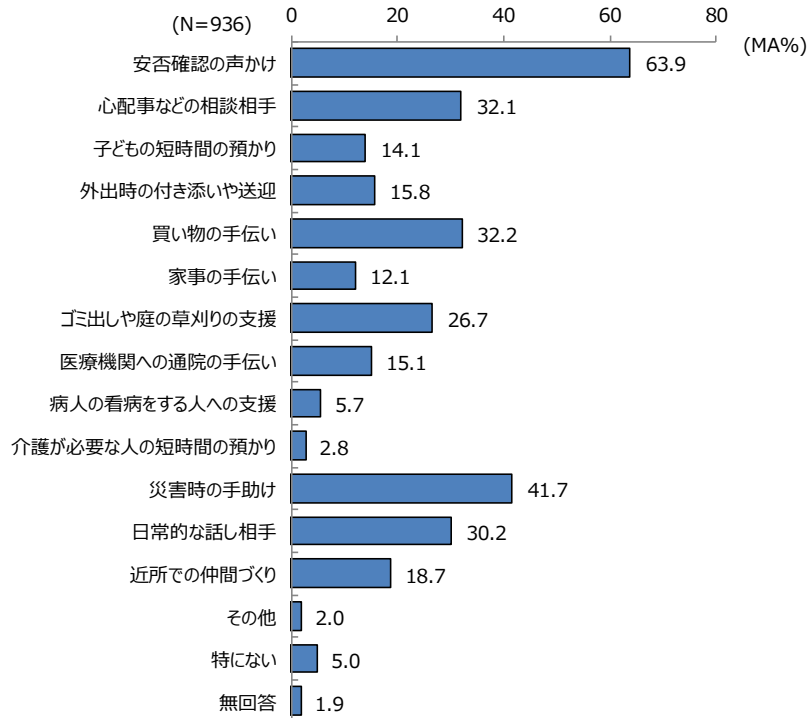
全体スコアから-10.0ポイント以下



	回答数	活動項目																		
		交通安全や防犯、防災などの活動	子ども、高齢者、障害児者への手助け	安否確認の声かけ	困り事、心配事の相談窓口	災害時の手助け	地域内の決まり事の徹底	介護をしている人への支援	市役所等行政機関との連絡調整	文化、スポーツ、芸術などの活動	地域の道路等公場の清掃活動	病気のきかけ	市民同士の交流イベントの提供	介助を必要とする人の短時間預かり	リサイクル等自然保護の活動	サロン活動	その他	特になし	無回答	
全体	741	40.8	31.4	28.5	22.3	20.9	14.8	13.4	13.1	10.7	9.9	9.0	8.5	7.0	5.9	2.3	1.2	5.3	2.4	
別性	男性	352	42.3	30.4	27.3	21.3	19.6	19.0	13.1	14.5	13.1	10.2	8.5	9.1	5.7	5.1	2.8	1.7	6.0	1.4
	女性	376	39.9	33.2	29.8	23.1	21.8	10.6	14.1	11.7	8.8	10.2	9.6	8.2	8.2	6.6	1.9	0.8	4.5	2.7
年代	20代	63	42.9	36.5	15.9	25.4	33.3	4.8	17.5	11.1	19.0	11.1	1.6	9.5	6.3	1.6	1.6	4.8	4.8	0.0
	30代	95	48.4	40.0	24.2	16.8	28.4	15.8	21.1	8.4	9.5	11.6	4.2	6.3	2.1	1.1	0.0	7.4	0.0	
	40代	92	47.8	43.5	23.9	30.4	27.2	6.5	7.6	12.0	12.0	9.8	4.3	7.6	5.4	5.4	0.0	0.0	4.3	2.2
	50代	109	48.6	29.4	26.6	22.9	17.4	14.7	14.7	15.6	9.2	8.3	11.9	6.4	7.3	9.2	0.9	1.8	6.4	1.8
	60代	166	40.4	27.1	27.1	22.9	21.1	18.1	11.4	13.9	12.7	9.6	8.4	13.3	7.2	7.2	2.4	1.2	4.2	0.6
	70代	145	34.5	23.4	35.2	20.0	30.3	20.7	13.8	15.9	8.3	10.3	13.1	9.7	6.9	6.9	5.5	0.7	5.5	4.1
	80代以上	60	21.7	31.7	46.7	16.7	18.3	13.3	10.0	10.0	6.7	10.0	16.7	1.7	10.0	3.3	3.3	1.7	5.0	6.7
居住地	岩出地区	143	42.7	34.3	31.5	15.4	23.1	10.5	11.9	17.5	9.1	10.5	11.9	6.3	9.8	4.9	2.8	1.4	5.6	1.4
	山崎地区	279	41.2	30.1	27.6	20.1	23.3	15.8	13.6	10.4	12.9	9.3	8.6	8.6	5.0	6.1	2.2	1.8	5.4	1.1
	根来地区	99	45.5	28.3	29.3	22.2	14.1	16.2	11.1	13.1	11.1	14.1	3.0	11.1	8.1	7.1	2.0	0.0	6.1	2.0
	上岩出地区	212	37.7	33.5	27.8	29.7	19.3	15.6	15.6	13.7	9.0	8.5	10.4	9.0	7.1	5.7	2.4	0.9	4.7	3.8

[4] 助けを求められたときに、できる手助け

問12 あなたは困りごとを抱えている人たちから助けを求められたとき、どのようなことができると思いますか。(あてはまるものすべてに○)



	N	安否確認の声かけ	相談相手	子どもの短時間の預かり	や送迎の付き添い	買い物の手伝い	家事の手伝い	ゴミ出しや庭の草刈りの支援	医療機関への通院の手伝い	病人の看病をする人への支援	介護が必要な人の短時間の預かり	災害時の手助け	日常的な話し相手	近所での仲間づくり	その他	特にない	無回答
全体	936	63.9	32.1	14.1	15.8	32.2	12.1	26.7	15.1	5.7	2.8	41.7	30.2	18.7	2.0	5.0	1.9
性別																	
男	426	60.3	28.6	10.3	16.2	24.6	8.5	33.3	15.5	4.5	2.3	49.1	24.9	17.1	2.1	6.3	1.4
女	472	66.9	36.0	17.6	16.3	39.6	15.5	21.6	15.5	6.8	3.4	35.0	34.5	20.1	2.1	4.0	2.5
年齢別																	
20歳代	80	53.8	41.3	20.0	12.5	27.5	12.5	20.0	13.8	5.0	1.3	41.3	32.5	18.8	1.3	5.0	2.5
30歳代	123	60.2	41.5	29.3	19.5	36.6	17.9	24.4	19.5	8.9	3.3	42.3	30.1	25.2	2.4	7.3	1.6
40歳代	119	65.5	29.4	16.8	14.3	25.2	5.9	25.2	11.8	2.5	2.5	46.2	19.3	15.1	2.5	6.7	0.8
50歳代	151	67.5	32.5	11.3	15.2	38.4	12.6	28.5	17.2	6.0	2.6	50.3	26.5	13.2	1.3	3.3	3.3
60歳代	210	69.5	29.5	11.9	20.5	41.0	13.8	30.5	17.6	5.7	4.3	41.4	31.9	15.2	1.9	3.3	0.0
70歳代	185	64.9	27.0	8.1	13.0	27.6	10.8	29.7	11.9	5.4	1.6	38.9	36.2	22.2	1.6	4.9	1.1
80歳以上	65	50.8	27.7	4.6	9.2	10.8	7.7	18.5	10.8	6.2	3.1	21.5	32.3	27.7	4.6	7.7	7.7
地域別																	
岩出小学校区	129	69.0	34.1	17.8	16.3	32.6	11.6	28.7	13.2	7.0	4.7	45.7	31.8	14.0	1.6	3.1	2.3
山崎小学校区	199	61.8	33.7	17.1	16.6	33.7	12.1	27.1	17.1	5.0	4.0	36.2	29.1	18.1	0.5	8.0	2.0
根来小学校区	102	69.6	21.6	8.8	13.7	22.5	5.9	21.6	10.8	6.9	2.9	41.2	35.3	20.6	0.0	6.9	0.0
上岩出小学校区	149	65.1	27.5	12.1	14.8	30.9	13.4	30.2	10.7	2.7	0.7	42.3	30.2	16.8	2.0	4.7	2.0
山崎北小学校区	193	62.7	35.2	13.5	18.1	32.6	15.0	23.3	19.2	5.7	3.6	45.1	32.1	18.7	4.1	3.1	0.5
中央小学校区	117	56.4	36.8	16.2	14.5	40.2	12.0	34.2	16.2	6.0	0.0	42.7	23.1	24.8	2.6	2.6	1.7
わからない	39	66.7	30.8	7.7	10.3	25.6	10.3	15.4	17.9	12.8	2.6	38.5	30.8	25.6	5.1	10.3	5.1

助けを求められたときに、できる手助けについては、「安否確認の声かけ」が 63.9%と最も多く、次いで「災害時の手助け」が 41.7%となっています。

性別にみると、男女ともに「安否確認の声かけ」が最も多く、次いで男性では「災害時の手助け」が約 5 割、女性は「買い物の手伝い」が約 4 割となっています。

年齢別にみると、全年代で「安否確認の声かけ」が最も多くなっています。また、20～30 歳代では「心配事などの相談相手」が他の年代より多くなっています。

地域別にみると、すべての地域で「安否確認の声かけ」が 5～6 割台と最も多く、次いで「災害時の手助け」が 3～4 割台と多くなっています。

【前回調査との比較】

全体および性別でみると、「安否確認の声かけ」の割合が最も高く、前回と同様となっています。

年代でみると、前回調査では20代で「災害時の手助け」が80代以上では「日常的な話し相手」の割合が最も高かったのに対し、今回調査ではどちらの年代も「安否確認の声かけ」となっています。

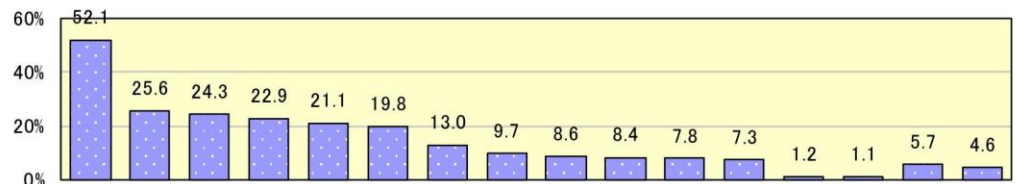
【参考】

[複数回答]

全体スコアから+10.0ポイント以上



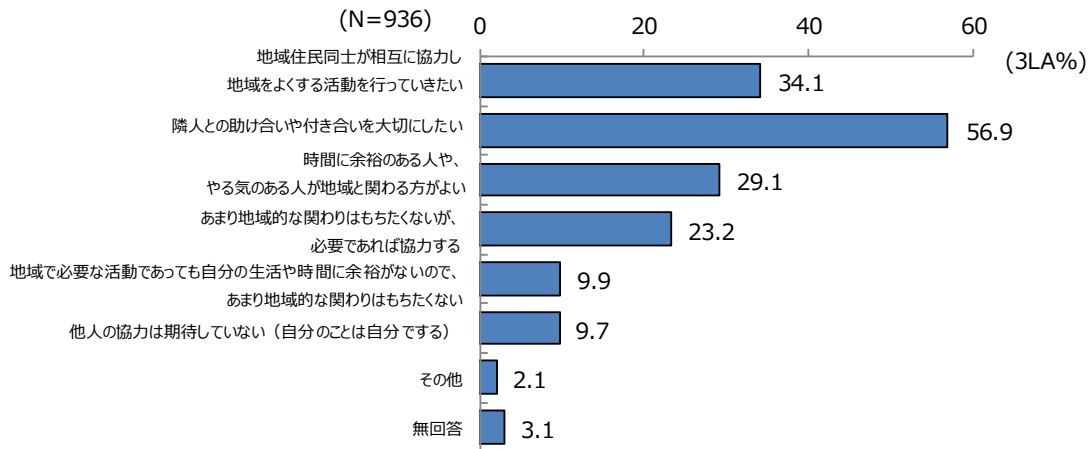
全体スコアから-10.0ポイント以下



	回答数	安否確認の声かけ	災害時の手助け	心配などの相談相手	日常的な話し相手	買い物の手伝い	病気のときの声かけ	ゴミ出しや庭の草刈りの支援	外出の付き添いや送迎	子どもの短時間預かり	医療機関への通院の手伝い	福祉サービスや相談機関等への紹介	家事の手伝い	介助を必要とする人の短時間預かり	その他	特にない	無回答	
全体	741	52.1	25.6	24.3	22.9	21.1	19.8	13.0	9.7	8.6	8.4	7.8	7.3	1.2	1.1	5.7	4.6	
別性	男性	352	52.0	36.1	25.9	19.0	16.8	15.3	15.6	9.1	7.1	9.4	8.5	2.6	1.4	0.6	6.5	4.0
	女性	376	53.5	16.5	22.9	26.9	25.8	24.2	10.9	10.4	10.1	7.4	7.2	11.7	1.1	1.6	4.5	4.3
年代	20代	63	33.3	38.1	30.2	20.6	19.0	12.7	11.1	9.5	14.3	4.8	6.3	4.8	4.8	3.2	7.9	0.0
	30代	95	50.5	30.5	29.5	20.0	27.4	13.7	10.5	13.7	18.9	6.3	10.5	7.4	0.0	1.1	3.2	1.1
	40代	92	63.0	22.8	20.7	18.5	20.7	18.5	16.3	6.5	14.1	2.2	6.5	5.4	0.0	0.0	6.5	4.3
	50代	109	55.0	34.9	22.0	21.1	26.6	16.5	11.0	4.6	8.3	10.1	7.3	5.5	0.9	0.0	6.4	1.8
	60代	166	61.4	30.1	22.3	22.9	24.7	21.1	18.7	15.1	3.6	11.4	7.8	11.4	0.0	1.8	1.8	1.8
	70代	145	51.7	14.5	26.2	26.9	16.6	26.9	9.7	9.0	4.8	11.0	9.0	6.9	3.4	0.7	4.8	9.0
	80代以上	60	30.0	10.0	23.3	33.3	6.7	25.0	11.7	6.7	3.3	6.7	5.0	6.7	0.0	1.7	15.0	11.7
居住地	岩出地区	143	53.8	26.6	22.4	27.3	21.7	25.2	12.6	9.8	4.9	7.0	4.2	8.4	2.1	0.7	3.5	6.3
	山崎地区	279	53.4	26.2	26.9	21.1	21.1	18.6	13.6	10.4	10.0	7.5	9.0	6.5	0.0	0.7	5.4	2.9
	根来地区	99	56.6	28.3	23.2	28.3	21.2	20.2	16.2	9.1	8.1	7.1	7.1	8.1	2.0	0.0	7.1	4.0
	上岩出地区	212	48.1	23.6	23.1	20.8	21.2	17.9	11.3	9.4	9.9	11.3	9.0	7.5	1.9	2.4	6.1	4.7

〔5〕地域との関わりについての考え方

問13 地域住民同士の付き合いや、地域との関わりについてあなたの考えに近いものは何か。(あてはまるもの3つまでに○)



	N	地域住民同士が相互に協力し地域をよくする活動を行っていききたい	隣人との助け合いや付き合いを大切にしたい	時間に余裕のある人や、やる気のある人が地域と関わる方がよい	あまり地域的な関わりはもちたくないが、必要であれば協力する	地域に必要な活動であっても自分の生活や時間に余裕がないので、あまり地域的な関わりはもちたくない	他人の協力は期待していない(自分のことは自分です)	その他	無回答
全体	936	34.1	56.9	29.1	23.2	9.9	9.7	2.1	3.1
性別	男	37.6	57.7	31.9	23.2	9.9	11.7	1.4	3.1
	女	30.7	57.0	25.0	23.7	10.0	7.6	2.8	2.8
年齢別	20歳代	21.3	40.0	31.3	30.0	8.8	11.3	1.3	2.5
	30歳代	25.2	47.2	22.8	21.1	12.2	6.5	8.1	2.4
	40歳代	29.4	45.4	22.7	26.1	13.4	3.4	1.7	0.8
	50歳代	38.4	53.6	29.1	19.2	9.9	11.3	1.3	4.0
	60歳代	37.1	64.8	31.9	27.1	8.6	7.6	1.4	1.0
	70歳代	39.5	67.6	35.1	23.2	7.6	15.1	0.5	4.9
	80歳以上	40.0	67.7	20.0	10.8	12.3	13.8	1.5	9.2
地域別	岩出小学校区	32.6	52.7	24.8	31.8	6.2	9.3	2.3	3.1
	山崎小学校区	36.2	62.8	32.2	23.6	10.1	9.0	1.0	2.5
	根来小学校区	44.1	56.9	25.5	20.6	7.8	15.7	1.0	1.0
	上岩出小学校区	33.6	58.4	24.2	18.1	11.4	11.4	3.4	2.7
	山崎北小学校区	33.2	56.0	29.5	22.8	10.4	6.2	3.1	4.1
	中央小学校区	31.6	57.3	33.3	21.4	12.0	7.7	0.9	2.6
わからない	17.9	38.5	38.5	30.8	12.8	17.9	5.1	5.1	

地域との関わりについての考え方は、「隣人との助け合いや付き合いを大切にしたい」が56.9%と最も多く、次いで「地域住民同士が相互に協力し地域をよくする活動を行っていききたい」が34.1%となっています。

性別、年齢別、地域別にみても、全体と同様の結果となっていますが、年齢別の20歳代では「地域住民同士が相互に協力し地域をよくする活動を行っていききたい」が21.3%と他の年代によりやや少なくなっています。また、年齢別の20歳代と地域別の岩出小学校区では「あまり地域的な関わりはもちたくないが、必要であれば協力する」が3割台と他の年代、他地域に比べて多くなっています。

〔前回調査との比較〕

全体および性別で見ると、前回調査と同様に「隣人との助け合いや付き合いを大切にしたい」と回答した割合が最も高くなっています。

年代で見ると、どの年代も最も高い割合は「隣人との助け合いや付き合いを大切にしたい」だが、20代だけにおいては2番目に多い考え方として、「時間に余裕のある人や、やる気のある人が地域と関わる方がよい」となっており、前回調査と同様となっています。

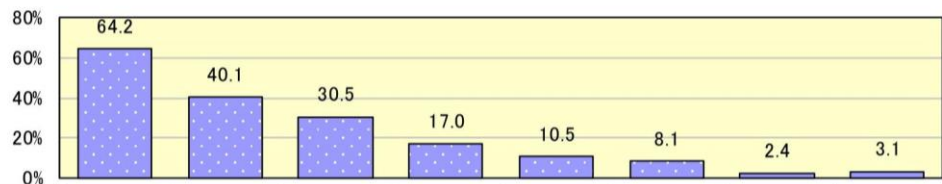
【参考】

〔複数回答〕

全体スコアから+10.0ポイント以上



全体スコアから-10.0ポイント以下

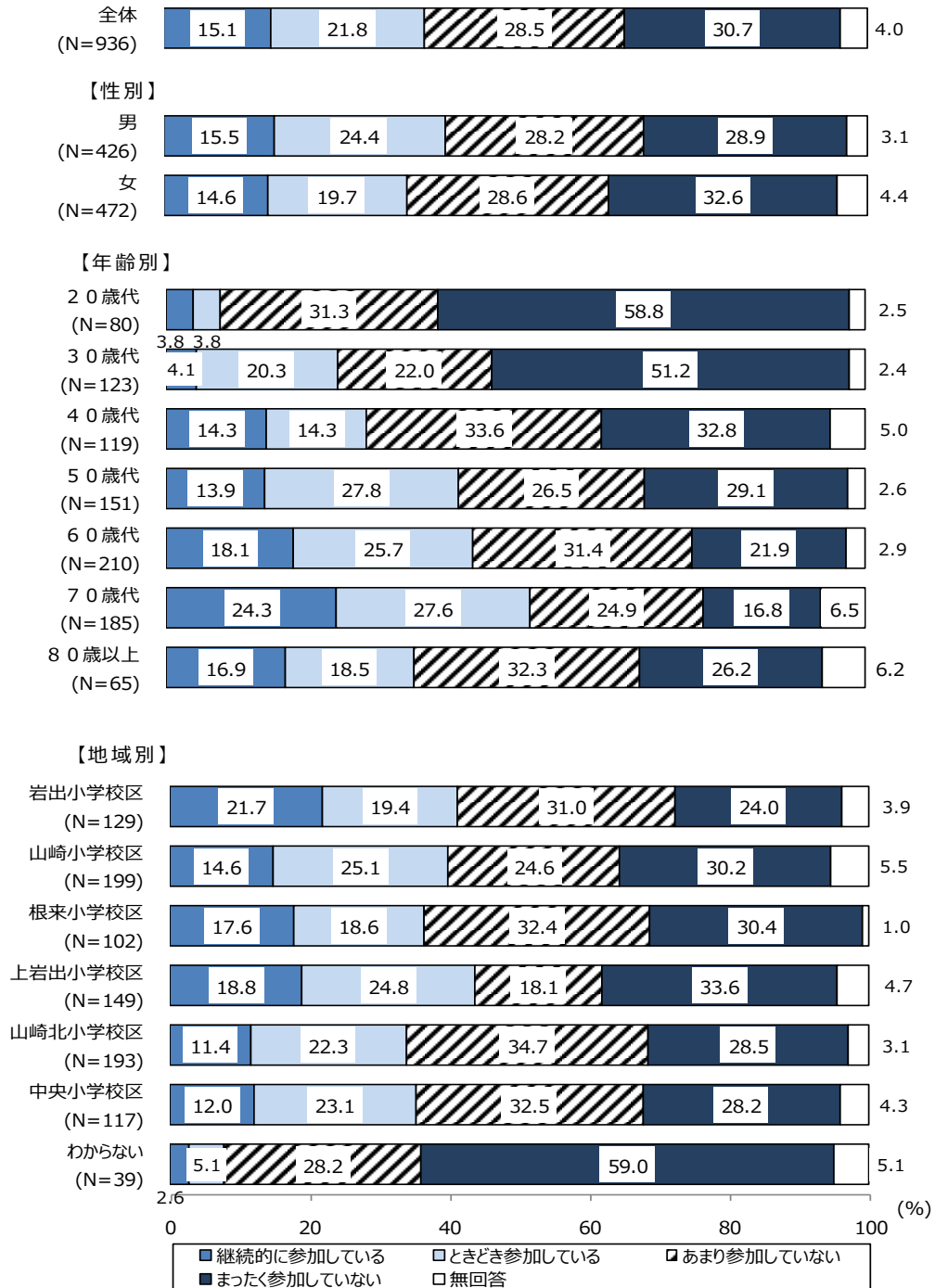


	回答数	隣人との助け合いや付き合いを大切にしたい	地域住民同士が相互に協力し地域をよくする活動を行っていききたい	時間に余裕のある人や、やる気のある人が地域と関わる方がよい	あまり地域との関わりを持ちたくないが、必要であれば協力する	他人の協力は期待していない(自分でする)	地域で必要な活動であっても、自分の生活や時間に余裕がないので、あまり地域との関わりを持ちたくない。	その他	無回答	
全体	741	64.2	40.1	30.5	17.0	10.5	8.1	2.4	3.1	
別性	男性	352	66.2	43.5	35.5	18.8	11.1	7.4	2.6	2.8
	女性	376	63.0	37.2	26.1	15.7	10.1	8.8	2.4	2.7
年代	20代	63	49.2	23.8	34.9	30.2	7.9	12.7	6.3	0.0
	30代	95	57.9	36.8	29.5	14.7	7.4	9.5	5.3	0.0
	40代	92	48.9	34.8	31.5	10.9	6.5	12.0	1.1	3.3
	50代	109	61.5	45.9	28.4	18.3	9.2	10.1	1.8	0.0
	60代	166	72.3	46.4	29.5	19.9	12.7	6.0	2.4	1.2
	70代	145	75.9	46.2	33.8	16.6	10.3	2.8	1.4	6.2
	80代以上	60	70.0	28.3	23.3	8.3	23.3	8.3	0.0	10.0
居住地	岩出地区	143	60.8	39.9	30.1	18.9	15.4	9.1	2.8	2.8
	山崎地区	279	64.9	40.5	24.7	16.8	9.7	6.1	2.9	1.8
	根来地区	99	65.7	47.5	37.4	13.1	10.1	10.1	2.0	2.0
	上岩出地区	212	65.6	36.8	35.8	18.4	9.0	9.0	1.9	4.2

4. 地域活動について

〔1〕 地域活動の参加の有無

問14 あなたは地域での活動に参加していますか。(どちらかひとつに○)



地域活動の参加の有無については、「まったく参加していない」が 30.7%と最も多く、次いで「あまり参加していない」が 28.5%となっており、「あまり参加していない」と「まったく参加していない」を合わせた『参加していない』は 59.2%と半数を超えています。

一方「継続的に参加している」と「ときどき参加している」を合わせた『参加している』は 36.9%となっています。

性別にみると、男女ともに「まったく参加していない」が 2 割台後半～3 割台と最も多く、次いで「あまり参加していない」が 3 割弱となっており男性より女性の参加率が少なくなっています。

年齢別にみると、20 歳代～70 歳代では年齢が高いほど『参加している』が多く、年齢が低いほど『参加していない』が多い傾向となっていますが、80 歳以上を境に『参加している』が減少し、『参加していない』が増加しています。また、20 歳代では『参加していない』が 9 割台と他の年代より多くなっています。

地域別にみると、岩出小学校区、根来小学校区、山崎北小学校区、中央小学校区で「あまり参加していない」が 3 割台と最も多く、山崎小学校区、上岩出小学校区では「まったく参加していない」が 3 割台と最も多くなっています。

【前回調査との比較】

全体でみると、前回調査との大きな差はみられません。

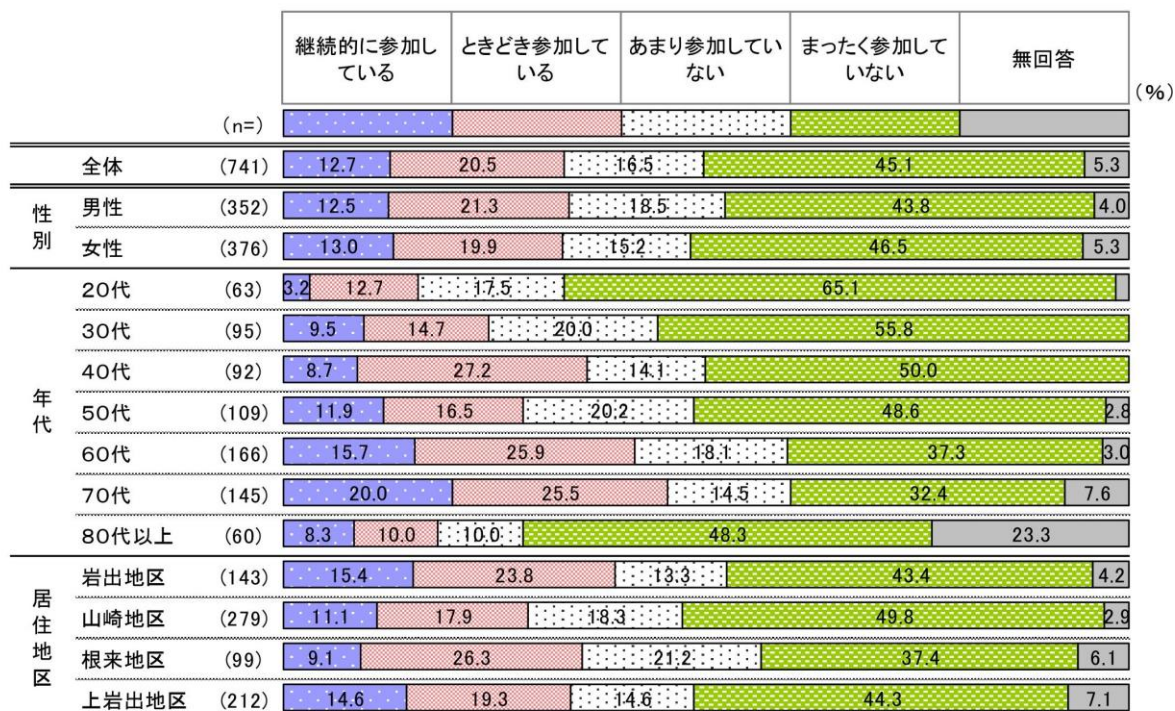
性別でみると、女性よりも男性の方が『参加している』の割合が高くなっており、こちらも前回調査と同様となっています。

年代でみると、20 代と 40 代では『参加している』の割合が減少し、30 代および 50 代から 80 代以上では増加していることが分かり、地域活動等に積極的に参加する人々が多くなっていることが伺えます。

【参考】

[単一回答]

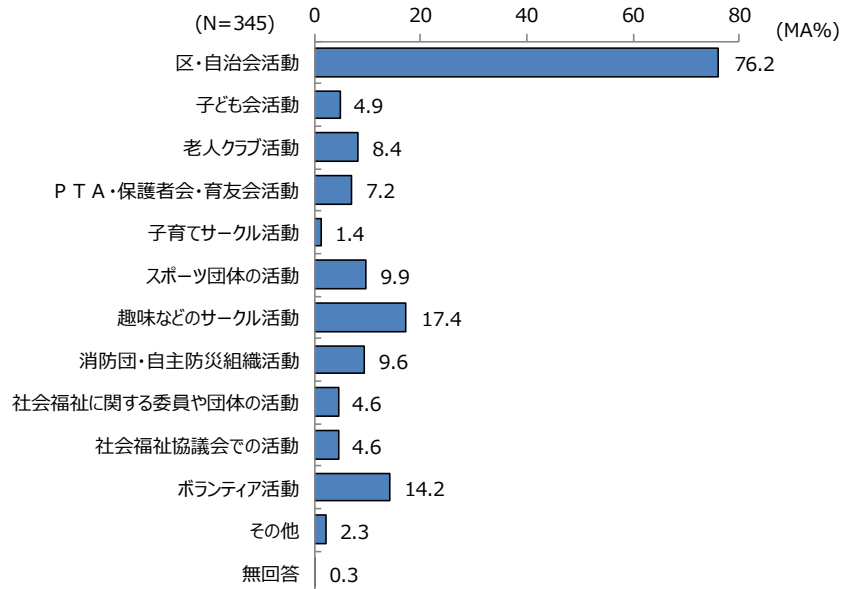
※2.0未満はラベル非表示



〔2〕参加している地域活動

【問14で「1. 継続的に参加している」または「2. ときどき参加している」を選んだ方のみ】

問14-1 どのような活動に参加していますか。(あてはまるものすべてに○)



	N	区・自治会活動	子ども会活動	老人クラブ活動	会 P T A・育友会・保護者活動	動 子 育 て サ ー ク ル 活 動	動 ス ポ ー ツ 団 体 の 活 動	ル 趣 味 な ど の サ ー ク ル 活 動	組 消 防 団 ・ 自 主 防 災 活 動	委 員 や 団 体 の 活 動	社 会 福 祉 に 関 す る 活 動	社 会 福 祉 協 議 会 で の 活 動	ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	そ の 他	無 回 答
全体	345	76.2	4.9	8.4	7.2	1.4	9.9	17.4	9.6	4.6	4.6	14.2	2.3	0.3	
性別	男	170	84.1	5.3	5.9	5.3	0.0	9.4	10.6	11.2	4.7	2.9	14.7	1.2	0.6
	女	162	67.9	4.9	11.1	9.9	3.1	10.5	24.1	6.8	3.7	6.2	12.3	3.1	0.0
年齢別	20歳代	6	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	30	50.0	23.3	0.0	23.3	3.3	16.7	10.0	10.0	0.0	0.0	3.3	3.3	0.0
	40歳代	34	58.8	5.9	0.0	32.4	2.9	14.7	5.9	0.0	0.0	5.9	23.5	0.0	0.0
	50歳代	63	88.9	4.8	0.0	7.9	1.6	3.2	11.1	9.5	0.0	4.8	17.5	1.6	0.0
	60歳代	92	83.7	2.2	6.5	1.1	1.1	6.5	18.5	13.0	4.3	5.4	12.0	3.3	0.0
	70歳代	96	75.0	3.1	15.6	1.0	1.0	11.5	26.0	10.4	8.3	5.2	16.7	3.1	0.0
	80歳以上	23	78.3	0.0	34.8	0.0	0.0	8.7	17.4	8.7	17.4	4.3	4.3	0.0	4.3
	岩出小学校区	53	75.5	1.9	9.4	5.7	0.0	11.3	15.1	13.2	5.7	7.5	15.1	1.9	1.9
地域別	山崎小学校区	79	68.4	5.1	7.6	2.5	3.8	11.4	15.2	6.3	2.5	2.5	10.1	1.3	0.0
	根来小学校区	37	91.9	2.7	16.2	2.7	0.0	10.8	21.6	2.7	2.7	0.0	10.8	5.4	0.0
	上岩出小学校区	65	72.3	7.7	6.2	9.2	3.1	10.8	12.3	10.8	7.7	4.6	18.5	1.5	0.0
	山崎北小学校区	65	75.4	3.1	7.7	9.2	0.0	6.2	21.5	10.8	6.2	6.2	16.9	3.1	0.0
	中央小学校区	41	85.4	9.8	7.3	17.1	0.0	4.9	19.5	14.6	2.4	4.9	9.8	2.4	0.0
	わからない	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0

地域活動に「1. 継続的に参加している」または「2. ときどき参加している」とお答えの方に参加している活動をたずねたところ、「区・自治会活動」が76.2%と最も多く、次いで「趣味などのサークル活動」が17.4%となっています。

性別にみると、男女とも「区・自治会活動」が最も多く、次いで男性では「ボランティア活動」、女性では「趣味などのサークル活動」が多くなっています。

年齢別にみると、全年代で「区・自治会活動」が最も多く、20歳代では「スポーツ団体の活動」、30～40歳代では「PTA・保護者会・育友会活動」、70歳代では「趣味などのサークル活動」、80歳以上では「老人クラブ活動」、「社会福祉に関する委員や団体の活動」が他の年代より多くなっています。

地域別にみると、おおむね全体と同様の結果となっていますが、根来小学校区で「老人クラブ活動」、中央小学校区で「PTA・保護者会・育友会活動」が他地域より多くなっています。

【前回調査との比較】

全体および性別でみると、参加している活動は「区、自治会活動」が最も多く、前回調査と同様となっています。性別で詳しく見ると、2番目に参加している人が多い活動として男性では前回調査では「消防団・自主防災組織活動」だったのに対し、今回調査では「ボランティア活動」となっています。

年代でみると、前回調査では20代は「趣味などのサークル活動」が最も多かったのに対し、今回調査では「区・自治会活動」となっています。

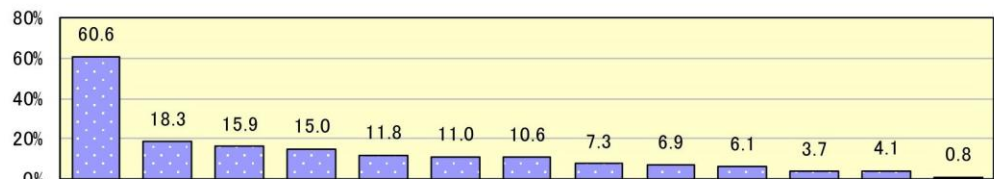
【参考】

〔複数回答〕

全体スコアから+10.0ポイント以上



全体スコアから-10.0ポイント以下

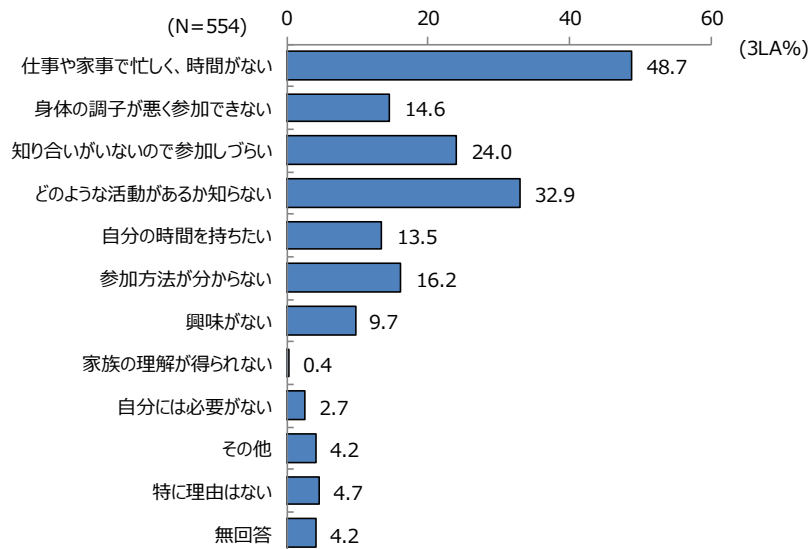


	回答数	区・自治会活動	趣味などのサークル活動	消防団・自主防災組織活動	ボランティア活動	老人クラブ活動	スポーツ団体の活動	PTA・保護者会・育友会活動	子ども会活動	社会福祉に関する委員や団体の活動	社会福祉協議会等が行う地域活動	子育てサークル活動	その他	無回答	
全体	246	60.6	18.3	15.9	15.0	11.8	11.0	10.6	7.3	6.9	6.1	3.7	4.1	0.8	
別性	男性	119	68.9	14.3	20.2	16.0	9.2	11.8	5.0	11.8	5.0	5.9	2.5	4.2	0.8
	女性	124	52.4	21.8	12.1	14.5	13.7	10.5	15.3	3.2	8.9	6.5	4.8	4.0	0.8
年代	20代	10	20.0	30.0	0.0	10.0	0.0	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	20.0	0.0
	30代	23	52.2	4.3	4.3	13.0	0.0	8.7	21.7	8.7	0.0	0.0	8.7	4.3	0.0
	40代	33	45.5	3.0	21.2	21.2	0.0	24.2	42.4	9.1	3.0	3.0	3.0	3.0	0.0
	50代	31	61.3	3.2	22.6	12.9	0.0	6.5	9.7	12.9	9.7	0.0	3.2	0.0	0.0
	60代	69	73.9	26.1	17.4	14.5	8.7	7.2	1.4	1.4	10.1	10.1	1.4	5.8	1.4
	70代	66	66.7	25.8	12.1	12.1	25.8	7.6	3.0	7.6	7.6	7.6	4.5	3.0	1.5
80代以上	11	45.5	18.2	36.4	36.4	54.5	18.2	0.0	18.2	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	
居住地	岩出地区	56	64.3	17.9	23.2	17.9	17.9	12.5	7.1	8.9	7.1	8.9	3.6	1.8	3.6
	山崎地区	81	55.6	18.5	8.6	12.3	14.8	11.1	8.6	6.2	8.6	6.2	4.9	8.6	0.0
	根来地区	35	74.3	20.0	11.4	11.4	0.0	2.9	11.4	2.9	5.7	8.6	0.0	0.0	0.0
	上岩出地区	72	56.9	16.7	20.8	18.1	9.7	13.9	13.9	9.7	5.6	2.8	4.2	2.8	0.0

〔3〕参加していない理由

【問14で「3. あまり参加していない」または「4. まったく参加していない」を選んだ方のみ】

問14-2 参加していない理由は何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)



	N	く仕事や家事で忙しい	参加できない	の知りで参加しづらい	あどのかような活動がない	た自分の時間をもちたい	な参加方法が分からない	興味がない	れ家族の理解が得られない	い自分には必要がない	その他	特に理由はない	無回答	
全体	554	48.7	14.6	24.0	32.9	13.5	16.2	9.7	0.4	2.7	4.2	4.7	4.2	
性別	男	243	45.7	17.3	22.2	31.7	13.2	18.5	11.1	0.0	2.5	4.9	4.9	5.3
	女	289	52.2	11.4	26.3	34.6	13.8	13.8	8.7	0.7	3.1	3.8	4.2	3.1
年齢別	20歳代	72	63.9	4.2	18.1	41.7	16.7	15.3	16.7	0.0	2.8	1.4	5.6	2.8
	30歳代	90	64.4	3.3	22.2	33.3	17.8	20.0	15.6	0.0	4.4	4.4	2.2	2.2
	40歳代	79	67.1	5.1	30.4	38.0	10.1	12.7	6.3	0.0	1.3	5.1	3.8	1.3
	50歳代	84	64.3	8.3	33.3	32.1	11.9	11.9	8.3	0.0	3.6	6.0	1.2	2.4
	60歳代	112	39.3	17.0	30.4	36.6	12.5	20.5	6.3	0.9	2.7	1.8	6.3	2.7
	70歳代	77	18.2	32.5	7.8	27.3	18.2	15.6	10.4	1.3	1.3	5.2	9.1	6.5
	80歳以上	38	0.0	50.0	18.4	7.9	2.6	15.8	2.6	0.0	2.6	7.9	5.3	21.1
地域別	岩出小学校区	71	47.9	19.7	25.4	26.8	14.1	9.9	5.6	0.0	1.4	4.2	9.9	4.2
	山崎小学校区	109	56.0	11.0	18.3	35.8	17.4	22.0	11.0	0.0	2.8	4.6	1.8	3.7
	根来小学校区	64	45.3	17.2	20.3	31.3	14.1	12.5	15.6	1.6	6.3	4.7	3.1	1.6
	上岩出小学校区	77	44.2	11.7	28.6	28.6	15.6	22.1	11.7	0.0	2.6	3.9	3.9	7.8
	山崎北小学校区	122	37.7	18.9	23.0	35.2	11.5	13.1	5.7	0.8	2.5	5.7	5.7	3.3
	中央小学校区	71	67.6	8.5	25.4	38.0	11.3	15.5	8.5	0.0	1.4	1.4	4.2	4.2
	わからない	34	41.2	14.7	38.2	29.4	8.8	17.6	11.8	0.0	2.9	2.9	5.9	2.9

地域活動に「3. あまり参加していない」または「4. まったく参加していない」とお答えの方に参加していない理由をたずねたところ、「仕事や家事で忙しく、時間がない」が48.7%と最も多く、次いで「どのような活動があるか知らない」が32.9%となっています。

性別、年齢別、地域別にみても、おおむね全体と同様の結果となっていますが、70歳代以上では「身体の調子が悪く参加できない」が3～5割と他の年代より多く、中央小学校区では「仕事や家事で忙しく、時間がない」が6割台後半と他の地域より多くなっています。

〔前回調査との比較〕

全体および性別で見ると、参加していない理由としては「仕事や家事で忙しく、時間がない」の割合が最も高く、前回同様となっています。

年代で見ると、70代では前回調査において「知り合いがいないので参加しづらい」の割合が最も高かったのに対し、今回調査では「身体の調子が悪く参加できない」となっています。2番目に多い理由としては「どのような活動があるか知らない」となっており、前回から変わっていないことから、もっと地域活動等において情報提供や周知に努める必要があると考えられます。

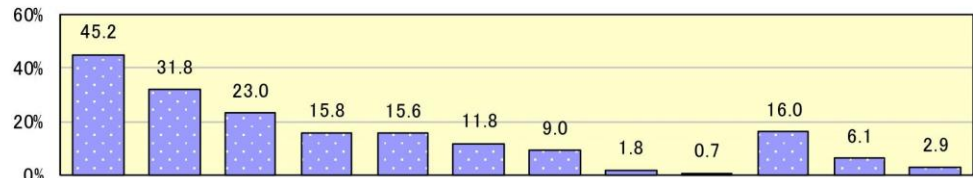
【参考】

〔複数回答〕

全体スコアから+10.0ポイント以上



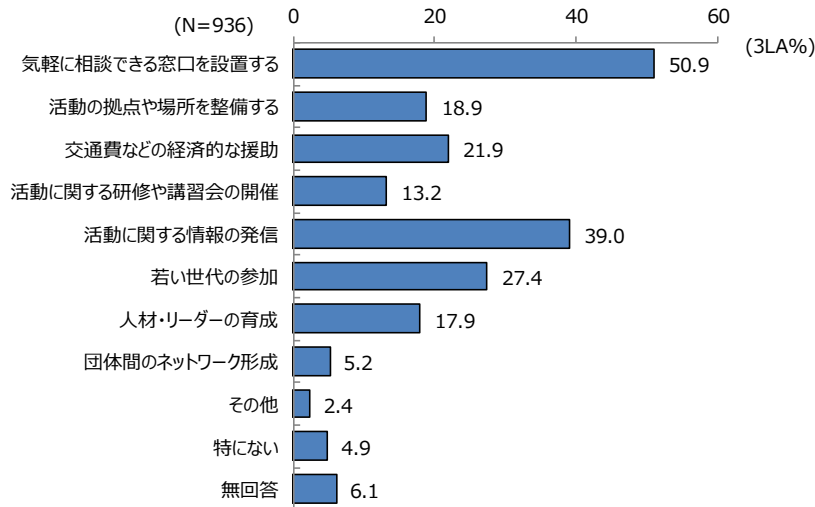
全体スコアから-10.0ポイント以下



	回答数	仕事や家事で忙しく、時間がない	どのような活動があるか知らない	知り合いがいないので参加しづらい	身体の調子が悪く参加できない	参加方法が分からない	自分の時間を持ちたい	興味がない	自分には必要がない	家族の理解が得られない	特に理由はない	その他	無回答
全体	456	45.2	31.8	23.0	15.8	15.6	11.8	9.0	1.8	0.7	16.0	6.1	2.9
別性													
男性	219	47.5	30.6	24.7	13.7	15.5	15.1	7.8	1.8	0.5	21.9	5.5	2.3
女性	232	44.0	33.6	21.6	17.7	15.5	9.1	10.3	1.3	0.9	10.8	6.9	3.0
年代													
20代	52	67.3	40.4	13.5	1.9	15.4	19.2	19.2	3.8	0.0	7.7	1.9	0.0
30代	72	55.6	37.5	22.2	4.2	15.3	13.9	8.3	1.4	0.0	12.5	9.7	1.4
40代	59	67.8	27.1	28.8	6.8	13.6	5.1	3.4	3.4	0.0	10.2	3.4	1.7
50代	75	60.0	42.7	28.0	12.0	8.0	9.3	5.3	1.3	1.3	18.7	2.7	1.3
60代	92	30.4	30.4	25.0	18.5	27.2	16.3	8.7	1.1	0.0	22.8	9.8	4.3
70代	68	20.6	22.1	27.9	22.1	17.6	11.8	8.8	0.0	2.9	20.6	2.9	4.4
80代以上	35	8.6	17.1	5.7	62.9	0.0	2.9	11.4	2.9	0.0	14.3	14.3	5.7
居住地													
岩出地区	81	50.6	35.8	21.0	16.0	14.8	9.9	11.1	1.2	0.0	16.0	8.6	1.2
山崎地区	190	45.8	30.0	22.1	15.8	15.8	12.1	7.9	1.1	0.5	17.4	5.3	3.2
根来地区	58	55.2	22.4	17.2	8.6	20.7	12.1	8.6	1.7	0.0	13.8	5.2	3.4
上岩出地区	125	36.8	36.8	28.8	19.2	12.8	12.8	9.6	3.2	1.6	15.2	6.4	2.4

〔4〕 助け合い活動を活性化させるために必要なこと

問15 地域活動やボランティア活動などの助け合い活動を活性化させるために必要なことは何だと思いますか（あてはまるもの3つまでに○）



	N	気軽に相談できる窓口を設置する	活動の拠点や場所を整備する	交通費などの経済的な援助	活動に関する研修や講習会の開催	活動に関する情報の発信	若い世代の参加	人材・リーダーの育成	団体間のネットワーク形成	その他	特にない	無回答
全体	936	50.9	18.9	21.9	13.2	39.0	27.4	17.9	5.2	2.4	4.9	6.1
性別												
男	426	49.8	22.1	23.7	13.1	35.7	29.3	20.4	4.2	3.1	5.2	4.9
女	472	51.7	15.9	20.6	12.7	40.9	26.7	15.9	6.4	1.9	4.7	6.8
年齢別												
20歳代	80	42.5	13.8	36.3	10.0	35.0	36.3	17.5	6.3	6.3	3.8	3.8
30歳代	123	39.0	17.1	26.0	15.4	42.3	30.9	13.0	5.7	4.1	4.9	5.7
40歳代	119	47.9	22.7	24.4	6.7	38.7	26.9	16.0	8.4	3.4	0.0	7.6
50歳代	151	55.0	21.9	23.8	10.6	43.0	25.2	21.9	7.3	2.0	4.0	4.6
60歳代	210	54.3	19.5	20.0	15.7	43.3	24.3	20.0	6.7	2.4	5.2	5.2
70歳代	185	54.6	16.8	15.1	17.8	35.7	29.7	17.8	1.1	0.0	7.6	5.4
80歳以上	65	58.5	20.0	13.8	9.2	21.5	16.9	13.8	0.0	0.0	9.2	15.4
地域別												
岩出小学校区	129	50.4	20.2	17.8	10.9	38.0	27.9	18.6	8.5	2.3	4.7	6.2
山崎小学校区	199	58.3	18.6	28.1	9.5	33.7	29.6	17.1	2.0	2.0	4.5	5.5
根来小学校区	102	49.0	21.6	23.5	14.7	39.2	29.4	17.6	5.9	2.0	5.9	5.9
上岩出小学校区	149	47.0	18.8	22.8	18.1	43.0	24.8	14.8	4.0	3.4	4.7	6.0
山崎北小学校区	193	48.7	18.7	17.6	17.1	40.9	23.8	18.1	4.7	3.1	6.2	6.2
中央小学校区	117	49.6	19.7	21.4	11.1	41.9	32.5	22.2	7.7	1.7	0.9	4.3
わからない	39	48.7	10.3	20.5	5.1	35.9	23.1	20.5	10.3	0.0	10.3	12.8

助け合い活動を活性化させるためには、「気軽に相談できる窓口を設置する」が 50.9% と最も多く、次いで「活動に関する情報の発信」が 39.0% となっています。

性別にみると、男女ともに全体と同様の結果となっています。

年齢別にみると、30歳代を除く全年代で「気軽に相談できる窓口を設置する」が 4～5割台と最も多く、次いで「活動に関する情報の発信」が 2～4割台となっています。30歳代は「活動に関する情報の発信」が 4割強と最も多く、次いで「気軽に相談できる窓口を設置する」が 4割弱となっています。

地域別にみると、全体と同様の結果となっています。

〔前回調査との比較〕

全体および性別でみると、「気軽に相談できる窓口の設置」となっており、前回同様となっています。

年代でみると、20代・60代では前回調査において「活動に関する情報の発信」の割合が最も高かったのに対し、今回調査では「気軽に相談できる窓口の設置」となっています。また、30代においては前回調査で「気軽に相談できる窓口の設置」の割合が最も高かったのに対し、今回調査では「活動に関する情報の発信」が最も高く、20代・60代とは反対の現象が起きています。

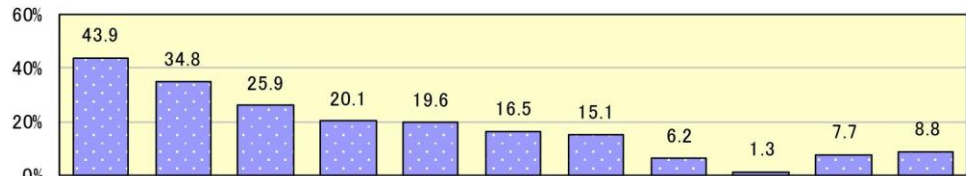
【参考】

〔複数回答〕

全体スコアから+10.0ポイント以上



全体スコアから-10.0ポイント以下

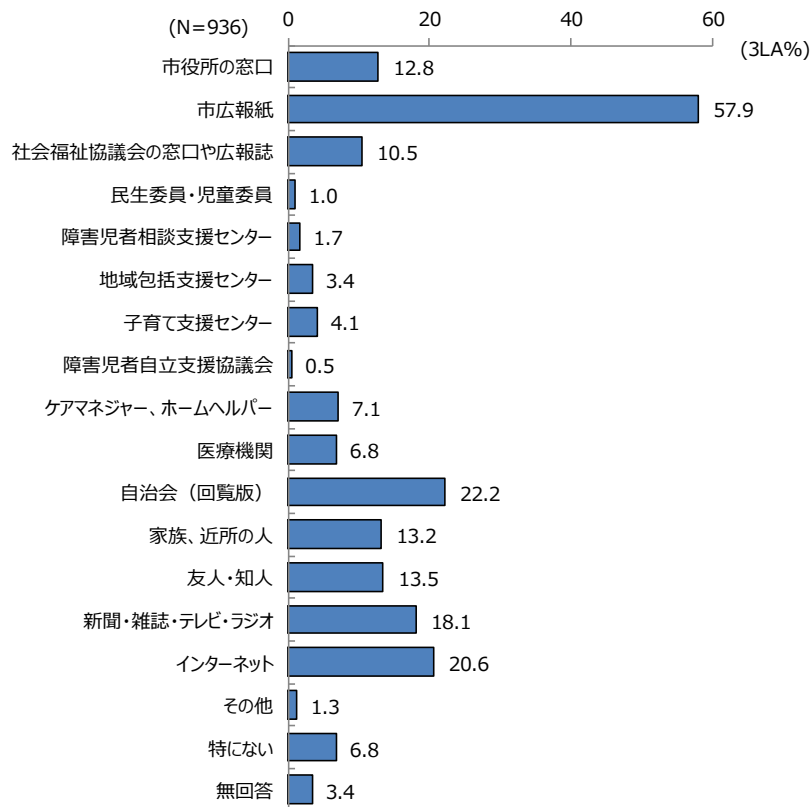


	回答数	気軽に相談できる窓口の設置	活動に関する情報の発信	若い世代の参加	活動の拠点や場所の整備	人材・リーダーの育成	交通費などの経済的な援助	活動に関する研修や講習会の開催	団体間のネットワーク形成	その他	特にない	無回答	
全体	741	43.9	34.8	25.9	20.1	19.6	16.5	15.1	6.2	1.3	7.7	8.8	
別性	男性	352	44.3	33.2	25.0	22.7	22.2	16.2	17.3	7.4	2.3	9.1	5.4
	女性	376	44.1	37.2	27.1	18.4	17.3	16.8	13.3	5.3	0.5	6.1	10.9
年代	20代	63	41.3	50.8	39.7	22.2	19.0	25.4	11.1	9.5	1.6	3.2	1.6
	30代	95	40.0	37.9	18.9	18.9	15.8	20.0	11.6	10.5	4.2	7.4	5.3
	40代	92	48.9	35.9	25.0	18.5	23.9	26.1	8.7	5.4	2.2	7.6	1.1
	50代	109	51.4	30.3	29.4	23.9	22.0	13.8	11.9	7.3	0.0	7.3	5.5
	60代	166	35.5	43.4	28.9	23.5	20.5	14.5	26.5	4.8	0.6	6.6	6.0
	70代	145	47.6	29.7	21.4	17.2	20.0	9.7	17.9	5.5	1.4	9.0	15.2
	80代以上	60	46.7	11.7	20.0	16.7	11.7	11.7	3.3	1.7	0.0	11.7	28.3
居住地	岩出地区	143	38.5	31.5	28.7	23.1	17.5	15.4	14.0	5.6	1.4	6.3	9.1
	山崎地区	279	45.5	36.9	23.3	19.4	20.8	15.8	16.8	6.8	1.1	4.7	8.6
	根来地区	99	44.4	33.3	26.3	19.2	20.2	15.2	13.1	3.0	1.0	10.1	9.1
	上岩出地区	212	45.3	35.8	27.4	20.3	19.3	18.4	14.6	7.5	1.9	11.3	8.0

5. 福祉サービスについて

〔1〕福祉に関する情報の入手先

問16 福祉に関する情報はどこから入手していますか。(あてはまるもの3つまでに○)



	N	市役所の窓口	市広報紙	社会福祉協議会の窓口や広報誌	民生委員・児童委員	障害児者相談支援センター	地域包括支援センター	子育て支援センター	障害児者自立支援協議会	ケアマネジャー、ホームヘルパー	医療機関	自治会（回覧版）	家族、近所の人	友人・知人	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	インターネット	その他	特にない	無回答	
全体	936	12.8	57.9	10.5	1.0	1.7	3.4	4.1	0.5	7.1	6.8	22.2	13.2	13.5	18.1	20.6	1.3	6.8	3.4	
性別																				
男	426	14.8	55.9	11.7	0.9	1.9	2.8	1.4	0.7	6.8	7.0	26.1	14.3	9.6	19.5	21.1	1.4	7.7	2.8	
女	472	11.2	58.9	10.0	1.1	1.7	3.8	6.6	0.4	7.2	7.0	18.4	12.3	16.7	16.9	20.6	1.3	6.1	3.6	
年齢別																				
20歳代	80	13.8	30.0	3.8	0.0	1.3	1.3	16.3	2.5	2.5	7.5	1.3	18.8	13.8	12.5	43.8	2.5	15.0	2.5	
30歳代	123	13.0	53.7	4.1	0.0	1.6	1.6	13.8	1.6	0.8	8.1	6.5	15.4	17.1	5.7	39.0	2.4	8.9	1.6	
40歳代	119	10.9	59.7	5.9	0.8	3.4	2.5	5.0	0.0	5.0	5.0	15.1	14.3	13.4	11.8	32.8	2.5	2.5	1.7	
50歳代	151	12.6	55.6	11.9	0.7	0.7	4.0	0.0	0.0	7.9	6.6	20.5	9.9	12.6	15.2	25.8	0.7	8.6	4.6	
60歳代	210	12.4	68.6	12.4	0.0	1.9	3.3	0.5	0.0	6.7	5.7	35.2	10.5	14.8	27.6	12.4	0.0	5.2	1.9	
70歳代	185	14.1	64.9	16.2	3.2	2.2	5.4	0.5	0.5	6.5	6.5	30.8	12.4	13.0	22.7	2.7	1.1	7.0	5.4	
80歳以上	65	13.8	47.7	13.8	1.5	0.0	4.6	0.0	0.0	29.2	12.3	26.2	16.9	4.6	20.0	1.5	1.5	1.5	7.7	
地域別																				
岩出小学校区	129	13.2	65.9	7.8	0.0	0.8	3.1	3.1	0.8	7.8	10.9	33.3	11.6	14.7	18.6	17.1	0.0	2.3	3.1	
山崎小学校区	199	15.6	60.3	11.1	1.5	2.0	3.0	6.5	1.0	6.5	7.0	22.1	12.1	12.1	17.6	17.6	2.0	6.5	2.0	
根来小学校区	102	12.7	54.9	14.7	0.0	2.0	3.9	2.0	0.0	7.8	3.9	17.6	11.8	12.7	13.7	26.5	1.0	5.9	2.9	
上岩出小学校区	149	13.4	55.0	10.7	2.0	1.3	4.0	4.0	0.0	8.7	6.7	22.1	16.1	10.7	14.1	18.8	0.0	9.4	4.0	
山崎北小学校区	193	10.9	61.1	11.4	1.6	1.0	2.1	3.1	0.5	6.2	5.2	21.8	11.9	16.1	23.3	19.7	2.1	5.7	3.6	
中央小学校区	117	8.5	55.6	6.8	0.0	2.6	6.0	5.1	0.0	5.1	6.8	20.5	17.9	13.7	14.5	30.8	0.9	8.5	5.1	
わからない	39	17.9	33.3	10.3	0.0	5.1	2.6	0.0	2.6	7.7	7.7	7.7	5.1	15.4	25.6	17.9	5.1	15.4	5.1	

福祉に関する情報の入手先については、「市広報紙」が57.9%と最も多く、次いで「自治会（回覧版）」が22.2%となっています。

性別にみると、男女ともに「市広報紙」が5割台と最も多く、次いで男性は「自治会（回覧版）」、女性は「インターネット」となっています。

年齢別にみると、30歳代以上は「市広報紙」が4割台後半～6割台後半と最も多く、次いで30～50歳代で「インターネット」が2割台半ば～4割弱、60～70歳代で「自治会（回覧版）」が3割台、80歳以上で「ケアマネジャー、ホームヘルパー」が3割弱となっています。20歳代では「インターネット」が4割強と最も多く、次いで「市広報紙」が3割となっています。

地域別にみると、すべての地域で「市広報紙」が5割台半ば～6割台半ばと最も多く、次いで岩出小学校区、山崎小学校区、上岩出小学校区では「自治会（回覧版）」、根来小学校区、中央小学校区では「インターネット」、山崎北小学校区では「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」となっています。

【前回調査との比較】

全体および性別でみると、「市広報紙」の割合が最も高く、前回調査と同様となっています。

年代でみると、20代において、前回調査では「市広報紙」が最も多かったのに対し、今回調査では「インターネット」の割合が4割を超え、前回から26.3ポイントも増加しています。

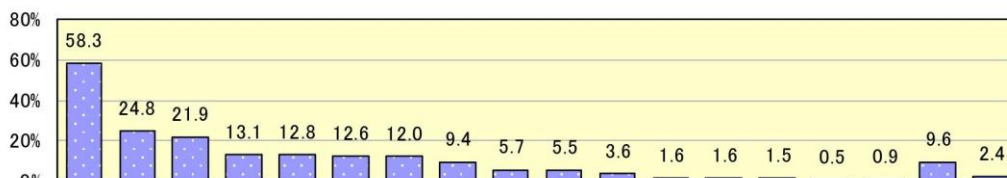
【参考】

[複数回答]

全体スコアから+10.0ポイント以上



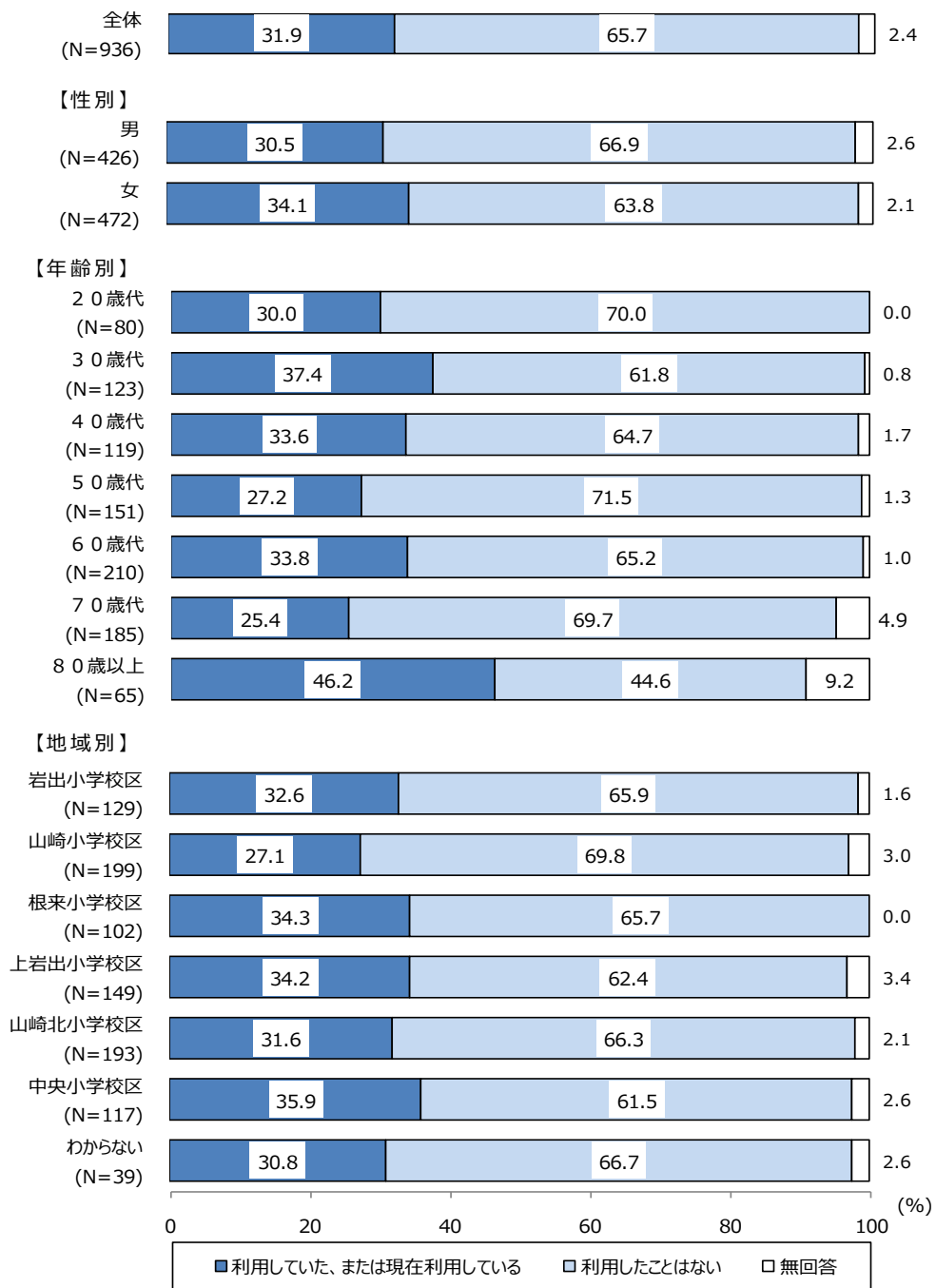
全体スコアから-10.0ポイント以下



	回答数	市広報紙	区、自治会 (回覧版)	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	市役所の窓口	友人・知人	家族、近所の人	社会福祉協議会の窓口や広報紙	インターネット	医療機関	ケアマネジャー、ホームヘルパー	子育て支援センター (いわであいあい)	民生委員・児童委員	地域包括支援センター	岩出児童者相談・支援センター	障害者自立支援協議会	その他	特になし	無回答	
全体	741	58.3	24.8	21.9	13.1	12.8	12.6	12.0	9.4	5.7	5.5	3.6	1.6	1.6	1.5	0.5	0.9	9.6	2.4	
別性																				
男性	352	60.8	27.3	22.4	17.3	9.4	12.2	12.2	11.1	4.0	2.8	1.7	2.0	1.1	2.6	0.6	0.3	9.9	2.0	
女性	376	56.4	22.3	21.5	9.3	16.2	13.0	12.2	8.2	7.4	7.7	5.6	1.3	1.9	0.5	0.5	1.6	9.6	2.4	
年代																				
20代	63	36.5	17.5	28.6	7.9	12.7	31.7	6.3	17.5	1.6	3.2	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	17.5	0.0	
30代	95	58.9	12.6	9.5	10.5	15.8	12.6	8.4	13.7	6.3	3.2	15.8	0.0	0.0	2.1	1.1	2.1	10.5	1.1	
40代	92	57.6	9.8	9.8	14.1	10.9	13.0	7.6	18.5	3.3	0.0	2.2	1.1	1.1	0.0	0.0	0.0	14.1	1.1	
50代	109	63.3	25.7	22.0	17.4	14.7	8.3	11.9	12.8	3.7	4.6	2.8	0.9	0.9	4.6	0.0	1.8	8.3	0.0	
60代	166	65.7	33.1	25.3	13.3	13.3	8.4	15.1	7.2	6.6	5.4	1.8	3.0	3.0	1.2	0.0	0.6	9.0	1.8	
70代	145	62.1	33.1	29.7	13.1	11.0	13.1	17.2	2.1	6.2	4.8	0.7	3.4	1.4	1.4	1.4	0.0	5.5	4.1	
80代以上	60	45.0	26.7	26.7	13.3	13.3	10.0	11.7	0.0	13.3	21.7	0.0	0.0	5.0	0.0	1.7	1.7	6.7	8.3	
居住地																				
岩出地区	143	61.5	27.3	19.6	12.6	11.9	12.6	15.4	4.9	6.3	5.6	4.2	2.8	2.8	1.4	0.7	0.7	9.1	2.8	
山崎地区	279	59.5	21.9	18.6	15.8	10.8	12.5	10.0	9.7	4.7	5.0	5.0	1.4	1.8	2.2	0.7	0.7	11.1	1.4	
根来地区	99	54.5	27.3	23.2	11.1	19.2	10.1	13.1	5.1	4.0	3.0	1.0	2.0	1.0	1.0	0.0	2.0	12.1	2.0	
上岩出地区	212	56.6	25.5	27.8	10.8	13.7	13.7	12.3	14.6	7.5	7.1	2.8	0.9	0.9	0.9	0.5	0.9	7.1	2.8	

〔2〕福祉サービスの利用状況

問17 あなた、または家族のうちで福祉サービスを利用しているまたは利用していたことがありますか（どちらかにひとつに○）



福祉サービスの利用状況については、「利用したことはない」が65.7%、「利用していた、または現在利用している」が31.9%となっています。

性別にみると、女性で「利用していた、または現在利用している」が34.1%と、男性よりやや多くなっています。

年齢別にみると、80歳以上で「利用していた、または現在利用している」が46.2%と他の年代より多くなっています。

地域別にみると、全体と同様の結果となっていますが、山崎小学校区で「利用していた、または現在利用している」が27.1%と他地域よりやや少なくなっています。

〔前回調査との比較〕

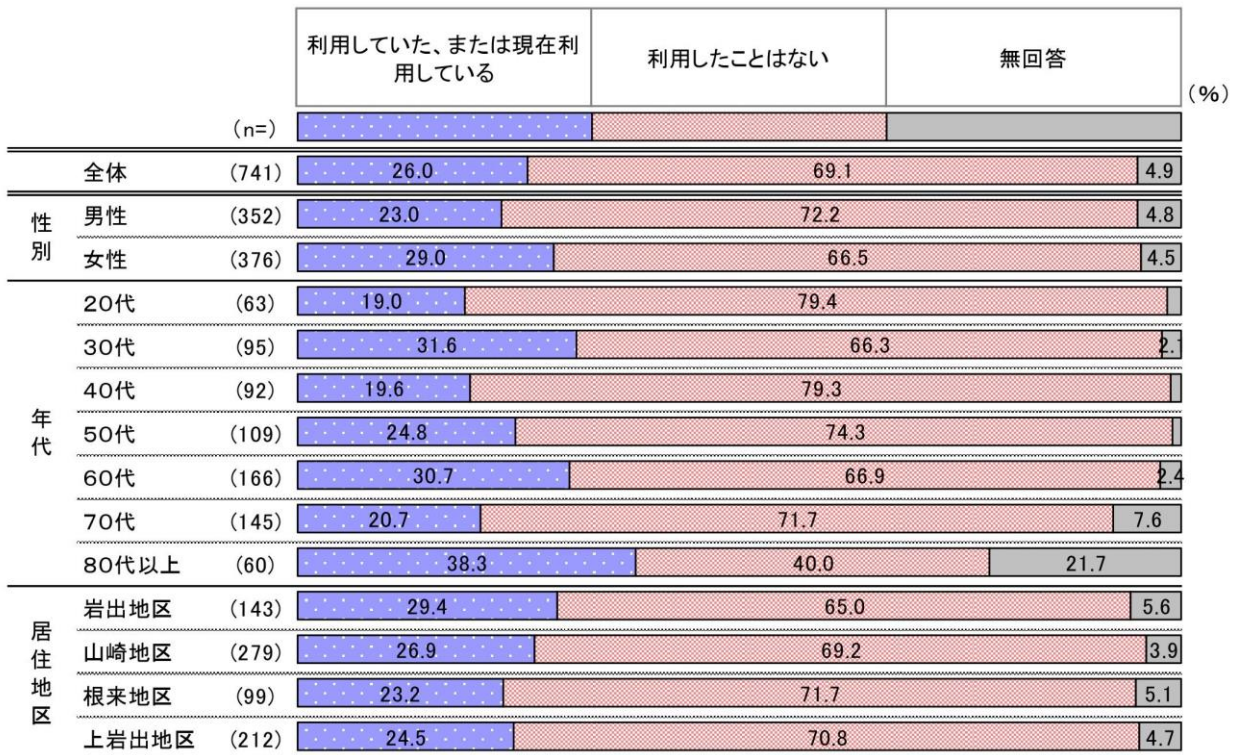
全体および性別で見ると、「利用していた、または現在利用している」の割合が前回調査より増加していることがわかります。

年代で見ても、全年代で「利用していた、または現在利用している」の割合が増加し、利用者が増えていることが伺えます。

【参考】

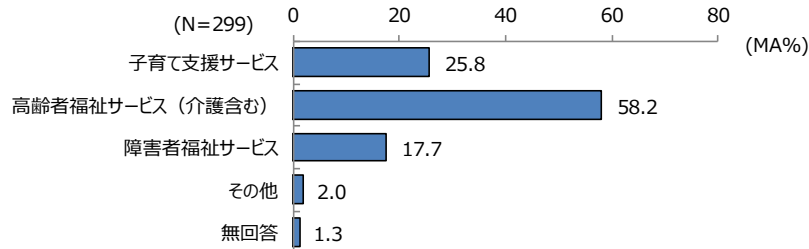
[単一回答]

※2.0未満はラベル非表示



〔3〕 利用経験のある福祉サービス

【問17で「1. 利用していた、または現在利用している」を選んだ方のみ】
 問17-1 どのようなサービスを利用しているまたは利用していましたか
 (あてはまるものすべてに○)



		N	子育て支援サービス	高齢者福祉サービス (介護含む)	障害者福祉サービス	その他	無回答
全体		299	25.8	58.2	17.7	2.0	1.3
性別	男	130	19.2	60.0	23.8	1.5	0.8
	女	161	30.4	57.1	13.0	2.5	1.9
年齢別	20歳代	24	41.7	33.3	16.7	4.2	4.2
	30歳代	46	78.3	15.2	8.7	2.2	0.0
	40歳代	40	57.5	35.0	15.0	0.0	0.0
	50歳代	41	7.3	73.2	31.7	0.0	0.0
	60歳代	71	5.6	81.7	12.7	1.4	1.4
	70歳代	47	0.0	68.1	27.7	6.4	2.1
	80歳以上	30	3.3	83.3	13.3	0.0	3.3
	地域別	岩出小学校区	42	16.7	66.7	21.4	2.4
	山崎小学校区	54	31.5	48.1	18.5	1.9	0.0
	根来小学校区	35	22.9	71.4	11.4	0.0	2.9
	上岩出小学校区	51	33.3	54.9	5.9	2.0	3.9
	山崎北小学校区	61	27.9	60.7	14.8	1.6	0.0
	中央小学校区	42	23.8	57.1	28.6	2.4	0.0
	わからない	12	0.0	41.7	50.0	8.3	0.0

福祉サービスを「1. 利用していた、または現在利用している」とお答えの方に、利用経験のある福祉サービスについてたずねたところ、「高齢者福祉サービス (介護含む)」が58.2%と最も多く、次いで「子育て支援サービス」が25.8%となっています。

性別にみると、男女ともに「高齢者福祉サービス (介護含む)」が5割後半～6割と最も多く、次いで男性は「障害者福祉サービス」が2割強、女性は「子育て支援サービス」が約3割となっています。

年齢別にみると、20～40歳代は「子育て支援サービス」が最も多く、次いで「高齢者福祉サービス (介護含む)」となっています。50歳代以上は「高齢者福祉サービス (介護含む)」が最も多く、次いで「障害者福祉サービス」となっています。

地域別にみると、すべての地域で「高齢者福祉サービス (介護含む)」が最も多く、次いで岩出小学校区、中央小学校区で「障害者福祉サービス」、山崎小学校区、根来小学校区、上岩出小学校区、山崎北小学校区で「子育て支援サービス」となっています。

〔前回調査との比較〕

全体および性別でみると、「高齢者福祉サービス」の割合が最も高く、前回と同様となっています。

年代でみると、20代において前回調査では「高齢者福祉サービス」の利用者が多いのに対し、今回調査では「子育て支援サービス」となっていることが分かります。

50代以降は前回と同様に「高齢者福祉サービス」の利用者が最も多くなっています。

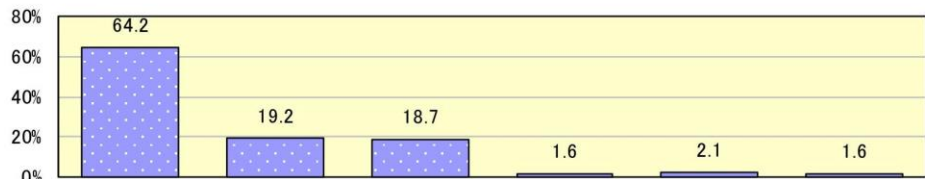
【参考】

[複数回答]

全体スコアから+10.0ポイント以上



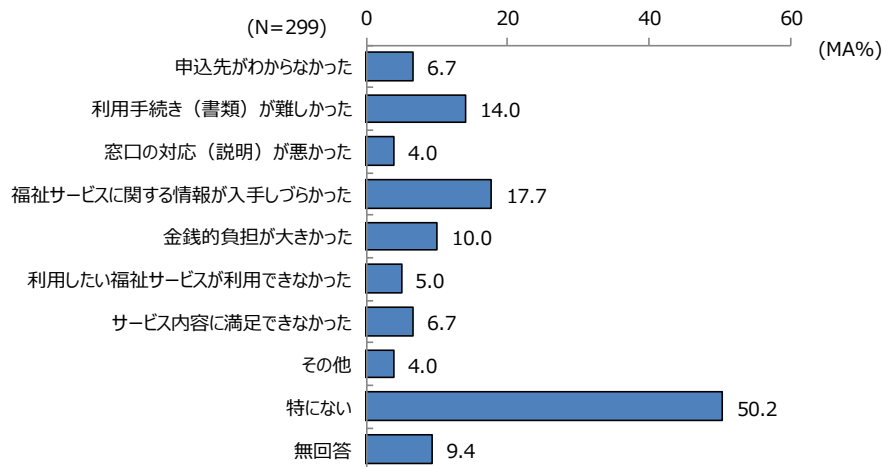
全体スコアから-10.0ポイント以下



	回答数	高齢者福祉サービス(介護含む)	障がい者福祉サービス	子育て支援サービス	生活保護	その他	無回答	
全体	193	64.2	19.2	18.7	1.6	2.1	1.6	
別性	男性	81	63.0	23.5	13.6	2.5	1.2	1.2
	女性	109	65.1	15.6	22.9	0.9	2.8	0.9
年代	20代	12	58.3	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	30代	30	20.0	16.7	63.3	0.0	3.3	0.0
	40代	18	33.3	22.2	50.0	0.0	0.0	0.0
	50代	27	77.8	14.8	14.8	0.0	0.0	0.0
	60代	51	70.6	25.5	2.0	3.9	3.9	2.0
	70代	30	86.7	23.3	0.0	3.3	0.0	0.0
	80代以上	23	87.0	0.0	0.0	4.3	8.7	
居住地区	岩出地区	42	76.2	21.4	9.5	2.4	0.0	0.0
	山崎地区	75	57.3	21.3	21.3	1.3	4.0	1.3
	根来地区	23	65.2	4.3	30.4	0.0	0.0	0.0
	上岩出地区	52	63.5	19.2	17.3	1.9	1.9	3.8

〔4〕福祉サービスの利用に関する不都合や不満

【問17で「1. 利用していた、または現在利用している」を選んだ方のみ】
 問17-2 サービスの利用について不都合・不満を感じたことはありますか。
 (あてはまるものすべてに○)



	N	た申込先がわからなかった	難利用し手続き(書類)が	悪窓口の対応(説明)が	た情報福祉サービスに関する	た金銭的負担が大きかった	ス利用したい福祉サービス	きサービス内容に満足で	その他	特にない	無回答
全体	299	6.7	14.0	4.0	17.7	10.0	5.0	6.7	4.0	50.2	9.4
性別											
男	130	7.7	10.8	3.1	18.5	11.5	6.9	5.4	4.6	50.0	8.5
女	161	5.6	16.1	4.3	16.8	8.7	3.7	7.5	3.7	50.3	9.9
年齢別											
20歳代	24	20.8	8.3	0.0	20.8	8.3	0.0	4.2	0.0	54.2	8.3
30歳代	46	0.0	10.9	2.2	19.6	6.5	4.3	8.7	10.9	54.3	0.0
40歳代	40	2.5	12.5	10.0	10.0	10.0	5.0	7.5	2.5	60.0	10.0
50歳代	41	7.3	14.6	9.8	22.0	12.2	12.2	12.2	2.4	41.5	9.8
60歳代	71	8.5	14.1	1.4	19.7	14.1	4.2	7.0	2.8	52.1	8.5
70歳代	47	4.3	21.3	2.1	14.9	8.5	4.3	4.3	6.4	38.3	17.0
80歳以上	30	10.0	13.3	3.3	16.7	6.7	3.3	0.0	0.0	53.3	13.3
地域別											
岩出小学校区	42	11.9	16.7	2.4	16.7	2.4	4.8	2.4	0.0	50.0	9.5
山崎小学校区	54	3.7	11.1	1.9	16.7	9.3	1.9	7.4	5.6	51.9	7.4
根来小学校区	35	8.6	5.7	11.4	11.4	11.4	2.9	2.9	2.9	60.0	11.4
上岩出小学校区	51	5.9	21.6	3.9	33.3	9.8	5.9	11.8	3.9	45.1	5.9
山崎北小学校区	61	1.6	9.8	3.3	9.8	18.0	8.2	6.6	1.6	54.1	9.8
中央小学校区	42	14.3	19.0	2.4	16.7	7.1	7.1	7.1	7.1	42.9	14.3
わからない	12	0.0	16.7	8.3	16.7	8.3	0.0	8.3	16.7	41.7	8.3

福祉サービスを「1. 利用していた、または現在利用している」とお答えの方に、利用に関する不都合や不満についてたずねたところ、「特にない」が50.2%と最も多く、次いで「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」が17.7%となっています。

性別にみると、男女ともに全体と同様の結果となっています。

年齢別にみると、全年代で「特にない」が最も多く、次いで20～30歳代、50～60歳代、80歳以上では「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」、40歳代と70歳代では「利用手続き(書類)が難しかった」となっています。また、20歳代では「申込先がわからなかった」が他の年代より多くなっています。

地域別にみると、すべての地域でおおむね全体と同様の結果となっていますが、根来小学校区では「窓口の対応(説明)が悪かった」、上岩出小学校区では「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」他地域より多くなっています。

【前回調査との比較】

全体および性別、年代のすべてにおいて「特にない」の割合が最も高く、前回と同様となっています。

「特にない」を除いてみると、性別では男女とも「福祉サービスに関する情報がわかりにくかった」の割合が最も高く、前回と同様となっています。

年代でみると、20代では前回調査において「福祉サービスに関する情報がわかりにくかった」となっていたのに対し、今回調査では「申込先がわからなかった」との意見も増えています。

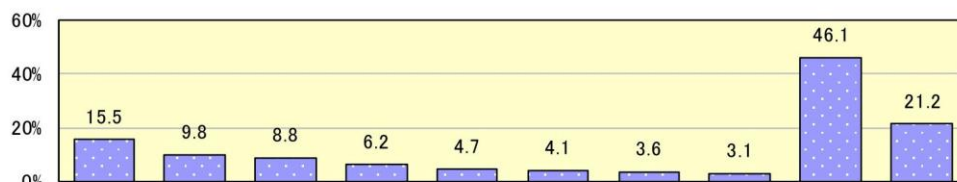
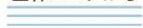
【参考】

[複数回答]

全体スコアから+10.0ポイント以上



全体スコアから-10.0ポイント以下

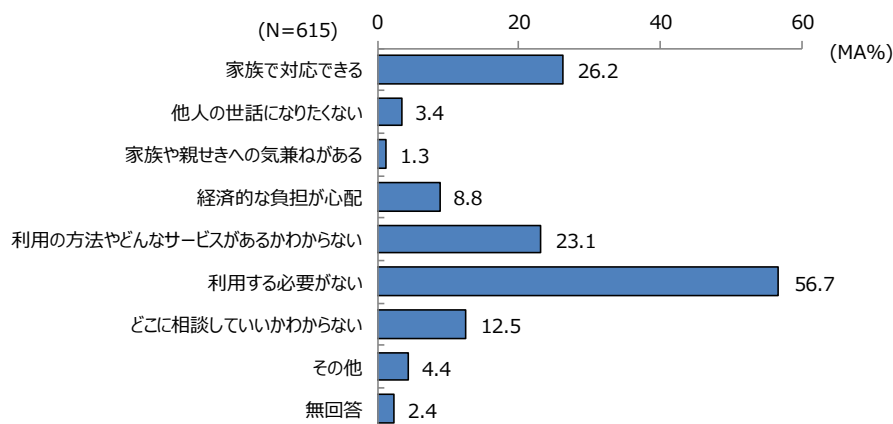


	回答数	福祉サービスに関する情報がわかりにくかった	金銭的負担が大きかった	利用手続き(書類)が難しかった	申込先がわからなかった	利用したい福祉サービスが利用できなかった	サービス内容に満足できなかった	窓口の対応(説明)がよくわからなかった	その他	特にない	無回答	
全体	193	15.5	9.8	8.8	6.2	4.7	4.1	3.6	3.1	46.1	21.2	
別性	男性	81	21.0	16.0	12.3	9.9	0.0	4.9	4.9	0.0	43.2	16.0
	女性	109	11.9	5.5	6.4	3.7	8.3	3.7	2.8	5.5	48.6	23.9
年代	20代	12	16.7	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	16.7	58.3	0.0
	30代	30	10.0	10.0	16.7	6.7	3.3	3.3	0.0	3.3	66.7	6.7
	40代	18	16.7	5.6	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	50.0	11.1
	50代	27	18.5	14.8	7.4	3.7	11.1	7.4	3.7	3.7	48.1	7.4
	60代	51	17.6	13.7	3.9	3.9	3.9	5.9	3.9	2.0	35.3	29.4
	70代	30	13.3	10.0	10.0	10.0	3.3	0.0	3.3	0.0	40.0	36.7
居住地	岩出地区	42	11.9	14.3	9.5	4.8	2.4	2.4	4.8	4.8	38.1	28.6
	山崎地区	75	12.0	8.0	6.7	2.7	6.7	5.3	1.3	2.7	60.0	12.0
	根来地区	23	13.0	4.3	13.0	13.0	4.3	0.0	0.0	0.0	43.5	26.1
	上岩出地区	52	25.0	11.5	9.6	9.6	3.8	5.8	7.7	3.8	34.6	25.0

〔5〕福祉サービスを利用しない理由

【問17で「2. 利用したことはない」を選んだ方のみ】

問17-3 福祉サービスを利用しない理由は何ですか（あてはまるものすべてに○）



	N	家族で対応できる	他人の世話になりたくない	家族や親せきへの気兼ねがある	経済的な負担が心配	利用の方法やどんなサービスがあるかわからない	利用する必要がない	どこに相談していいかわからない	その他	無回答	
全体	615	26.2	3.4	1.3	8.8	23.1	56.7	12.5	4.4	2.4	
性別	男	285	26.7	4.2	1.4	7.4	24.6	55.8	16.8	2.5	2.1
	女	301	24.6	2.7	1.3	9.3	21.6	58.1	8.3	6.3	3.0
年齢別	20歳代	56	19.6	0.0	1.8	10.7	23.2	58.9	7.1	0.0	1.8
	30歳代	76	19.7	0.0	3.9	7.9	26.3	53.9	11.8	5.3	3.9
	40歳代	77	24.7	1.3	2.6	10.4	22.1	64.9	9.1	1.3	1.3
	50歳代	108	22.2	4.6	0.0	12.0	24.1	63.9	13.0	5.6	0.9
	60歳代	137	23.4	4.4	0.0	6.6	17.5	60.6	10.9	8.0	3.6
	70歳代	129	31.8	3.9	0.8	5.4	27.9	48.8	18.6	3.1	3.1
	80歳以上	29	62.1	10.3	3.4	13.8	17.2	31.0	13.8	3.4	0.0
地域別	岩出小学校区	85	28.2	3.5	2.4	7.1	21.2	54.1	20.0	2.4	3.5
	山崎小学校区	139	25.9	2.9	2.2	10.8	28.1	59.7	9.4	3.6	1.4
	根来小学校区	67	31.3	3.0	0.0	7.5	29.9	49.3	13.4	4.5	0.0
	上岩出小学校区	93	22.6	2.2	0.0	5.4	15.1	68.8	8.6	5.4	2.2
	山崎北小学校区	128	22.7	4.7	0.0	7.0	18.0	56.3	9.4	7.0	4.7
	中央小学校区	72	36.1	0.0	1.4	13.9	23.6	51.4	16.7	2.8	2.8
	わからない	26	7.7	11.5	7.7	11.5	34.6	50.0	23.1	3.8	0.0

福祉サービスを「2. 利用したことはない」とお答えの方に、福祉サービスを利用しない理由についてたずねたところ、「利用する必要がない」が56.7%と最も多く、次いで「家族で対応できる」が26.2%となっています。

性別にみると、男女ともに全体と同様の結果となっていますが、男性で「どこに相談していいかわからない」が16.8%と、女性に比べてやや多くなっています。

年齢別にみると、20～70歳代で「利用する必要がない」が4割後半～6割台半ばと最も多く、次いで20～30歳代、50歳代では「利用の方法やどんなサービスがあるかわからない」が2割台、40歳代、60～70歳代では「家族で対応できる」が2～3割台となっています。また、80歳以上では「家族で対応できる」が6割台と最も多く、次いで「利用する必要がない」が3割台となっています。

地域別にみると、すべての地域でおおむね全体と同様の結果となっています。

〔前回調査との比較〕

全体および性別でみると「利用する必要がない」の割合が最も高くなっており、前回と同様となっています。

年代でみると、70代以下の年代では「利用する必要がない」の割合が最も高くなっているが、80代以上では「家族で対応できる」の割合が最も高く、こちらも前回と同様の結果となっています。

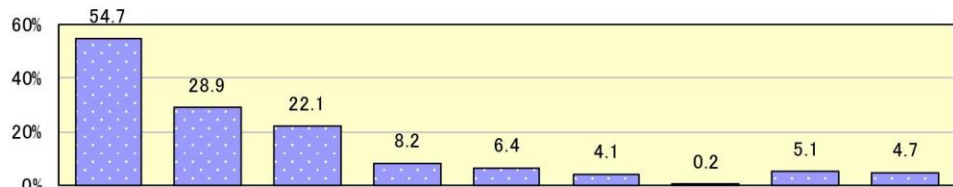
【参考】

〔複数回答〕

全体スコアから+10.0ポイント以上



全体スコアから-10.0ポイント以下

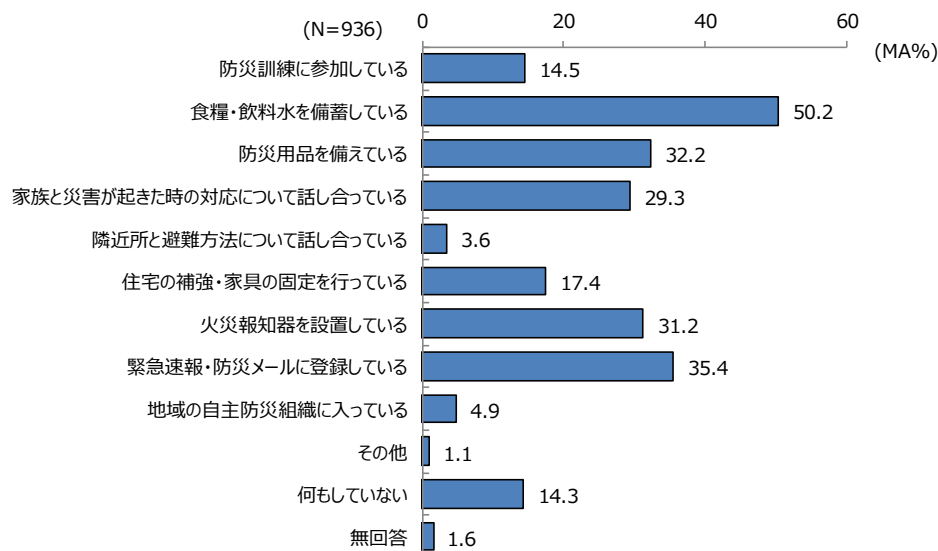


	回答数	利用する必要がない	家族で対応できる	利用の方法やどんなサービスがあるかわからない	どこに相談していいかわからない	経済的な負担が心配	他人の世話になりたくない	家族や親せきへの気兼ねがある	その他	無回答	
全体	512	54.7	28.9	22.1	8.2	6.4	4.1	0.2	5.1	4.7	
別性	男性	254	53.5	29.5	24.4	6.7	5.9	5.5	0.4	5.1	3.1
	女性	250	56.8	28.4	19.2	9.6	6.4	2.4	0.0	5.2	6.4
年代	20代	50	62.0	22.0	22.0	10.0	6.0	0.0	0.0	0.0	4.0
	30代	63	49.2	19.0	27.0	14.3	3.2	1.6	0.0	4.8	3.2
	40代	73	63.0	26.0	24.7	9.6	2.7	1.4	0.0	2.7	2.7
	50代	81	60.5	25.9	17.3	7.4	4.9	0.0	0.0	4.9	6.2
	60代	111	57.7	29.7	21.6	7.2	7.2	5.4	0.9	6.3	3.6
	70代	104	46.2	36.5	24.0	4.8	7.7	6.7	0.0	8.7	7.7
	80代以上	24	41.7	54.2	8.3	8.3	12.5	20.8	0.0	4.2	4.2
居住地	岩出地区	93	51.6	30.1	23.7	9.7	8.6	7.5	0.0	4.3	3.2
	山崎地区	193	56.5	25.4	20.7	8.3	5.7	3.6	0.5	4.1	5.7
	根来地区	71	60.6	26.8	14.1	2.8	4.2	1.4	0.0	5.6	2.8
	上岩出地区	150	52.7	34.0	26.0	10.0	6.0	3.3	0.0	6.7	5.3

6. 災害の備え(防災)について

[1] 日ごろ行っている災害への備え

問18 あなたが日ごろ行っている災害への備えは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



	N	防災訓練に参加している	食糧・飲料水を備蓄している	防災用品を備えている	家族と災害が起きた時の対応について話し合っている	隣近所と避難方法について話し合っている	住宅の補強・家具の固定を行っている	火災報知器を設置している	緊急速報・防災メールに登録している	地域の自主防災組織に入っている	その他	何もしていない	無回答
全体	936	14.5	50.2	32.2	29.3	3.6	17.4	31.2	35.4	4.9	1.1	14.3	1.6
性別													
男	426	19.7	48.6	32.9	29.6	3.5	20.7	30.8	31.5	6.6	1.2	15.0	1.4
女	472	9.7	51.9	31.6	29.2	4.0	14.6	30.9	39.0	3.4	0.6	14.2	1.9
年齢別													
20歳代	80	5.0	50.0	38.8	28.8	2.5	13.8	16.3	42.5	0.0	1.3	13.8	0.0
30歳代	123	6.5	52.8	40.7	35.0	1.6	17.1	32.5	48.0	1.6	0.0	18.7	0.8
40歳代	119	6.7	51.3	36.1	26.9	3.4	10.1	28.6	43.7	1.7	0.0	11.8	0.8
50歳代	151	9.3	53.0	32.5	28.5	3.3	21.9	32.5	47.0	2.0	0.0	9.9	2.0
60歳代	210	17.1	49.0	29.0	29.5	3.8	18.6	29.0	31.9	6.7	1.4	14.3	0.5
70歳代	185	28.1	49.7	29.2	28.6	5.9	20.0	40.5	24.3	10.3	2.2	13.5	2.7
80歳以上	65	20.0	40.0	16.9	24.6	3.1	15.4	29.2	4.6	7.7	3.1	24.6	6.2
地域別													
岩出小学校区	129	18.6	50.4	31.8	24.8	3.9	13.2	31.0	34.1	7.0	0.8	14.0	0.8
山崎小学校区	199	11.1	45.7	27.6	31.7	2.5	19.1	27.1	34.2	3.0	2.5	15.1	1.5
根来小学校区	102	15.7	50.0	33.3	33.3	4.9	19.6	34.3	30.4	3.9	0.0	10.8	1.0
上岩出小学校区	149	19.5	50.3	37.6	29.5	3.4	18.1	36.2	34.9	6.7	1.3	13.4	2.0
山崎北小学校区	193	13.0	56.5	34.2	32.6	3.6	16.1	29.0	39.4	3.1	0.5	14.0	2.6
中央小学校区	117	16.2	50.4	32.5	26.5	5.1	18.8	32.5	39.3	8.5	0.9	14.5	0.0
わからない	39	0.0	41.0	23.1	12.8	2.6	17.9	33.3	33.3	0.0	0.0	25.6	2.6

日ごろ行っている災害への備えについては、「食糧・飲料水を備蓄している」が50.2%、「緊急速報・防災メールに登録している」が35.4%となっています。

性別、年齢別、地域別にみても、全体と同様の結果となっていますが、70歳代では「火災報知器を設置している」が40.5%、80歳以上では「何もしていない」が24.6%と他の年代よりやや多くなっています。また、80歳以上では「緊急速報・防災メールに登録している」が4.6%と他の年代より少なくなっています。

【前回調査との比較】

全体でみると、前回調査では「火災報知器を設置している」の割合が最も高いのに対し、今回調査では「食糧・飲料水を備蓄している」の割合が最も高くなっています。

性別でみると、女性は前回調査と同様となっていますが、男性は前回調査では「火災報知器を設置している」人が最も多かったのに対し、今回調査では「食糧・飲料水を備蓄している」となっています。

年代でみると、20代において前回調査では「何もしていない」の割合が最も高かったのに対し、今回調査では「食糧・飲料水を備蓄している」の割合が最も高く、日ごろの災害への備えに対する意識が上がっていることが分かります。

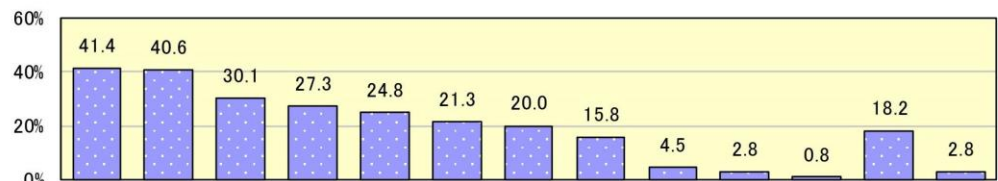
【参考】

[複数回答]

全体スコアから+10.0ポイント以上



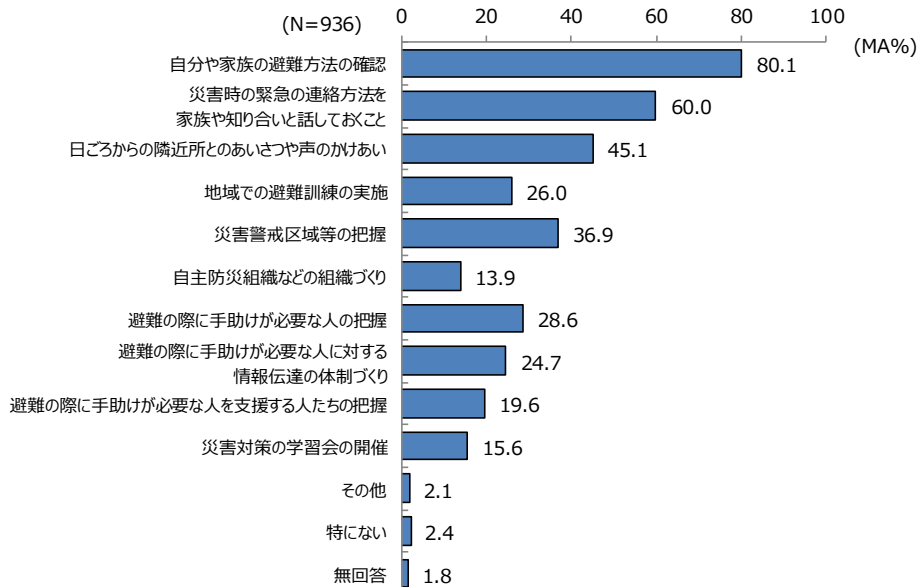
全体スコアから-10.0ポイント以下



	回答数	火災報知器を設置している	食糧・飲料水を備蓄している	防災用品を備えている	家族と災害が起きた時の対応について話し合っている	緊急速報・防災メールに登録している	防災訓練に参加している	防災に関する知識の習得	住宅の補強・家具の固定を行っている	地域の自主防災組織に入っている	隣近所と避難方法について話し合っている	その他	何もしていない	無回答
全体	741	41.4	40.6	30.1	27.3	24.8	21.3	20.0	15.8	4.5	2.8	0.8	18.2	2.8
別性														
男性	352	44.0	40.3	32.7	25.3	22.4	22.7	23.0	16.2	5.1	2.6	0.9	19.0	2.0
女性	376	39.4	40.4	27.7	29.5	27.7	20.2	17.3	14.9	4.0	2.9	0.8	17.6	3.2
年代														
20代	63	27.0	28.6	15.9	20.6	23.8	4.8	19.0	12.7	0.0	1.6	1.6	30.2	0.0
30代	95	36.8	37.9	36.8	31.6	47.4	14.7	22.1	12.6	2.1	1.1	0.0	16.8	0.0
40代	92	39.1	44.6	30.4	34.8	42.4	12.0	16.3	14.1	2.2	1.1	1.1	17.4	1.1
50代	109	33.0	37.6	30.3	22.0	30.3	24.8	14.7	10.1	3.7	0.9	0.0	22.9	0.9
60代	166	45.2	44.6	31.3	27.1	17.5	28.3	26.5	20.5	6.6	5.4	1.2	14.5	1.8
70代	145	53.8	40.7	33.8	29.7	12.4	33.8	17.9	20.0	8.3	3.4	0.0	15.9	3.4
80代以上	60	41.7	41.7	21.7	23.3	6.7	8.3	20.0	11.7	3.3	3.3	3.3	18.3	15.0
居住地														
岩出地区	143	42.0	36.4	26.6	22.4	17.5	28.0	21.0	16.8	8.4	2.8	1.4	23.1	3.5
山崎地区	279	42.3	40.1	31.9	24.7	26.9	15.4	20.1	16.8	2.9	2.5	0.7	18.6	2.9
根来地区	99	42.4	41.4	27.3	39.4	27.3	24.2	19.2	15.2	4.0	0.0	2.0	18.2	1.0
上岩出地区	212	39.6	42.5	31.6	28.8	26.9	23.1	19.3	13.2	4.2	4.2	0.0	15.1	2.4

〔2〕災害発生時の備えとして重要なこと

問19 地震や台風などの災害発生時の備えとして、どのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



	N	自分や家族の避難方法の確認	災害時の緊急の連絡方法を家族や知り合いと話しておくこと	日ごろからの隣近所とのあいさつや声のかけあい	地域での避難訓練の実施	災害警戒区域等の把握	自主防災組織などの組織づくり	避難の際に手助けが必要な人の把握	避難の際に手助けが必要な人に対する情報伝達の体制づくり	避難の際に手助けが必要な人を支援する人たちの把握	災害対策の学習会の開催	その他	特にない	無回答	
全体	936	80.1	60.0	45.1	26.0	36.9	13.9	28.6	24.7	19.6	15.6	2.1	2.4	1.8	
性別	男	426	77.9	55.4	48.1	25.1	33.3	14.8	27.9	23.5	19.7	17.1	2.1	2.6	1.6
	女	472	83.7	64.6	43.0	27.1	39.4	13.1	29.4	25.8	19.3	14.2	1.7	2.3	2.1
年齢別	20歳代	80	91.3	68.8	31.3	25.0	41.3	12.5	30.0	21.3	16.3	15.0	3.8	0.0	0.0
	30歳代	123	88.6	72.4	39.8	26.8	42.3	15.4	34.1	27.6	24.4	22.0	2.4	0.0	1.6
	40歳代	119	81.5	61.3	34.5	24.4	37.0	10.1	26.1	21.8	13.4	9.2	2.5	2.5	0.8
	50歳代	151	83.4	70.2	41.1	24.5	40.4	13.9	33.8	23.8	21.9	15.2	0.0	0.0	2.0
	60歳代	210	79.0	58.1	52.9	28.1	41.0	14.8	25.7	26.7	20.5	19.5	3.8	2.9	0.5
	70歳代	185	73.5	47.6	55.1	24.9	25.4	15.7	27.6	24.9	18.9	13.5	1.6	5.9	2.2
	80歳以上	65	63.1	41.5	44.6	26.2	30.8	9.2	23.1	24.6	20.0	10.8	0.0	3.1	9.2
地域別	岩出小学校区	129	81.4	51.9	51.9	30.2	33.3	11.6	27.9	18.6	20.2	17.8	3.1	3.1	2.3
	山崎小学校区	199	78.9	61.8	41.7	24.6	35.7	13.1	27.6	25.1	19.6	14.1	1.5	2.0	1.0
	根来小学校区	102	85.3	64.7	48.0	29.4	44.1	12.7	35.3	25.5	19.6	21.6	1.0	1.0	0.0
	上岩出小学校区	149	75.8	61.7	43.0	27.5	36.9	17.4	26.8	22.8	16.1	18.1	0.7	2.0	2.7
	山崎北小学校区	193	80.8	58.0	47.7	21.8	37.3	13.0	26.4	30.1	20.2	14.0	2.6	1.6	3.1
	中央小学校区	117	82.9	66.7	43.6	27.4	35.0	13.7	31.6	25.6	19.7	12.0	3.4	2.6	1.7
	わからない	39	69.2	48.7	28.2	15.4	35.9	15.4	33.3	23.1	28.2	10.3	5.1	10.3	0.0

災害発生時の備えとして重要なことについては、「自分や家族の避難方法の確認」が80.1%、「災害時の緊急の連絡方法を家族や知り合いと話しておくこと」が60.0%となっています。

性別にみると、女性で「災害時の緊急の連絡方法を家族や知り合いと話しておくこと」が64.6%と、男性よりやや多くなっています。

年齢別にみると、全年代で「自分や家族の避難方法の確認」が6～9割台と最も多く、次いで20～60歳代では「災害時の緊急の連絡方法を家族や知り合いと話しておくこと」が5割台後半～7割台、70歳代以上では「日ごろからの隣近所とのあいさつや声のかけあい」が4割台半ば～5割台半ばとなっています。

地域別にみると、おおむね全体と同様の結果となっています。

【前回調査との比較】

全体および性別、年代すべてにおいて、「自分や家族の避難方法の確認」の割合が最も高く、前回と大きな差はみられません。

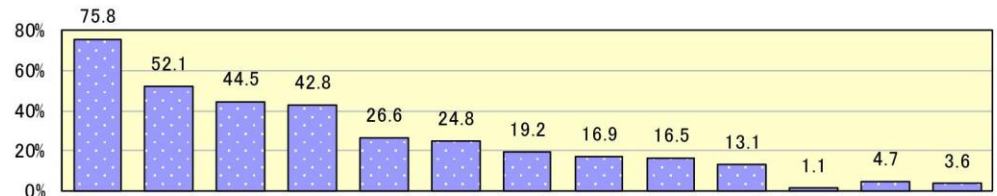
【参考】

[複数回答]

全体スコアから+10.0ポイント以上



全体スコアから-10.0ポイント以下

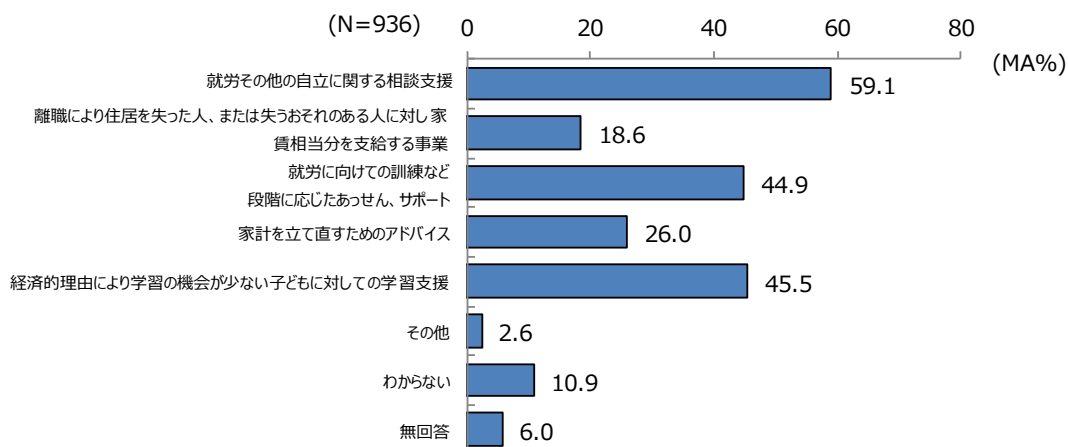


	回答数	自分や家族の避難方法の確認	災害時の緊急の連絡方法を家族や知り合いと話しておくこと	危険箇所の把握	日ごろからの隣近所とのあいさつや声のかけあい	地域での避難訓練の実施	避難の際に必要な人の把握	避難の際に必要な人に対する情報伝達の体制づくり	避難の際に必要な人を支援する人たちの把握	災害に関する学習会の開催	自主防災組織などの組織づくり	その他	特になし	無回答	
全体	741	75.8	52.1	44.5	42.8	26.6	24.8	19.2	16.9	16.5	13.1	1.1	4.7	3.6	
別性	男性	352	77.3	49.7	44.6	39.5	24.4	22.2	18.5	15.1	14.8	13.6	1.1	4.8	2.8
	女性	376	75.5	54.8	44.9	46.3	28.7	27.4	20.2	18.6	18.1	12.5	1.1	4.3	4.0
年代	20代	63	77.8	50.8	50.8	25.4	17.5	33.3	15.9	9.5	11.1	9.5	1.6	6.3	0.0
	30代	95	85.3	68.4	58.9	35.8	31.6	25.3	22.1	16.8	13.7	15.8	2.1	4.2	1.1
	40代	92	89.1	59.8	43.5	32.6	21.7	17.4	18.5	14.1	14.1	8.7	1.1	4.3	1.1
	50代	109	78.9	51.4	45.0	45.9	30.3	28.4	22.0	19.3	21.1	15.6	0.9	7.3	0.9
	60代	166	71.7	51.2	45.8	44.6	30.1	25.3	17.5	15.7	19.9	12.7	0.0	5.4	1.8
	70代	145	72.4	45.5	36.6	55.9	30.3	24.1	24.8	21.4	15.9	14.5	0.7	2.1	6.2
	80代以上	60	56.7	36.7	33.3	43.3	11.7	20.0	6.7	15.0	13.3	11.7	3.3	5.0	16.7
居住地	岩出地区	143	72.0	49.7	39.9	42.7	25.9	23.1	20.3	14.7	15.4	9.8	1.4	3.5	4.9
	山崎地区	279	79.6	51.6	47.0	41.2	27.2	24.0	17.9	16.8	17.2	12.9	1.1	5.0	2.2
	根来地区	99	74.7	56.6	50.5	42.4	29.3	24.2	21.2	15.2	14.1	18.2	2.0	6.1	1.0
	上岩出地区	212	75.5	52.4	42.0	44.8	25.0	27.4	19.3	18.9	17.5	12.7	0.5	4.7	5.2

7. 生活困窮者について

〔1〕 今後期待する生活困窮者への取組支援

問20 生活困窮者に対する支援について今後期待する取組は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)



	N	就労その他の自立に関する相談支援	離職により住居を失った人、または失うおそれのある人に対し家賃相当分を支給する事業	就労に向けての訓練など段階に応じたあつせん、サポート	家計を立て直すためのアドバイス	経済的理由により学習の機会が少ない子どもに対しての学習支援	その他	わからない	無回答	
全体	936	59.1	18.6	44.9	26.0	45.5	2.6	10.9	6.0	
性別	男	426	59.9	20.9	43.7	23.7	41.5	2.8	10.3	6.1
	女	472	59.1	16.7	46.0	28.4	48.7	2.1	11.9	5.3
年齢別	20歳代	80	62.5	26.3	36.3	22.5	46.3	2.5	7.5	0.0
	30歳代	123	60.2	25.2	50.4	26.8	52.8	4.1	12.2	1.6
	40歳代	119	57.1	10.9	49.6	25.2	54.6	1.7	7.6	5.0
	50歳代	151	66.2	23.2	49.7	32.5	55.0	2.6	7.9	2.0
	60歳代	210	67.6	17.6	50.5	26.7	40.5	2.4	8.1	4.8
	70歳代	185	49.2	14.6	39.5	20.5	38.4	2.2	15.7	12.4
	80歳以上	65	40.0	15.4	21.5	29.2	27.7	3.1	21.5	18.5
	わからない	39	56.4	25.6	51.3	20.5	41.0	0.0	10.3	7.7
地域別	岩出小学校区	129	60.5	17.1	38.0	24.0	38.8	3.9	16.3	3.1
	山崎小学校区	199	61.3	20.6	44.2	29.1	45.7	2.5	10.6	6.0
	根来小学校区	102	53.9	17.6	45.1	25.5	51.0	1.0	8.8	6.9
	上岩出小学校区	149	57.0	22.1	45.6	24.8	45.0	2.0	12.1	6.7
	山崎北小学校区	193	60.1	16.6	47.2	24.9	48.2	2.6	7.8	8.3
	中央小学校区	117	62.4	15.4	47.0	29.1	47.0	4.3	10.3	2.6
	わからない	39	56.4	25.6	51.3	20.5	41.0	0.0	10.3	7.7

今後期待する生活困窮者への取組支援については、「就労その他の自立に関する相談支援」が 59.1%、「経済的理由により学習の機会が少ない子どもに対しての学習支援」が 45.5%となっています。

性別にみると、女性で「経済的理由により学習の機会が少ない子どもに対しての学習支援」が 48.7%と、男性よりやや多くなっています。

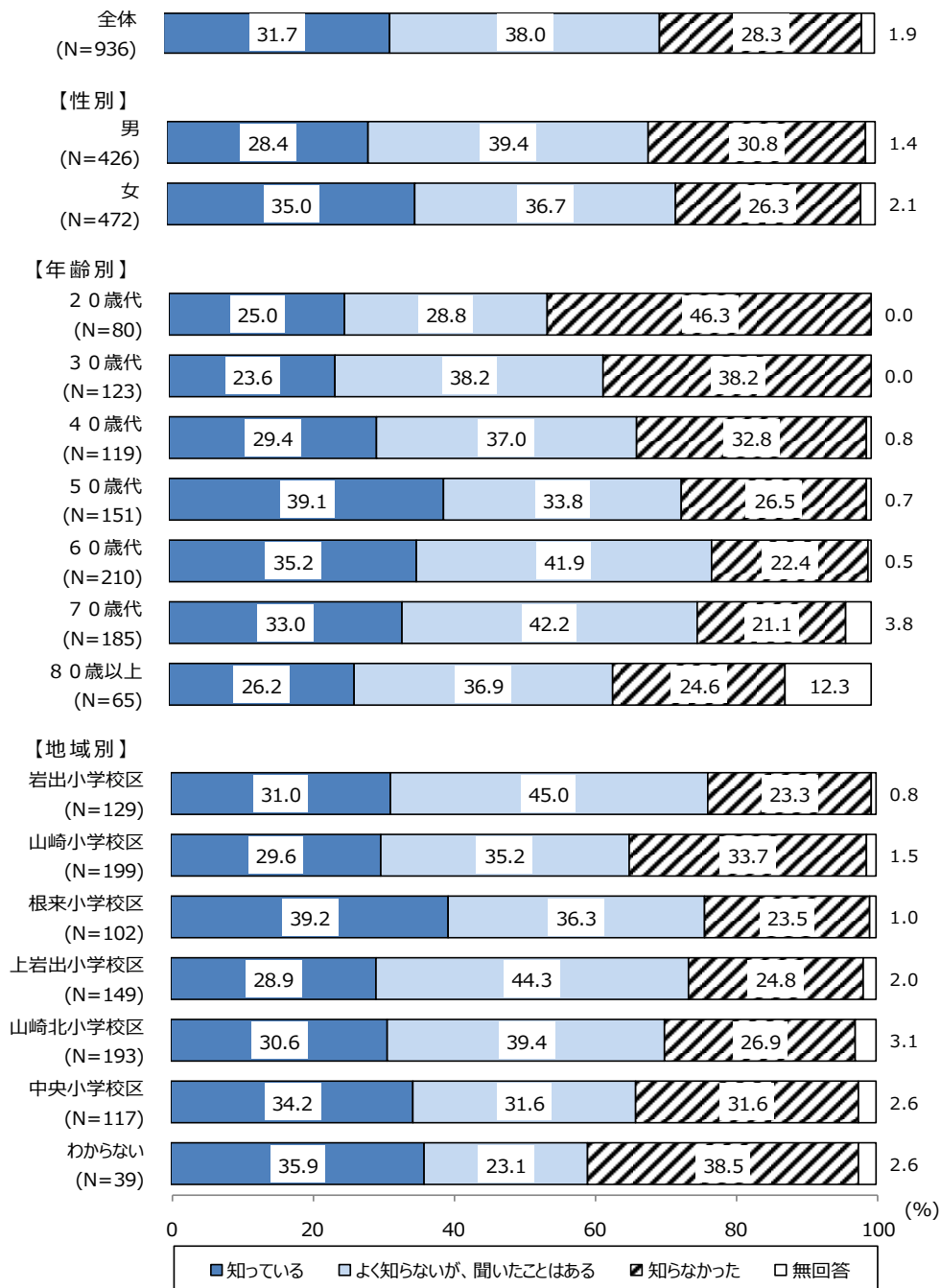
年齢別にみると、全年代で「就労その他の自立に関する相談支援」が4～6割台と最も多く、次いで20～50歳代では「経済的理由により学習の機会が少ない子どもに対する学習支援」が4割台半ば～5割台半ば、60～70歳代では「就労に向けての訓練など段階に応じたあっせん、サポート」が4割弱～5割台、80歳以上では「家計を立て直すためのアドバイス」が3割弱となっています。

地域別にみると、おおむね全体と同様の結果となっていますが、根来小学校区では「経済的理由により学習の機会が少ない子どもに対する学習支援」が5割台と他地域よりやや多くなっています。

8. 成年後見制度について

〔1〕 成年後見制度の認知度

問21 成年後見制度について知っていますか。(〇はひとつ)



成年後見制度の認知度については、「よく知らないが、聞いたことはある」が38.0%、「知っている」が31.7%となっています。

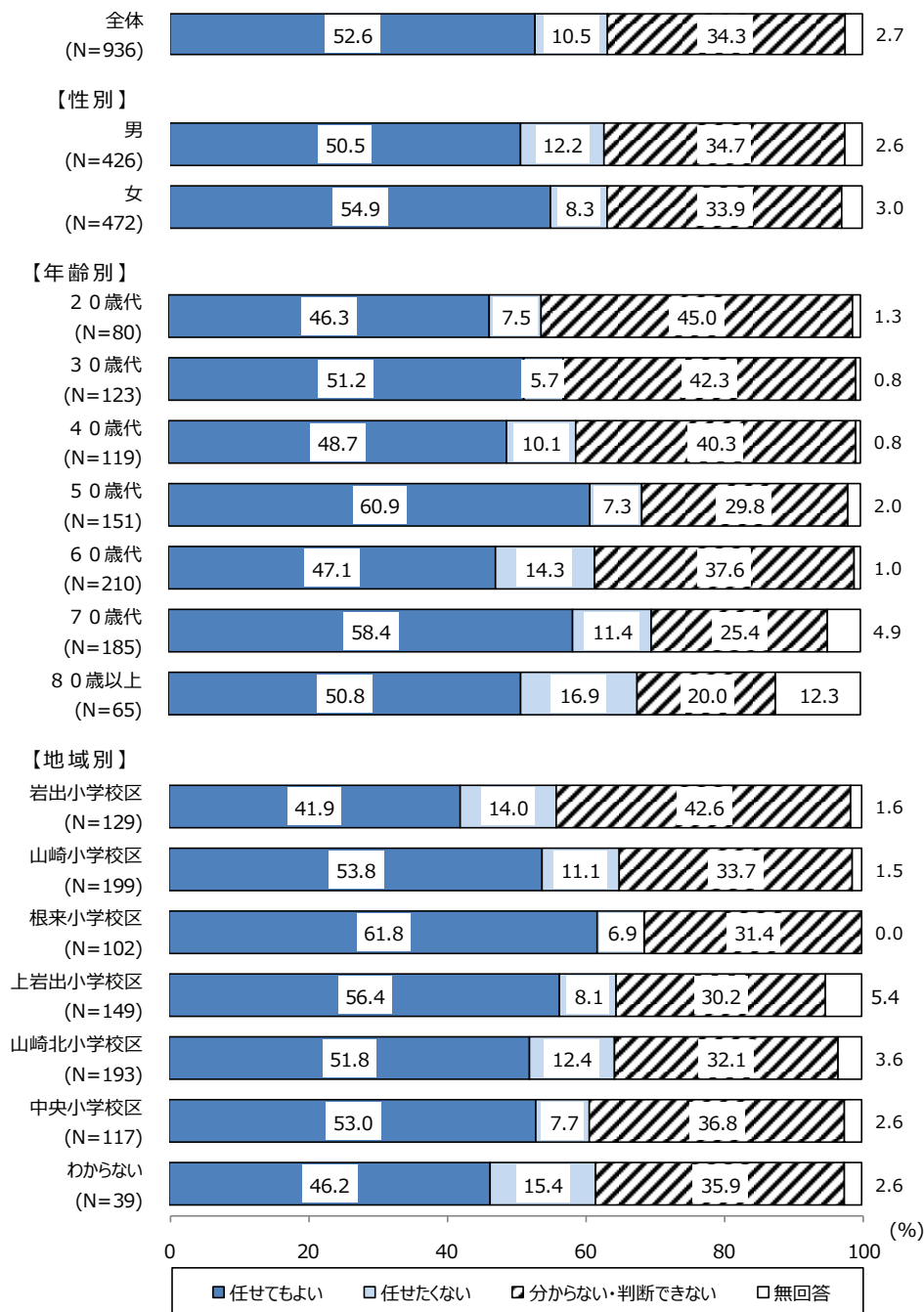
性別にみると、女性で「知っている」が35.0%と、男性よりやや多くなっています。

年齢別にみると、20歳代～70歳代では年齢が高いほど「知らなかった」が少なくなる傾向となっていますが、80歳以上を境に「知らなかった」が増加しています。

地域別にみると、岩出小学校区、山崎小学校区、上岩出小学校区、山崎北小学校区で「よく知らないが、聞いたことはある」が3割台半ば～4割台半ばと最も多く、根来小学校区、中央小学校区では「知っている」が3割台半ば～3割台後半と最も多くなっています。

〔2〕財産等を「成年後見人」等に任せることについて

問22 万一、自分自身の判断能力が不十分になった場合、「成年後見制度」に基づいて自身の財産等を「成年後見人」等に任せることについて、どのように思いますか。(○はひとつ)



財産等を「成年後見人」等に任せることについては、「任せてもよい」が52.6%、「分からない・判断できない」が34.3%となっています。

性別にみると、男性で「任せたくない」が1割を超えています。

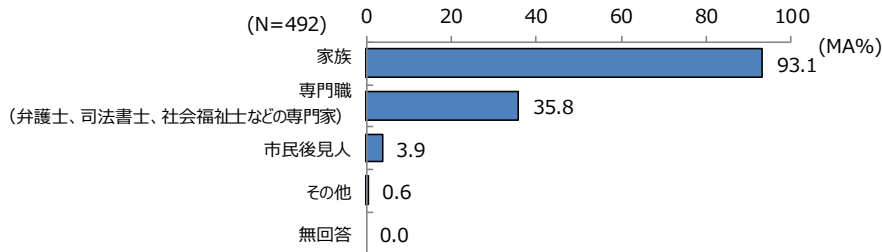
年齢別にみると、「任せてもよい」は50歳代で6割台、「任せたくない」は80歳以上が1割台半ば、「分からない・判断できない」は20～40歳代で4割台と、他の年代より多くなっています。

地域別にみると、おおむね全体と同様の結果となっていますが、根来小学校区では「任せてもよい」が6割台と他地域より多く、一方「任せたくない」が6.9%と他地域より少なくなっています。

〔3〕自身の財産等を任せられる相手

【問22で「1. 任せてもよい」を選んだ方のみ】

問23 誰になら、任せてもよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



		N	家族	法 書 士 の 専 門 家 (弁 護 士 、 社 会 福 祉 士 、 司 士)	市 民 後 見 人	そ の 他	無 回 答
全体		492	93.1	35.8	3.9	0.6	0.0
性別	男	215	93.0	33.0	5.1	0.5	0.0
	女	259	93.1	39.0	2.7	0.8	0.0
年齢別	20歳代	37	91.9	40.5	8.1	2.7	0.0
	30歳代	63	93.7	57.1	11.1	0.0	0.0
	40歳代	58	89.7	48.3	1.7	0.0	0.0
	50歳代	92	93.5	39.1	1.1	0.0	0.0
	60歳代	99	91.9	34.3	3.0	0.0	0.0
	70歳代	108	95.4	17.6	2.8	0.9	0.0
	80歳以上	33	93.9	24.2	3.0	3.0	0.0
地域別	岩出小学校区	54	90.7	40.7	3.7	1.9	0.0
	山崎小学校区	107	93.5	34.6	6.5	1.9	0.0
	根来小学校区	63	92.1	30.2	0.0	0.0	0.0
	上岩出小学校区	84	92.9	36.9	3.6	0.0	0.0
	山崎北小学校区	100	95.0	29.0	4.0	0.0	0.0
	中央小学校区	62	90.3	51.6	3.2	0.0	0.0
わからない		18	100.0	33.3	5.6	0.0	0.0

財産等を成年後見人等に「1. 任せてもよい」とお答えの方に、自身の財産等を任せられる相手についてたずねたところ、「家族」が93.1%と最も多く、次いで「専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士などの専門家）」が35.8%となっています。

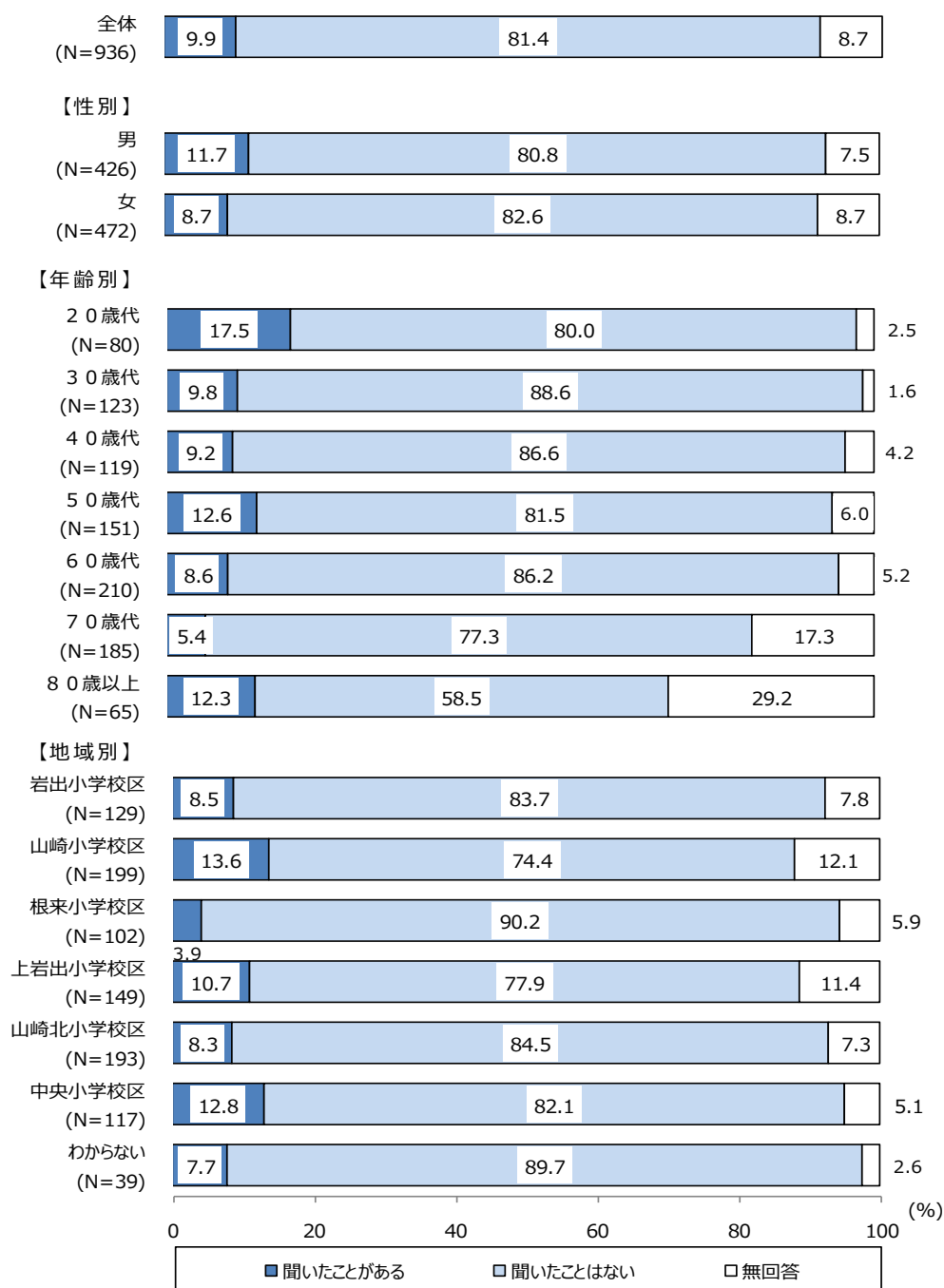
性別、年齢別、地域別にみても、全体と同様の結果となっていますが、年齢別の30歳代と地域別の中央小学校区では「専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士などの専門家）」が5割台とやや多くなっています。

9. 虐待等について

[1] 地域における虐待等について、聞いたことがある経験

問24 あなたは、地域の出来事として、家族等による虐待等があったことを聞いたことがありますか。(①～④の各項目それぞれに○はひとつ)

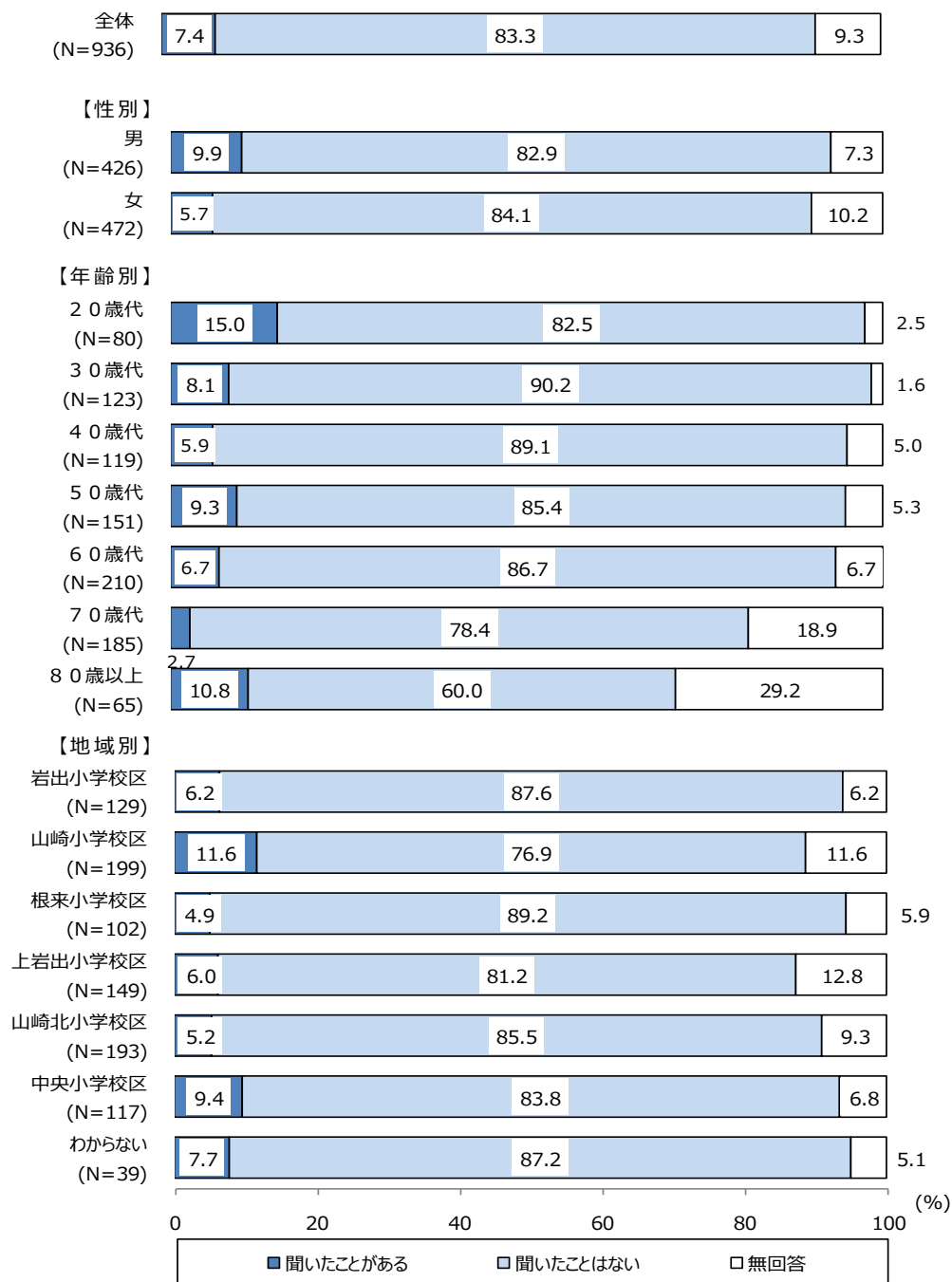
① 高齢者への虐待



高齢者への虐待について、聞いたことがある経験は、「聞いたことはない」が 81.4%、「聞いたことがある」が 9.9%となっています。

性別、年齢別、地域別にみても、全体と同様の結果となっていますが、「聞いたことがある」は年齢別の 20 歳代で 17.5%と他の年代よりやや多く、地域別の根来小学校区では 3.9%と他地域よりやや少なくなっています。

②障害者者への虐待



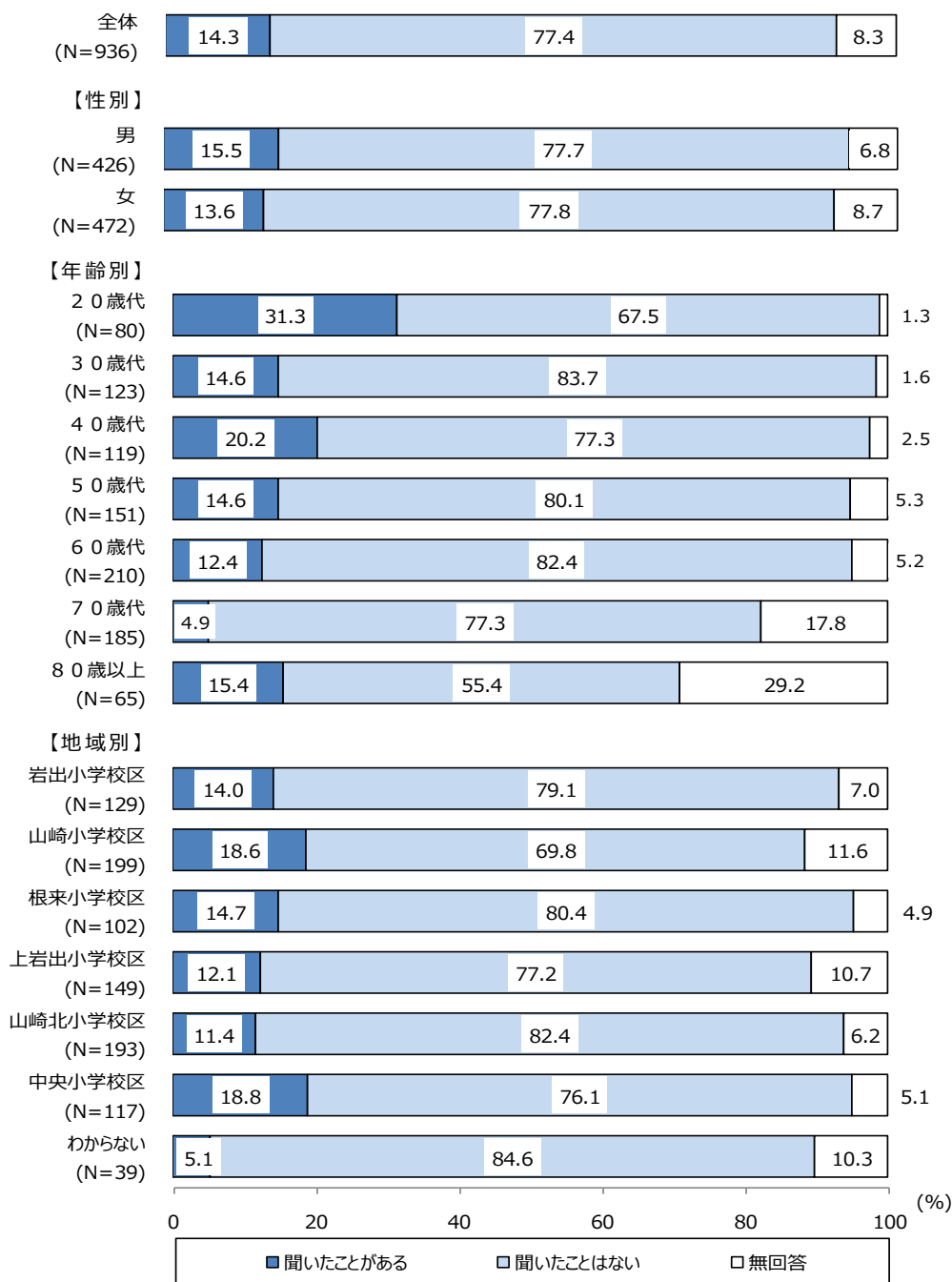
障害者への虐待について、聞いたことがある経験は、「聞いたことはない」が 83.3%、「聞いたことがある」が 7.4%となっています。

性別にみると、男性で「聞いたことがある」が 9.9%と、女性よりやや多くなっています。

年齢別にみると、「聞いたことがある」は 20 歳代と 80 歳以上で 1 割以上と他の年代より多くなっています。

地域別にみると、「聞いたことがある」は山崎小学校区で 1 割以上と他地域より多くなっています。

③子どもへの虐待



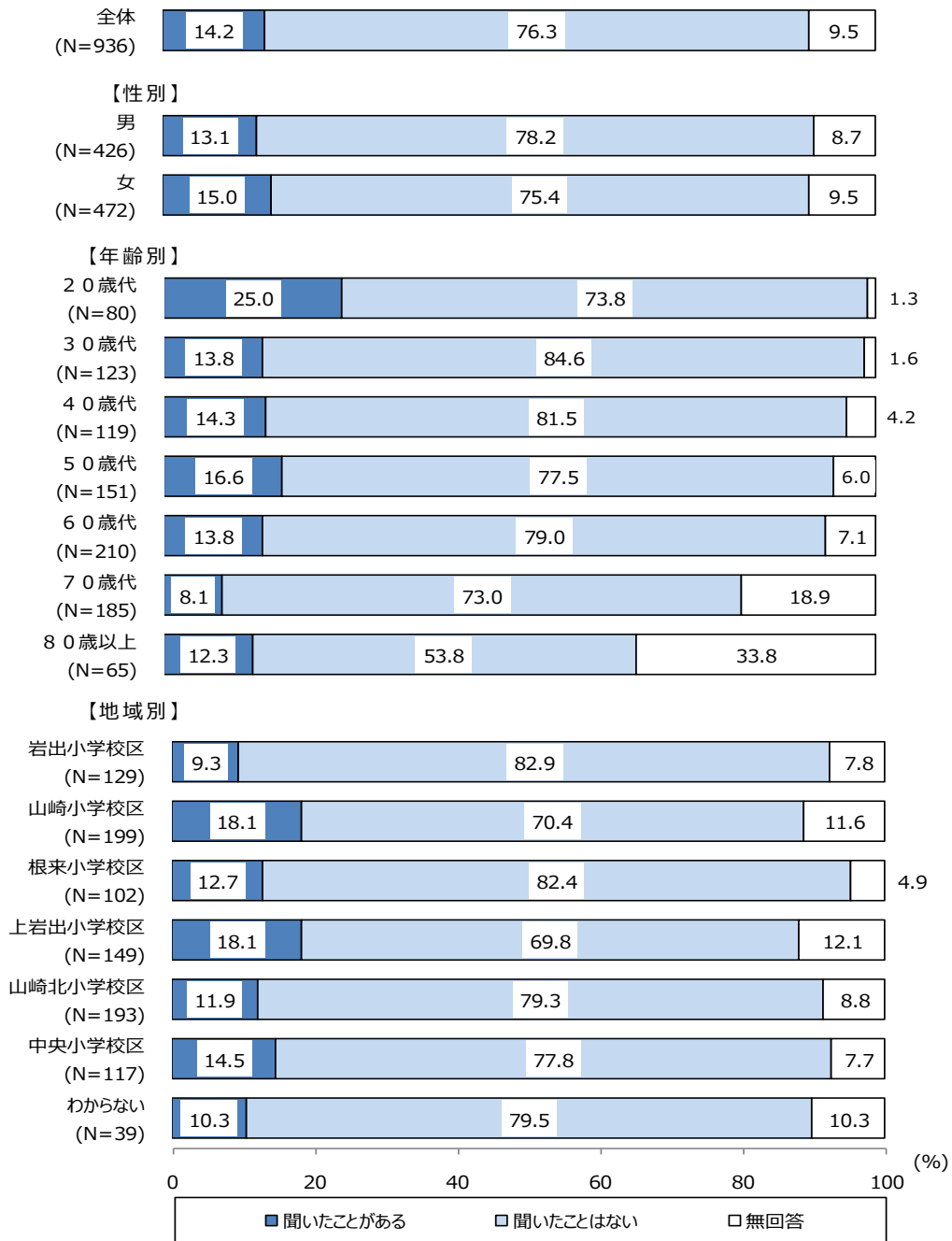
子どもへの虐待について、聞いたことがある経験は、「聞いたことはない」が 77.4%、「聞いたことがある」が 14.3%となっています。

性別にみると、男女ともに全体と同様の結果となっています。

年齢別にみると、「聞いたことがある」は 20 歳代で 3 割以上と他の年代より多くなっています。一方 70 歳代では 1 割以下と他の年代より少なくなっています。

地域別にみると、「聞いたことがある」は山崎小学校区、中央小学校区で 1 割台後半と他地域よりやや多くなっています。

④ 配偶者からの暴力



配偶者からの暴力について、聞いたことがある経験は、「聞いたことはない」が76.3%、「聞いたことがある」が14.2%となっています。

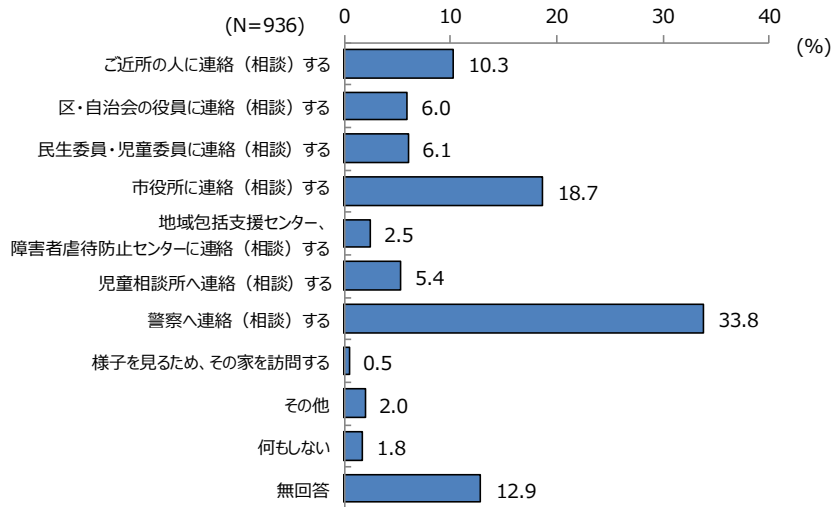
性別にみると、女性で「聞いたことがある」が15.0%と、男性よりやや多くなっています。

年齢別にみると、「聞いたことがある」は20歳代で25.0%と他の年代より多くなっています。

地域別にみると、「聞いたことがある」は山崎小学校区、上岩出小学校区で18.1%と他地域よりやや多くなっています。

〔2〕虐待や暴力に対する最初の対応

問25 あなたの周囲で虐待や暴力が発生していることが分かったら、最初にどのように対応しますか。(〇はひとつ)



	N	ご近所の人に連絡 (相談) する	区・自治会の役員に連絡 (相談) する	民生委員・児童委員に連絡 (相談) する	市役所に連絡 (相談) する	地域包括支援センター、 障害者虐待防止センターに連絡 (相談) する	児童相談所へ連絡 (相談) する	警察へ連絡 (相談) する	様子を見るため、その家を訪問する	その他	何もしない	無回答
全体	936	10.3	6.0	6.1	18.7	2.5	5.4	33.8	0.5	2.0	1.8	12.9
性別	男	426	7.7	8.0	4.5	17.6	0.5	4.7	38.7	0.9	2.1	13.1
	女	472	12.5	3.6	8.1	19.1	4.2	5.9	30.3	0.2	2.1	12.5
年齢別	20歳代	80	8.8	0.0	1.3	17.5	3.8	10.0	41.3	0.0	2.5	13.8
	30歳代	123	5.7	0.0	0.8	20.3	1.6	13.0	33.3	2.4	5.7	12.2
	40歳代	119	13.4	3.4	1.7	19.3	5.0	11.8	30.3	0.0	1.7	12.6
	50歳代	151	7.9	4.6	5.3	17.9	2.0	2.6	38.4	0.7	0.7	18.5
	60歳代	210	9.5	11.0	6.2	21.0	2.4	1.4	36.2	0.5	2.4	8.1
	70歳代	185	14.1	7.6	14.6	16.8	1.6	3.2	29.2	0.0	0.5	10.8
	80歳以上	65	10.8	12.3	7.7	16.9	1.5	0.0	26.2	0.0	1.5	21.5
地域別	岩出小学校区	129	14.0	7.8	4.7	20.9	3.1	7.0	27.1	0.0	1.6	10.9
	山崎小学校区	199	12.6	5.0	6.5	19.1	2.0	6.0	34.7	0.0	1.0	12.1
	根来小学校区	102	8.8	6.9	6.9	17.6	4.9	2.9	30.4	0.0	3.9	15.7
	上岩出小学校区	149	10.7	4.0	5.4	14.8	2.0	4.7	43.6	0.7	0.7	10.7
	山崎北小学校区	193	9.3	5.7	4.7	22.3	2.1	5.2	30.6	1.6	4.1	12.4
	中央小学校区	117	7.7	7.7	11.1	13.7	0.9	8.5	33.3	0.9	1.7	13.7
	わからない	39	2.6	2.6	2.6	25.6	5.1	0.0	41.0	0.0	0.0	20.5

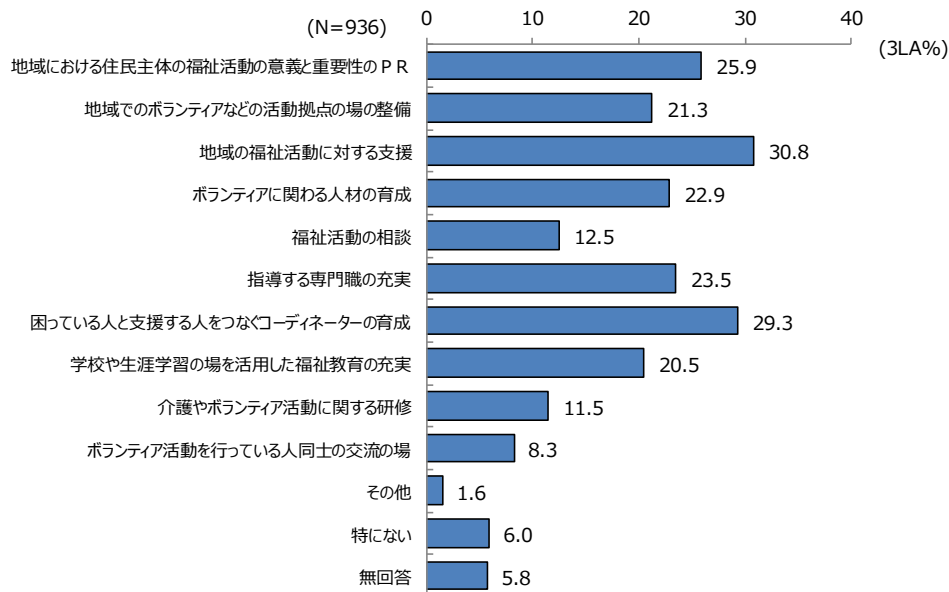
虐待や暴力に対する最初の対応については、「警察へ連絡 (相談) する」が 33.8%、「市役所に連絡 (相談) する」が 18.7%となっています。

性別、年齢別、地域別にみても、全体と同様の結果となっていますが、年齢別の 20～40 歳代では「児童相談所へ連絡 (相談) する」、60 歳代と 80 歳以上では「区・自治会の役員に連絡 (相談) する」、70 歳代では「民生委員・児童委員に連絡 (相談) する」が他の年代より多くなっています。また、地域別の中央小学校区では「民生委員・児童委員に連絡 (相談) する」が他地域より多くなっています。

10. これからの福祉のあり方について

〔1〕 地域における支え合い、助け合いを活発にする重要な取り組み

問26 地域における支え合い、助け合いを活発にするために、あなたが重要と思う取り組みは何ですか（あてはまるもの3つまでに○）



	N	と重 要福 祉活 動の PR	地 域 の 整 備	地 域 の 活 動 拠 点 の イ	地 域 の 支 援	ボ ラ ン テ ィ ア に 関 わ	福 祉 活 動 の 相 談	実 指 導 す る 専 門 職 の 充	困 っ て い る 人 と 支 援 す る 人 を つ な ぐ コ ー デ ィ ネ ー タ ー の 育 成	学 校 や 生 涯 学 習 の 場 を 活 用 し た 福 祉 教 育 の 充 実	活 動 に 関 する 研 修	交 流 の 場	ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 を 行 っ て い る 人 同 士 の 交 流 の 場	そ の 他	特 に な し	無 回 答
全体	936	25.9	21.3	30.8	22.9	12.5	23.5	29.3	20.5	11.5	8.3	1.6	6.0	5.8		
性別	男	426	27.9	23.7	31.0	24.4	12.9	23.2	23.7	21.8	10.6	9.2	2.1	6.8	4.9	
	女	472	24.4	19.1	31.1	21.2	12.3	23.3	34.5	19.9	12.3	7.2	1.1	5.3	6.4	
年齢別	20歳代	80	26.3	20.0	31.3	11.3	12.5	13.8	36.3	28.8	11.3	12.5	0.0	6.3	2.5	
	30歳代	123	18.7	25.2	33.3	26.8	5.7	17.9	35.8	30.9	8.9	8.1	2.4	7.3	1.6	
	40歳代	119	19.3	20.2	30.3	23.5	10.9	24.4	37.0	26.9	10.9	6.7	1.7	4.2	3.4	
	50歳代	151	24.5	23.2	32.5	25.2	15.9	23.2	32.5	21.9	15.2	9.3	1.3	4.6	5.3	
	60歳代	210	32.9	24.3	29.5	23.8	13.8	28.6	26.2	15.2	9.5	7.6	2.9	3.8	6.7	
	70歳代	185	24.3	16.8	29.2	22.7	15.1	24.9	22.7	15.1	13.5	8.1	1.1	8.1	8.6	
	80歳以上	65	35.4	16.9	32.3	16.9	9.2	24.6	16.9	9.2	9.2	6.2	0.0	10.8	12.3	
	岩出小学校区	129	27.9	21.7	32.6	21.7	10.9	29.5	29.5	17.8	10.9	5.4	2.3	3.1	7.0	
山崎小学校区	199	30.7	20.6	31.2	23.6	12.6	19.6	25.6	26.1	11.6	6.5	1.5	6.0	6.0		
根来小学校区	102	26.5	25.5	33.3	24.5	12.7	23.5	27.5	18.6	12.7	11.8	1.0	7.8	2.9		
上岩出小学校区	149	23.5	18.8	27.5	21.5	11.4	24.2	30.9	20.8	14.1	12.8	2.7	6.0	4.0		
山崎北小学校区	193	25.9	22.8	29.5	20.2	14.0	26.9	26.9	20.2	8.8	7.3	1.6	4.7	7.8		
中央小学校区	117	21.4	20.5	35.0	22.2	11.1	22.2	40.2	19.7	11.1	8.5	0.9	6.0	4.3		
わからない	39	17.9	20.5	25.6	38.5	17.9	12.8	28.2	12.8	15.4	5.1	0.0	12.8	5.1		

地域における支え合い、助け合いを活発にする重要な取り組みについては、「地域の福祉活動に対する支援」が30.8%、「困っている人と支援する人をつなぐコーディネーターの育成」が29.3%となっています。

性別にみると、女性で「困っている人と支援する人をつなぐコーディネーターの育成」が34.5%と、男性より多くなっています。

年齢別にみると、20～40 歳代で「困っている人と支援する人をつなぐコーディネーターの育成」が 3 割台半ば、「学校や生涯学習の場を活用した福祉教育の充実」が 2 割台半ば～3 割台と多くなっています。また、60 歳代と 80 歳以上で「地域における住民主体の福祉活動の意義と重要性の PR」が 3 割台と多くなっています。

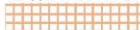
地域別にみると、中央小学校区で「困っている人と支援する人をつなぐコーディネーターの育成」が 4 割台と他地域より多くなっています。

【前回調査との比較】

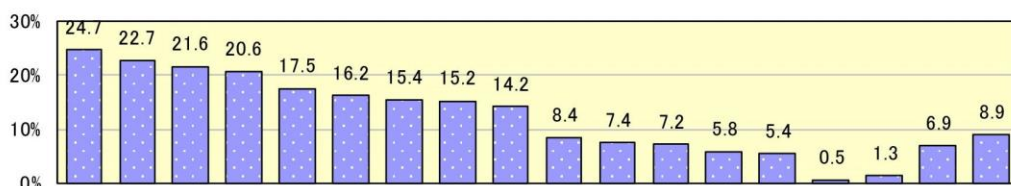
【参考】

[複数回答]

全体スコアから+10.0ポイント以上



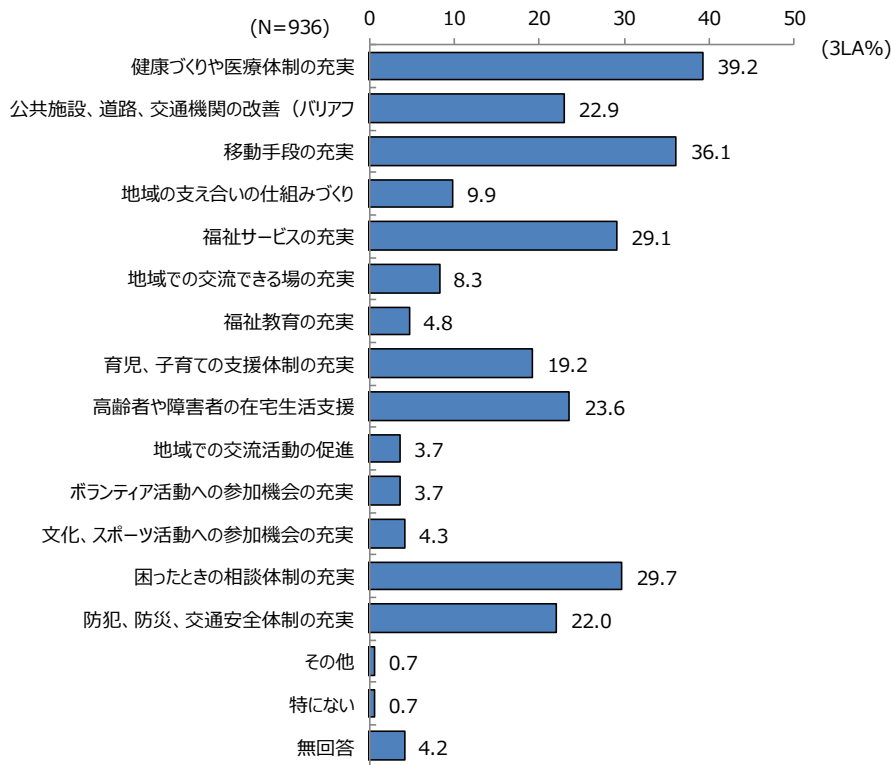
全体スコアから-10.0ポイント以下



	回答数	地域での福祉活動の意義と重要性のPR	区、自治会活動の充実	ボランティアに関わる人材の育成	困っている人と支援する人をつなぐコーディネーターの育成及び配置	地域でのボランティアなどの活動拠点の整備	地域の福祉活動への資金的援助	福祉に関する意識、認識の共有ができる機会づくり	指導する専門職の充実	学校や生涯学習の場を活用した福祉教育の充実	地域の福祉課題等の現状を知る機会づくり	地域の福祉課題の解決、改善を話し合う機会づくり	福祉活動相談	ボランティア活動を行っている人同士の交流の場	介護やボランティア活動に関する研修	団体への助言	その他	特にない	無回答	
全体	741	24.7	22.7	21.6	20.6	17.5	16.2	15.4	15.2	14.2	8.4	7.4	7.2	5.8	5.4	0.5	1.3	6.9	8.9	
別性	男性	352	25.6	24.1	24.4	19.9	20.2	17.3	15.9	15.9	13.1	10.5	9.1	8.8	6.3	3.4	0.6	1.4	7.4	7.4
	女性	376	24.5	21.3	19.4	21.8	15.2	15.7	15.4	14.6	15.2	6.6	6.1	5.3	5.3	7.2	0.5	1.3	6.1	9.8
年代	20代	63	25.4	22.7	19.0	25.4	15.9	15.9	17.5	19.0	20.6	12.7	4.8	7.9	12.7	4.8	0.0	1.6	4.8	3.2
	30代	95	24.2	16.8	13.7	20.0	14.7	11.6	10.5	14.7	29.5	10.5	8.4	3.2	10.5	6.3	1.1	2.1	10.5	1.1
	40代	92	25.0	18.5	32.6	22.8	20.7	23.9	13.0	15.2	14.1	7.6	5.4	9.8	2.2	2.2	1.1	2.2	5.4	2.2
	50代	109	28.4	25.7	29.4	32.1	24.8	17.4	17.4	14.7	11.9	7.3	8.3	9.2	5.5	5.5	0.0	0.0	4.6	4.6
	60代	166	25.3	27.7	25.9	19.9	18.1	20.5	18.1	14.5	11.4	8.4	8.4	7.2	5.4	7.2	0.0	1.2	6.0	7.8
	70代	145	26.2	26.2	17.2	16.6	16.6	13.8	14.5	15.2	7.6	6.9	9.0	4.1	4.1	4.8	1.4	0.7	7.6	15.2
	80代以上	60	15.0	18.3	6.7	6.7	10.0	5.0	18.3	13.3	10.0	6.7	5.0	8.3	3.3	6.7	0.0	3.3	8.3	31.7
居住地	岩出地区	143	23.8	21.0	21.0	14.7	13.3	12.6	18.9	14.0	17.5	7.7	11.2	6.3	7.0	2.8	0.0	1.4	7.0	10.5
	山崎地区	279	27.6	21.1	20.4	21.9	17.6	18.3	14.3	13.6	11.1	10.8	9.0	7.2	3.9	6.1	0.7	1.8	5.7	9.0
	根来地区	99	20.2	25.3	24.2	23.2	21.2	12.1	14.1	19.2	14.1	7.1	6.1	5.1	9.1	8.1	0.0	1.0	9.1	6.1
	上岩出地区	212	24.1	24.1	22.6	22.2	19.3	18.4	15.6	16.0	16.0	6.6	3.8	8.0	6.1	5.2	0.9	0.9	7.1	8.5

〔2〕安心して暮らすために必要な福祉のあり方

問27 住み慣れた地域で、安心して暮らしていくために、どのような福祉のあり方が大切だと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)



	N	健康づくりや医療体制の充実	公共施設、道路、交通機関の改善 (バリアフリー)	移動手段の充実	地域の支え合いの仕組みづくり	福祉サービスの充実	地域での交流できる場の充実	福祉教育の充実	育児、子育ての支援体制の充実	高齢者や障害者の在宅生活支援	地域での交流活動の促進	ボランティア活動への参加機会の充実	文化、スポーツ活動への参加機会の充実	困ったときの相談体制の充実	防犯、防災、交通安全体制の充実	その他	特にない	無回答	
全体	936	39.2	22.9	36.1	9.9	29.1	8.3	4.8	19.2	23.6	3.7	3.7	4.3	29.7	22.0	0.7	0.7	4.2	
性別																			
男	426	41.1	23.7	34.5	10.1	27.2	8.7	5.2	17.6	21.6	3.8	4.2	5.6	27.9	25.8	1.2	0.5	3.5	
女	472	37.9	22.2	38.1	9.7	30.7	8.1	4.4	21.6	25.4	3.8	3.4	3.0	30.7	18.4	0.4	0.8	4.4	
年齢別																			
20歳代	80	31.3	27.5	27.5	10.0	13.8	5.0	8.8	47.5	16.3	1.3	2.5	5.0	26.3	31.3	2.5	1.3	2.5	
30歳代	123	35.8	30.1	35.0	8.1	23.6	6.5	4.9	50.4	19.5	2.4	0.8	3.3	17.1	31.7	0.0	0.0	3.3	
40歳代	119	28.6	21.8	39.5	5.0	31.9	3.4	5.9	22.7	16.0	3.4	1.7	1.7	28.6	31.1	0.8	0.0	8.4	
50歳代	151	39.7	25.8	42.4	11.3	38.4	6.6	4.6	13.9	24.5	1.3	3.3	4.6	30.5	18.5	0.7	1.3	3.3	
60歳代	210	43.8	20.5	37.6	10.0	34.3	7.6	2.4	9.5	23.3	5.2	7.1	5.7	37.1	16.7	1.4	0.5	3.3	
70歳代	185	44.9	17.3	33.0	10.3	26.5	16.2	4.9	4.3	29.7	5.9	4.3	5.4	32.4	16.8	0.0	1.6	3.2	
80歳以上	65	41.5	23.1	30.8	18.5	23.1	9.2	4.6	6.2	35.4	4.6	1.5	1.5	26.2	15.4	0.0	0.0	7.7	
地域別																			
岩出小学校区	129	38.8	23.3	32.6	13.2	30.2	10.9	3.1	14.7	20.2	2.3	2.3	3.1	34.1	24.0	0.8	0.8	4.7	
山崎小学校区	199	40.2	25.1	37.2	8.0	28.6	6.0	6.0	18.1	25.6	3.0	4.5	4.5	31.2	18.6	1.0	0.5	3.0	
根来小学校区	102	41.2	22.5	36.3	8.8	32.4	4.9	4.9	27.5	22.5	2.0	4.9	5.9	25.5	21.6	0.0	0.0	4.9	
上岩出小学校区	149	37.6	21.5	42.3	6.7	23.5	16.8	3.4	20.1	28.2	3.4	2.7	4.0	27.5	20.8	0.7	1.3	4.0	
山崎北小学校区	193	40.4	25.9	36.8	9.8	29.5	5.7	4.7	19.7	21.2	6.7	3.6	4.7	27.5	22.8	0.5	0.5	4.1	
中央小学校区	117	38.5	16.2	28.2	15.4	32.5	5.1	6.0	22.2	22.2	4.3	4.3	3.4	33.3	28.2	1.7	0.0	4.3	
わからない	39	30.8	20.5	38.5	7.7	28.2	12.8	5.1	7.7	28.2	2.6	2.6	5.1	28.2	15.4	0.0	5.1	5.1	

安心して暮らすために必要な福祉のあり方については、「健康づくりや医療体制の充実」が 39.2%、「移動手段の充実」が 36.1%となっています。

性別にみると、男性は「健康づくりや医療体制の充実」が 41.1%と最も多く、女性は「移動手段の充実」が 38.1%と最も多くなっています。

年齢別にみると、20～30 歳代では「育児、子育ての支援体制の充実」、40～50 歳代では「移動手段の充実」、60 歳代以上では「健康づくりや医療体制の充実」が最も多くなっています。また 70 歳代では「地域での交流できる場の充実」が 1 割台半ばと他の年代よりやや多くなっています。

地域別にみると、上岩出小学校区を除くすべての地域で「健康づくりや医療体制の充実」が最も多く、上岩出小学校区では「移動手段の充実」が最も多くなっています。

〔前回調査との比較〕

全体でみると、前回同様に「健康づくりや医療体制の充実」が最も高くなっています。

性別でみると、男性は前回と大きな差はみられませんが、女性では前回調査において「健康や医療体制の充実」の割合が最も高かったのに対し、今回調査では「移動手段の充実」が最も高くなっています。

年代でみると、20 代では前回調査において「健康づくりや医療体制の充実」の割合が最も高かったのに対し、今回調査では「育児・子育ての支援体制の充実」という意見が増加しています。30 代・40 代では「移動手段の充実」が多くなっています。

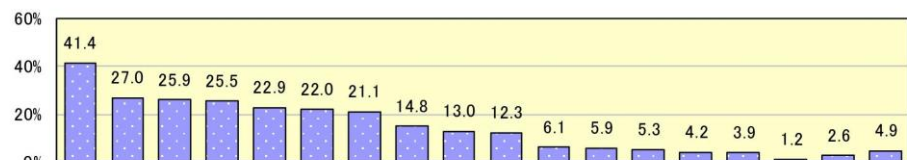
【参考】

〔複数回答〕

全体スコアから+10.0ポイント以上



全体スコアから-10.0ポイント以下



居住地	性別	年代	回答数	項目																	
				健康づくりや医療体制の充実	公共施設、道路、交通機関の改善(バリアフリー化)	公的福祉サービスの充実	移動手段の充実	防犯、防災、交通安全体制の充実	高齢者や障がいのある人への在宅生活支援	困ったときの相談体制の充実	子育ての支援体制の充実	地域の支え合いの仕組みづくり	住民士の声かけ	文化、スポーツ活動への参加機会の充実	地域での交流の場の充実	地域での交流の促進	福祉教育の充実	ボランティア活動への参加機会の充実	その他	特になし	無回答
全体			741	41.4	27.0	25.9	25.5	22.9	22.0	21.1	14.8	13.0	12.3	6.1	5.9	5.3	4.2	3.9	1.2	2.6	4.9
別性	男性		352	41.5	27.6	24.1	25.6	23.6	23.6	19.3	14.5	14.8	9.9	7.4	5.1	6.0	4.5	5.1	1.4	2.8	4.8
	女性		376	41.2	27.1	27.9	25.8	22.1	20.5	22.9	15.4	11.2	14.6	5.1	6.4	4.5	4.0	2.7	1.1	2.4	4.5
年代	20代		63	36.5	31.7	19.0	33.3	28.6	15.9	19.0	25.4	6.3	7.9	11.1	3.2	1.6	6.3	3.2	1.6	1.6	3.2
	30代		95	41.1	22.1	18.9	24.2	29.5	8.4	18.9	47.4	12.6	10.5	2.1	3.2	3.2	6.3	4.2	1.1	4.2	0.0
	40代		92	41.3	35.9	23.9	31.5	29.3	15.2	26.1	19.6	13.0	6.5	7.6	5.4	5.4	3.3	2.2	0.0	2.2	1.1
	50代		109	38.5	30.3	32.1	22.9	24.8	30.3	30.3	10.1	13.8	17.4	6.4	3.7	3.7	3.7	2.8	0.0	3.7	1.8
	60代		166	44.6	24.7	36.1	27.7	19.9	27.7	19.9	7.8	13.3	14.5	6.0	7.8	6.6	5.4	3.6	2.4	0.6	2.4
	70代		145	46.2	21.4	24.1	21.4	15.9	24.8	17.2	4.1	15.2	11.0	7.6	7.6	6.9	2.1	6.9	0.7	3.4	9.7
	80代以上		60	31.7	33.3	15.0	16.7	20.0	21.7	16.7	0.0	11.7	16.7	1.7	8.3	6.7	3.3	1.7	1.7	3.3	18.3
居住地	岩出地区		143	40.6	25.9	26.6	25.2	24.5	22.4	18.2	9.1	9.8	16.1	7.7	6.3	3.5	2.8	2.1	0.7	3.5	7.7
	山崎地区		279	44.1	24.0	25.4	26.9	24.4	21.9	20.8	16.8	11.1	11.5	6.5	4.7	5.7	5.0	2.5	1.8	2.2	3.9
	根来地区		99	41.4	25.3	22.2	23.2	24.2	21.2	24.2	17.2	18.2	12.1	5.1	4.0	7.1	3.0	7.1	0.0	2.0	3.0
	上岩出地区		212	38.2	33.5	28.3	25.0	19.3	22.6	22.2	15.1	14.6	11.3	5.2	8.0	5.2	4.7	5.2	1.4	2.8	4.2

IV 資料

IV. 資料(調査票)

岩出市の地域福祉に関する市民意識調査

【調査ご協力をお願い】

市民の皆さまには、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本市では、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりのため、地域での支え合い・助け合いによる地域福祉の推進を目的に平成 28 年度から 5 年間で計画期間とする「岩出市地域福祉計画」を策定しています。

この計画は、令和 2 年度を最終年度としており、令和 3 年度からの第 2 期地域福祉計画の策定にあたり、「地域福祉」に対する皆様の考え方や意見をお聞かせいただき、計画策定の基礎資料とするため、本アンケートを実施するものです。

なお、今回の調査は、令和元年 12 月 1 日現在、岩出市にお住まいの 20 歳以上の方の中から、無作為に 2,500 人を選ばせていただきました。調査票は無記名で、ご回答いただいた内容は統計的に処理します。ご記入いただいた調査票を公表したり、調査の目的以外に使用したりすることは一切ありません。

ご多用のところ恐縮ではありますが、調査の趣旨をご理解いただき、皆様のご意見をお聴かせくださいますよう、お願いいたします。

令和 2 年 1 月

岩出市長 中芝 正幸

□■□ ご記入にあたっての注意事項 □■□

1. あて名の方ご本人がお答えください（ご家族と相談していただいても結構です）。また、本人が記入できない場合は、ご家族の方が本人のお考えを聞きながらご記入ください。
2. 回答は、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。「その他」を選んだ場合は、その具体的な内容を（ ）のなかに記入してください。
3. 選択する答えの数は「1つだけ」「あてはまるものすべて」「3つまで」などの指示に従ってください。
4. 氏名や住所は記入しないでください。
5. ご記入後は、この調査票を同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**1月30日（木）**までにご投函ください。
6. ご不明な点は、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

岩出市 地域福祉課 総務福祉係

TEL : 0736-62-2141

FAX : 0736-61-1632



岩出市イメージキャラクター
そうへいちゃん

あなた自身についてお聞きします

問1 あなたの性別は何ですか。(答えたくない場合は無回答で結構です。)

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

問2 あなたの年齢は何歳ですか。(〇はひとつ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 20歳代 | 2. 30歳代 |
| 3. 40歳代 | 4. 50歳代 |
| 5. 60歳代 | 6. 70歳代 |
| 7. 80歳以上 | |

問3 あなたが住んでいる小学校区はどちらですか。(〇はひとつ)

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. 岩出小学校区 | 2. 山崎小学校区 |
| 3. 根来小学校区 | 4. 上岩出小学校区 |
| 5. 山崎北小学校区 | 6. 中央小学校区 |
| 7. わからない(字名を記載:
) | |

問4 あなたの家族構成はどのようになっていますか。(〇はひとつ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 単身(ひとり暮らし) | 2. 夫婦のみ世帯 |
| 3. 二世帯(親と子) | 4. 三世帯(祖父母と親、子) |
| 5. その他(
) | |

問5 あなたの職業は何ですか。(〇はひとつ)

- | | |
|-------------------|----------|
| 1. 会社員・団体職員(役員含む) | 2. 公務員 |
| 3. 自営業 | 4. 農林水産業 |
| 5. パート・アルバイト | 6. 家事専業 |
| 7. 学生 | 8. 無職 |
| 9. その他(
) | |

問6 あなたは岩出市に住んで何年になりますか。(〇はひとつ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上5年未満 |
| 3. 5年以上～10年未満 | 4. 10年以上～20年未満 |
| 5. 20年以上～30年未満 | 6. 30年以上 |

「福祉」についてお聞きします

問7 あなたは福祉について関心をお持ちですか。(○はひとつ)

1. とても関心がある

3. あまり関心がない

2. やや関心がある

4. まったく関心がない

→ 問7-2へ

問7で「1」または「2」に○をつけた方におたずねします。

→ 問7-1 福祉のどの分野に関心がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもに関する福祉(子どもの貧困含む)

2. 高齢者に関する福祉

3. 障害のある人に関する福祉

4. ひとり親世帯に関する福祉

5. 低所得者に関する福祉

6. ひきこもりの人に関する福祉

7. 外国人への支援

8. 1～7以外の支援を必要とする人に対する福祉

9. その他()

問7-2 市民が福祉について理解を深めるためには、どのような機会が必要だと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

1. 福祉の制度、サービス等について学ぶこと

2. 介護体験や介護を必要とする人の疑似体験などとおし、学ぶこと

3. 介護を必要とする人やその家族の話を聞いたり、交流したりすること

4. 手話や点字、要約筆記、介護方法などの技術を習得すること

5. 地域の福祉について市民同士が課題を気軽に話し合える場をつくること

6. 小中学生が授業の一部として障害者施設等を訪問することや、交流する機会をつくること

7. その他()

8. 特になし

問8 次の団体や機関で知っているものはありますか(あてはまるものすべてに○)

1. 民生委員・児童委員

2. 地域包括支援センター

3. 障害児者自立支援協議会

4. 障害児者相談支援センター

5. 社会福祉協議会

6. 子育て支援センター

7. 子育て世代包括支援センター(ぎゅっとふるいわで)

地域での生活についてお聞きします

問9 あなたは、ふだん近所の人とどの程度のお付き合いをされていますか。(○はひとつ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 困ったときなど助け合っている | 2. ある程度親しく交流している |
| 3. ときどき世間話や立ち話をする | 4. 冠婚葬祭や自治会等の行事のみ |
| 5. あいさつ程度 | 6. ほとんど付き合いがない |
| 7. その他() | 8. よく知らない |

問10 あなたの身近な地域に、地域住民が取り組むべき課題や問題としてどのようなことがあると思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | |
|-----------------------|
| 1. 防犯・防災の安全対策 |
| 2. 青少年の健全育成 |
| 3. 母子・父子家庭の子育て支援 |
| 4. 共働き家庭の子育て支援 |
| 5. 乳幼児期の子育て支援 |
| 6. 高齢者の社会参加や生きがいづくり |
| 7. 障害児者の社会参加や生きがいづくり |
| 8. 子ども、高齢者、障害児者への虐待対策 |
| 9. 健康づくりへの取り組み |
| 10. 急病・災害などが発生したときの対応 |
| 11. 地域内におけるマナーやルールの徹底 |
| 12. 外国の方への日々のサポート |
| 13. その他() |

問11 あなたが住んでいる地域の中で安心して暮らしていくために、地域にある組織や団体に対し、どのような活動を期待していますか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 安否確認の声かけ | 2. 子ども、高齢者、障害児者への手助け |
| 3. 地域内の決まりごとの徹底 | 4. 市民同士の交流イベントの提供 |
| 5. 交通安全や防犯、防災などの活動 | 6. 文化、スポーツ、芸術などの活動 |
| 7. 地域内の道路等公共場所の清掃活動 | 8. リサイクル等自然保護の活動 |
| 9. 病人の看病をする人への支援 | 10. 介護が必要な人の短時間の預かり |
| 11. 市役所等行政機関との連絡調整 | 12. その他() |
| 13. 特にない | |

問 12 あなたは困りごとを抱えている人たちから助けを求められたとき、どのようなことができると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 安否確認の声かけ | 2. 心配事などの相談相手 |
| 3. 子どもの短時間の預かり | 4. 外出時の付き添いや送迎 |
| 5. 買い物の手伝い | 6. 家事の手伝い |
| 7. ゴミ出しや庭の草刈りの支援 | 8. 医療機関への通院の手伝い |
| 9. 病人の看病をする人への支援 | 10. 介護が必要な人の短時間の預かり |
| 11. 災害時の手助け | 12. 日常的な話し相手 |
| 13. 近所での仲間づくり | 14. その他() |
| 15. 特になし | |

問 13 地域住民同士の付き合いや、地域との関わりについてあなたの考えに近いもの何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | |
|--|
| 1. 地域住民同士が相互に協力し地域をよくする活動を行っていききたい |
| 2. 隣人との助け合いや付き合いを大切にしたい |
| 3. 時間に余裕のある人や、やる気のある人が地域と関わる方がよい |
| 4. あまり地域的な関わりはもちたくないが、必要であれば協力する |
| 5. 地域で必要な活動であっても自分の生活や時間に余裕がないので、あまり地域的な関わりはもちたくない |
| 6. 他人の協力は期待していない(自分のことは自分です) |
| 7. その他() |

地域活動についてお聞きします

問 14 あなたは地域での活動に参加していますか。(どちらかひとつに○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 継続的に参加している | 3. あまり参加していない |
| 2. ときどき参加している | 4. まったく参加していない |

問 14-2 へ

問 14 で「1」または「2」に○をつけた方におたずねします。

問 14-1 どのような活動に参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 区・自治会活動 | 2. 子ども会活動 |
| 3. 老人クラブ活動 | 4. PTA・保護者会・育友会活動 |
| 5. 子育てサークル活動 | 6. スポーツ団体の活動 |
| 7. 趣味などのサークル活動 | 8. 消防団・自主防災組織活動 |
| 9. 社会福祉に関する委員や団体の活動 | 10. 社会福祉協議会での活動 |
| 11. ボランティア活動 | 12. その他() |

問 14 で「3」または「4」に○をつけた方におたずねします。

問 14-2 参加していない理由は何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 仕事や家事で忙しく、時間がない | 2. 身体の調子が悪く参加できない |
| 3. 知り合いがいなくて参加しづらい | 4. どのような活動があるか知らない |
| 5. 自分の時間を持ちたい | 6. 参加方法が分からない |
| 7. 興味がない | 8. 家族の理解が得られない |
| 9. 自分には必要がない | 10. その他() |
| 11. 特に理由はない | |

問 15 地域活動やボランティア活動などの助け合い活動を活性化させるために必要なことは何だと思えますか (あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 気軽に相談できる窓口を設置する | 2. 活動の拠点や場所を整備する |
| 3. 交通費などの経済的な援助 | 4. 活動に関する研修や講習会の開催 |
| 5. 活動に関する情報の発信 | 6. 若い世代の参加 |
| 7. 人材・リーダーの育成 | 8. 団体間のネットワーク形成 |
| 9. その他() | 10. 特にない |

福祉サービスについてお聞きします

問 16 福祉に関する情報はどこから入手していますか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 市役所の窓口 | 2. 市広報紙 |
| 3. 社会福祉協議会の窓口や広報誌 | 4. 民生委員・児童委員 |
| 5. 障害児者相談支援センター | 6. 地域包括支援センター |
| 7. 子育て支援センター | 8. 障害児者自立支援協議会 |
| 9. ケアマネジャー、ホームヘルパー | 10. 医療機関 |
| 11. 自治会(回覧版) | 12. 家族、近所の人 |
| 13. 友人・知人 | 14. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ |
| 15. インターネット | 16. その他() |
| 17. 特にない | |

問 17 あなた、または家族のうちで福祉サービスを利用しているまたは利用していたことがありますか (どちらかにひとつに○)

- | | | |
|-----------------------|--------------|------------|
| 1. 利用していた、または現在利用している | 2. 利用したことはない | → 問 17-3 へ |
|-----------------------|--------------|------------|

問 17 で「1」に○をつけた方におたずねします。

問 17-1 どのようなサービスを利用しているまたは利用していましたか (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 子育て支援サービス | 2. 高齢者福祉サービス(介護含む) |
| 3. 障害者福祉サービス | 4. その他() |

問 17-2 へ

問 17で「1」に○をつけた方におたずねします。

問 17-2 サービスの利用について不都合・不満を感じたことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 申込先がわからなかった | 2. 利用手続き(書類)が難しかった |
| 3. 窓口の対応(説明)が悪かった | 4. 福祉サービスに関する情報が入手しづらかった |
| 5. 金銭的負担が大きかった | 6. 利用したい福祉サービスが利用できなかった |
| 7. サービス内容に満足できなかった | 8. その他() |
| 9. 特にない | |

問 17で「2」に○をつけた方におたずねします。

問 17-3 福祉サービスを利用しない理由は何ですか(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1. 家族で対応できる | 2. 他人の世話になりたくない |
| 3. 家族や親せきへの気兼ねがある | 4. 経済的な負担が心配 |
| 5. 利用の方法やどんなサービスがあるかわからない | 6. 利用する必要がある |
| 7. どこに相談していいかわからない | 8. その他() |

災害への備え(防災)についてお聞きします

問 18 あなたが日ごろ行っている災害への備えは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|-----------------------------|
| 1. 防災訓練に参加している | 2. 食糧・飲料水を備蓄している |
| 3. 防災用品を備えている | 4. 家族と災害が起きた時の対応について話し合っている |
| 5. 隣近所と避難方法について話し合っている | 6. 住宅の補強・家具の固定を行っている |
| 7. 火災報知器を設置している | 8. 緊急速報・防災メールに登録している |
| 9. 地域の自主防災組織に入っている | 10. その他() |
| 11. 何もしていない | |

問 19 地震や台風などの災害発生時の備えとして、どのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 自分や家族の避難方法の確認 |
| 2. 災害時の緊急の連絡方法を家族や知り合いと話しておくこと |
| 3. 日ごろからの隣近所とのあいさつや声のかけあい |
| 4. 地域での避難訓練の実施 |
| 5. 災害警戒区域等の把握 |
| 6. 自主防災組織などの組織づくり |
| 7. 避難の際に手助けが必要な人の把握 |
| 8. 避難の際に手助けが必要な人に対する情報伝達の体制づくり |
| 9. 避難の際に手助けが必要な人を支援する人たちの把握 |
| 10. 災害対策の学習会の開催 |
| 11. その他() |
| 12. 特にない |

生活困窮者についてお聞きします

問 20 生活困窮者に対する支援について今後期待する取組は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 就労その他の自立に関する相談支援
2. 離職により住居を失った人、または失うおそれのある人に対し家賃相当分を支給する事業
3. 就労に向けての訓練など段階に応じたあっせん、サポート
4. 家計を立て直すためのアドバイス
5. 経済的理由により学習の機会が少ない子どもに対しての学習支援
6. その他(具体的に)
7. わからない

成年後見制度についてお聞きします

問 21 成年後見制度について知っていますか。(○はひとつ)

1. 知っている
2. よく知らないが、聞いたことはある
3. 知らなかった

※成年後見制度

判断力が不十分な成年人(知的障害者、精神障害者、認知症の高齢者等)が不利益を被らないように家庭裁判所に申し立てをし、その方を援助してくれる人「後見人」等を付けて、財産管理や福祉サービスの利用などを任せる制度。

問 22 万一、自分自身の判断能力が不十分になった場合、「成年後見制度」に基づいて自身の財産等を「成年後見人」等に任せることについて、どのように思いますか。(○はひとつ)

1. 任せてもよい
2. 任せたくない
3. 分からない・判断できない

問 22 で「1」に○をつけた方におたずねします。

問 23 誰になら、任せてもよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族
2. 専門職(弁護士、司法書士、社会福祉士などの専門家)
3. 市民後見人
4. その他()

※市民後見人

市町村等が実施する養成研修を受講するなどして、「成年後見人」等として必要な知識を得た一般市民の中から、家庭裁判所が成年後見人等として選任した人。

虐待等についてお聞きします

問 24 あなたは、地域の出来事として、下記の①～④に示す家族等による虐待等があったことを聞いたことがありますか。(それぞれに○はひとつ)

	聞いたことがある	聞いたことはない
①高齢者への虐待	1	2
②障害児者への虐待	1	2
③子どもへの虐待	1	2
④配偶者からの暴力	1	2

問 25 あなたの周囲で虐待や暴力が発生していることが分かったら、最初にどのように対応しますか。(○はひとつ)

<ol style="list-style-type: none"> 1. ご近所の人に連絡(相談)する 2. 区・自治会の役員に連絡(相談)する 3. 民生委員・児童委員に連絡(相談)する 4. 市役所に連絡(相談)する 5. 地域包括支援センター、障害者虐待防止センターに連絡(相談)する 6. 児童相談所へ連絡(相談)する 7. 警察へ連絡(相談)する 8. 様子を見るため、その家を訪問する 9. その他() 10. 何もしない

これからの福祉のあり方についてお聞きします

問 26 地域における支え合い、助け合いを活発にするために、あなたが重要と思う取り組みは何ですか(あてはまるもの3つまでに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域における住民主体の福祉活動の意義と重要性のPR 2. 地域でのボランティアなどの活動拠点の場の整備 3. 地域の福祉活動に対する支援 4. ボランティアに関わる人材の育成 5. 福祉活動の相談 6. 指導する専門職の充実 7. 困っている人と支援する人をつなぐコーディネーターの育成 8. 学校や生涯学習の場を活用した福祉教育の充実 9. 介護やボランティア活動に関する研修 10. ボランティア活動を行っている人同士の交流の場 11. その他() 12. 特にない
--

問 27 住み慣れた地域で、安心して暮らしていくために、どのような福祉のあり方が大切だと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

1. 健康づくりや医療体制の充実
2. 公共施設、道路、交通機関の改善(バリアフリー化)
3. 移動手段の充実
4. 地域の支え合いの仕組みづくり
5. 福祉サービスの充実
6. 地域での交流できる場の充実
7. 福祉教育の充実
8. 育児、子育ての支援体制の充実
9. 高齢者や障害者の在宅生活支援
10. 地域での交流活動の促進
11. ボランティア活動への参加機会の充実
12. 文化、スポーツ活動への参加機会の充実
13. 困ったときの相談体制の充実
14. 防犯、防災、交通安全体制の充実
15. その他()
16. 特にない

市に対する要望等ございましたらご記入ください

～ご協力ありがとうございました～



岩出市イメージキャラクター
そうへいちゃん

「岩出市第2次地域福祉計画」
策定に係るアンケート調査
【結果報告書】

発行：岩出市 地域福祉課 総務福祉係
発行年月：令和2年3月